令和7年度版

第五次長野市総合計画
実施計画

（主要事業計画）

長　野　市

目　　次

Ⅰ　実施計画の策定に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　1　実施計画について
　2　計画期間

Ⅱ　令和７年度の予算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　1　令和７年度当初予算

Ⅲ　主要事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　1　主要事業の選定
　2　分野別主要事業
　分野１　行政経営の方針【行政経営分野】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　　政策１　市民が主役のまちづくりの推進
　　　施策 1-1-1　市民とともにつくる市政の推進
　　　施策 1-1-2　市民によるまちづくり活動への支援
　　政策２　将来にわたり持続可能な行財政運営の確立
　　　施策 1-2-1　効果的で効率的な行財政運営の推進
　　　施策 1-2-2　市民の満足が得られる市政の推進
　　　施策 1-2-3　地方中核都市としての役割の遂行

　分野２　人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」【保健・福祉分野】・・・23
　　政策１　少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援
　　　施策 2-1-1　結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援
　　　施策 2-1-2　子どもの成長を育む支援環境の充実
　　　施策 2-1-3　社会的援助を必要とする家庭等の自立支援
　　政策２　生きがいのある豊かな高齢社会の形成
　　　施策 2-2-1　高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進
　　　施策 2-2-2　地域包括ケアシステムの深化・推進
　　政策３　だれもが自分らしく暮らせる社会の形成
　　　施策 2-3-1　障害者（児）福祉の充実
　　　施策 2-3-2　認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現
　　　施策 2-3-3　生活の安定と自立への支援
　　政策４　安心して暮らせる健康づくりの推進
　　　施策 2-4-1　健康の保持・増進の支援
　　　施策 2-4-2　保健衛生の充実
　　　施策 2-4-3　地域医療体制の充実
　　政策５　人権を尊ぶ明るい社会の形成
　　　施策 2-5-1　人権尊重社会の実現
　　　施策 2-5-2　男女共同参画社会の実現

分野３　人と自然が共生するまち「ながの」【環境分野】・・・・・・・・・・・・・ 63
政策１　環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成
施策 3-1-1　脱炭素社会の構築
施策 3-1-2　循環型社会の実現
政策２　自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進
施策 3-2-1　豊かな自然環境の保全
施策 3-2-2　良好で快適な環境の保全と創造

分野４　安全で安心して暮らせるまち「ながの」【防災・安全分野】・・・・・・・ 75
政策１　災害に強いまちづくりの推進
施策 4-1-1　防災・減災対策の推進
施策 4-1-2　消防力の充実・強化及び火災予防
政策２　安心して暮らせる安全社会の構築
施策 4-2-1　交通安全対策の推進
施策 4-2-2　防犯対策の推進
施策 4-2-3　安全な消費生活の確保

分野５　豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」【教育・文化分野】・・・・ 89
政策１　未来を切り拓く人材の育成と環境の整備
施策 5-1-1　乳幼児期から高等教育までの教育の充実
施策 5-1-2　子どもに応じた支援の充実
施策 5-1-3　家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上
政策２　豊かな人生を送るための学習機会の提供
施策 5-2-1　生涯学習環境の充実
施策 5-2-2　学習成果を活かした地域づくりへの参加促進
政策３　魅力あふれる文化の創造と継承
施策 5-3-1　多彩な文化芸術の創造と活動支援
施策 5-3-2　文化の継承による魅力ある地域づくりの推進
政策４　スポーツを軸としたまちづくりの推進
施策 5-4-1　だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進
施策 5-4-2　スポーツを通じた交流拡大の推進
政策５　国際交流・多文化共生の推進
施策 5-5-1　国際交流活動の推進
施策 5-5-2　多文化共生の推進

分野６　産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」【産業・経済分野】・・・114
政策１　魅力を活かした観光の振興
施策 6-1-1　豊富な観光資源等を活かした観光交流促進
施策 6-1-2　インバウンドの推進
施策 6-1-3　コンベンションの誘致推進
政策２　活力ある農林業の振興
施策 6-2-1　多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進

施策 6-2-2　地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進
施策 6-2-3　森林の保全と資源の活用促進
政策３　特色を活かした商工業の振興
施策 6-3-1　商工業の強化と環境整備の促進
施策 6-3-2　地域の特性が光る商工業の推進
施策 6-3-3　新たな活力につながる産業の創出
政策４　安定した就労の促進
施策 6-4-1　就労の促進と多様な働き方の支援
施策 6-4-2　勤労者福祉の推進

分野７　快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」【都市整備分野】・・ 143
政策１　いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進
施策 7-1-1　地域の特性に応じた都市機能の充実
施策 7-1-2　暮らしを支える生活機能の維持
施策 7-1-3　多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進
施策 7-1-4　地域の特色を活かした景観の形成
政策２　拠点をつなぐネットワークの充実
施策 7-2-1　地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築
施策 7-2-2　拠点をつなぐ交通ネットワークの整備

特定の施策に属さない事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163

分野横断テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・167

Ⅰ　実施計画の策定に当たって

１　実施計画について

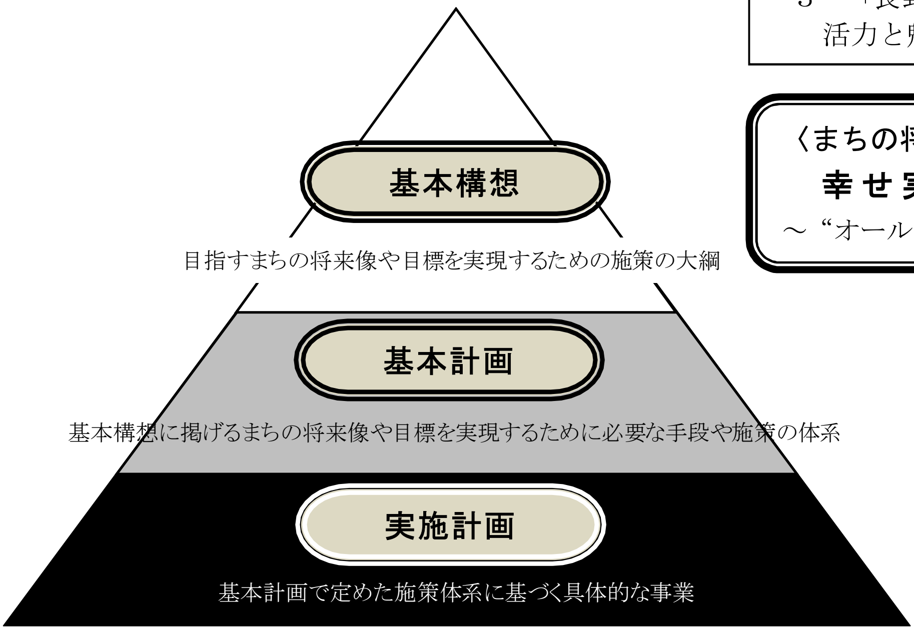
　総合計画は、目指すまちの将来像や目標を実現するための施策の大綱を示す「基本構想」と、施策の具体的な展開、主な取組内容や指標を示す「基本計画」、具体的な事業を示す「実施計画」の３層からなっています。

　この「実施計画」は、第五次長野市総合計画の基本構想及び基本計画の実現に向け、基本計画で定める施策体系に基づく具体的な事業内容を示す計画として策定しました。

【総合計画の構成】

〈まちづくりの基本方針〉
１　市民の「幸せ」の実現
２　「持続可能な」まちづくりの推進
３　「長野市らしさ」の発揮と「まちの活力と魅力」の創出

〈まちの将来像〉
幸 せ 実 感 都 市 『 な が の 』
～“オールながの”で未来を創造しよう～



２　計画期間

　実施計画は、計画期間を１年間とし、毎年作成します。

（年度）

	平成 29 2017	平成 30 2018	令和元 2019	令和２ 2020	令和３ 2021	令和４ 2022	令和５ 2023	令和６ 2024	令和７ 2025	令和８ 2026
基本構想										
基本計画										
実施計画										

Ⅱ　令和７年度の予算

１　令和７年度当初予算

(1) 会計別

会計別予算総額　（単位：千円）

会　計	令和７年度 当初予算額
一般会計	193,120,000
特別会計	77,334,500
企業会計	40,453,300
合　計	310,907,800

(2) 分野及び政策別

政策別予算額　（単位：千円）

分　野	政　策	令和７年度 当初予算額
1　行政経営の方針 【行政経営分野】	1　市民が主役のまちづくりの推進	1,215,058
	2　将来にわたり持続可能な行財政運営の確立	48,997,809
	小計	*50,212,867*
2　人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」 【保健・福祉分野】	1　少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援	27,021,836
	2　生きがいのある豊かな高齢社会の形成	45,216,671
	3　だれもが自分らしく暮らせる社会の形成	19,256,311
	4　安心して暮らせる健康づくりの推進	55,495,198
	5　人権を尊ぶ明るい社会の形成	146,766
	小計	*147,136,782*
3　人と自然が共生するまち「ながの」 【環境分野】	1　環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成	5,390,453
	2　自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進	119,476
	小計	*5,509,929*
4　安全で安心して暮らせるまち「ながの」 【防災・安全分野】	1　災害に強いまちづくりの推進	7,835,284
	2　安心して暮らせる安全社会の構築	178,538
	小計	*8,013,822*
5　豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」 【教育・文化分野】	1　未来を切り拓く人材の育成と環境の整備	10,338,744
	2　豊かな人生を送るための学習機会の提供	1,572,304
	3　魅力あふれる文化の創造と継承	1,607,215
	4　スポーツを軸としたまちづくりの推進	11,255,291
	5　国際交流・多文化共生の推進	57,182
	小計	*24,830,736*

（単位：千円）

分　野	政　策	令和７年度 当初予算額
6　産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」 【産業・経済分野】	1　魅力を活かした観光の振興	6,755,052
	2　活力ある農林業の振興	1,951,114
	3　特色を活かした商工業の振興	9,471,444
	4　安定した就労の促進	735,859
	小計	*18,913,469*
7　快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」 【都市整備分野】	1　いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進	52,756,846
	2　拠点をつなぐネットワークの充実	2,818,964
	小計	*55,575,810*
上記１～７の分野に属さない横断的な取組		714,385
合計		**310,907,800**

(3) 分野横断テーマへの配分

（単位：千円）

分野横断テーマ		令和７年度 当初予算額
テーマ①	誰もが活き生きと安心して暮らし続けられる「まち」の実現 ＜住みやすい地域づくり＞	137,286,684
テーマ②	「ひと」が集い、つながり、育つ、ふるさと“ながの”の実現 ＜移住・定住・交流の促進＞＜少子化対策・子育て支援＞	55,315,483
テーマ③	魅力ある「しごと」による担い手の確保と潤う地域の実現 ＜しごとの創出と確保＞	4,422,992
合計		**197,025,159**

Ⅲ　主要事業

1　主要事業の選定

(1) 主要事業選定基準

令和７年度当初予算【部局別】に記載のある事業を基本として、分野別に掲載します。

(2) 掲載主要事業数

	主要事業掲載数	内　訳	
		再掲以外	再掲
行政経営分野	45	45	0
保健・福祉分野	103	103	0
環境分野	26	24	2
防災・安全分野	35	35	0
教育・文化分野	53	53	0
産業・経済分野	69	69	0
都市整備分野	53	50	3
特定の施策に属さない事業	14	14	0
合　計	398	393	5

２　分野別主要事業

分野1	行政経営の方針 【行政経営分野】
分野2	人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」 【保健・福祉分野】
分野3	人と自然が共生するまち「ながの」 【環境分野】
分野4	安全で安心して暮らせるまち「ながの」 【防災・安全分野】
分野5	豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」 【教育・文化分野】
分野6	産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」 【産業・経済分野】
分野7	快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」 【都市整備分野】

＜分野横断テーマ＞

テーマ①	誰もが活き生きと安心して暮らし続けられる「まち」の実現 ＜住みやすい地域づくり＞
テーマ②	「ひと」が集い、つながり、育つ、ふるさと“ながの”の実現 ＜移住・定住・交流の促進＞＜少子化対策・子育て支援＞
テーマ③	魅力ある「しごと」による担い手の確保と潤う地域の実現 ＜しごとの創出と確保＞

分野1 行政経営の方針（行政経営分野）

政策1 市民が主役のまちづくりの推進

- 施策1 市民とともにつくる市政の推進　施策番号1
- 施策2 市民によるまちづくり活動への支援　施策番号2

政策2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

- 施策1 効果的で効率的な行財政運営の推進　施策番号3
- 施策2 市民の満足が得られる市政の推進　施策番号4
- 施策3 地方中核都市としての役割の遂行　施策番号5

分野1　行政経営の方針

政策1　市民が主役のまちづくりの推進

施策番号1

施策1－1－1　市民とともにつくる市政の推進　（R7年度事業費　690,335 千円）

【目指す状態】

市政情報を迅速に分かりやすく提供するとともに、多くの市民意見を市政に活用している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	市民の声が市政に反映されている	%	18.8	19.5	17.2	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている	%	10.1	9.1	9.2	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
審議会等の公募委員の応募倍率	審議会等委員の公募人数に対する応募者数の比率（直近２年間の平均）	倍	0.8	0.9	0.9	－	－	－	1.0
パブリックコメント１件当たりに寄せられた意見数	パブリックコメント１件当たりに寄せられた意見数（直近５年間の平均）	件	63.9	33.3	29.7	－	－	－	70.0

【施策番号1　施策1－1－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
情報公開 〔　文書情報管理課　〕	111万6千円 （101万1千円） 10万5千円	行政情報の公開を積極的に推進し、行政の説明責任を果たすとともに、透明で開かれた市政の運営を行う。 ・情報公開審査会の開催 ・行政資料コーナーの管理運営 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号1　施策1－1－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
個人情報保護 〔　文書情報管理課　〕	45万7千円 (42万8千円) 2万9千円	長野市が保有する個人情報の保護に関して適切な取扱いを推進し、個人の権利、利益の保護を図る。 ・個人情報保護審査会の開催 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 NAGANOソーシャルメディア放送局 〔　広報広聴課　〕	193万4千円 (0円) 193万4千円	YouTubeを活用した放送局を庁内に開設し、市民が必要な情報を分かりやすく、タイムリーに提供する市政番組を制作・配信する。 【分野横断「まち」-オ】
広報紙発行 〔　広報広聴課　〕	9,968万2千円 (9,622万円) 346万2千円	本市の施策や制度、行事・イベント情報などの市政情報を掲載した広報紙（広報ながの・点字広報）を発行し、広く市民に知らせる。 【分野横断「まち」-オ】
市政番組放送 〔　広報広聴課　〕	2,184万3千円 (2,199万5千円) △15万2千円	本市の施策や制度、行事・イベントなどの市政情報に関する市政番組を制作し、テレビやラジオを通じて、広く市民に知らせる。 【分野横断「まち」-オ】

【施策番号1　施策1－1－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
インターネット広報 〔　広報広聴課　〕	1,177万3千円 (1,949万3千円) △772万円	ホームページ、インターネット市政放送、ソーシャルメディアを活用し、本市の施策や制度、行事・イベントなどの市政情報を広く市民等に情報を発信する。 【分野横断「まち」-オ】
議会事務 〔　総務議事調査課　〕	2,244万9千円 【当初・12月補正・2月補正】 (1,638万7千円) 606万2千円	本会議会議録・委員会会議録を作成するとともに、市ホームページへ掲載する。 また、市議会中継・配信を行い、本会議の様子を広く市民等に情報発信する。

施策番号２

施策１－１－２　市民によるまちづくり活動への支援	（R7年度事業費　524,723 千円）

【目指す状態】
行政、市民、地域コミュニティ組織、市民公益活動団体、民間企業など多様な主体による協働のまちづくりが、暮らしやすい地域社会につながっている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	住民自治協議会、区、自治会、ＮＰＯ法人などの活動がまちづくりに役立っている	%	37.5	36.0	32.2	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	まちづくりに関わるボランティア活動（住民自治協議会や区なども含む）に参加している	%	24.9	22.1	21.9	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
地区まちづくり計画または地区地域福祉活動計画に基づく活動に取り組んでいる地区数	地区まちづくり計画または地区地域福祉活動計画に基づく活動に取り組んでいる地区数	地区	32	32	32	－	－	－	32

【施策番号２　施策１－１－２　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 中山間地域集落支援員導入モデル事業 〔　地域活動支援課　〕	3,394万9千円 （0円） 3,394万9千円	中山間地域に集落支援員をモデル的に配置し、集落課題の整理、話し合いを通して実情に応じた集落の維持対策等を図る。 ・配置地区　七二会、信更、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条 ・集落支援員のミッション 共通ミッション：全地区共通の課題解決の取組 地区ミッション：地区個別の課題解決の取組 【分野横断「まち」－エ】
住民自治リフレッシュプロジェクト事業 〔　地域活動支援課　〕	779万円 （782万6千円） △3万6千円	住民自治協議会と市との役割分担や住民自治活動の量と質について見直しを図るため、住民自治活動のPR支援や点検、中山間地域のあり方の研究等を実施する。 （事業期間　令和６年度～令和８年度） ・住民自治活動PR支援 ・地区ドック（住民自治活動の点検等） ・中山間地域のあり方研究会 ・住民参加のワーキンググループ検討会 【分野横断「まち」－エ】

【施策番号2　施策1－1－2 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
地域いきいき運営交付金 〔　地域活動支援課　〕	3億8,729万2千円 (3億8,705万8千円) 23万4千円	市と協働のパートナーである住民自治協議会に対して、住民主体による持続可能なまちづくりを支援するため交付する。 ・交付先　32地区住民自治協議会 ・対象経費 住民自治協議会の運営 住民自治協議会の職員雇用 市との協定に基づく必須事務 住民の福祉の増進を目的とする事業 【分野横断「まち」-エ】
やまざと支援交付金 〔　地域活動支援課　〕	2,354万9千円 (2,560万6千円) △205万7千円	地域の互助機能の促進と中山間地域特有の課題解決を図るための費用として、中山間地域を含む住民自治協議会に対し、補助金を交付する。 ・１地区当たり　180万円 ・対象地区　13地区 【分野横断「まち」-エ】
ながのまちづくり活動支援事業 〔　地域活動支援課　〕	685万4千円 (756万4千円) △71万円	市と市民との協働のまちづくりを推進するため、市民公益活動団体(住民自治協議会を含む)が課題解決のために主体的に行うまちづくり活動に対して、経費の一部を助成する。 ・補助率 【一般】 １回目　10分の７以内(上限額70万円) ２回目　10分の６以内(上限額60万円) ３回目　10分の５以内(上限額50万円) 【学生】 １回目 ２回目　10分の10以内(上限額10万円) ３回目 【分野横断「まち」-エ】
市民活動育成事業 〔　地域活動支援課　〕	1,286万3千円 (1,258万円) 28万3千円	協働推進のための基本方針に基づき、市民公益活動団体を総合的に支援する拠点として、「市民協働サポートセンター」を設置している。具体的には、情報提供、団体同士の交流・連携機会の創出、相談受付等、団体活動がさらに活発となるような支援を行う。 【分野横断「まち」-エ】

分野1　行政経営の方針

政策2　将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

施策番号3

施策1－2－1　効果的で効率的な行財政運営の推進	（R7年度事業費　44,168,365 千円）

【目指す状態】

安定的な行政サービスが提供される持続可能な財政基盤が構築されている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	効果的で効率的な行政運営が行われている	%	20.5	21.2	18.5	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
実質公債費比率	財政規模に対する公債費の割合	%	3.6	4.9	5.2	－	－	－	18%未満
将来負担比率	財政規模に対する確定している負債の割合	%	42.8	27.7	20.6	－	－	－	150%未満

【施策番号3　施策1－2－1　主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 市の窓口への遠隔（リモート）行政窓口の導入に向けた調査研究 〔　情報システム課　〕	97万5千円 （0円） 97万5千円	市民サービスの向上を目指し、支所と本庁の窓口をデジタルでつなぐ体制の構築と、将来の職員減少を見据えた持続可能な市民サービスの提供に向け、遠隔（リモート）行政窓口システム等の導入に向けた調査研究を行う。 【分野横断「まち」-カ】

【施策番号3　施策1－2－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 市有建築物の照明LED化推進事業 〔 公共施設 マネジメント推進課 〕	1億4,176万円 (0円) 1億4,176万円	脱炭素社会の実現に向け、市有建築物の照明設備について、エネルギー使用量の削減効果の高いLED照明への切替えを促進する。 ・事業期間等　令和７年度から５年間で約170施設・約８万台の交換を想定 【分野横断「まち」-イ】
【拡大】 地方公共団体情報システム標準化 (14事務を標準システムへ移行) 〔 情報システム課 〕	11億7,959万7千円 (9億2,292万6千円) 2億5,667万1千円	市政運営の効率化を実現するため、法律に基づき対象となる20事務のシステムを標準準拠システムに移行する。令和７年度は、14事務のシステムを標準準拠システムへ移行する。 ・令和７年度の移行事務 住民基本台帳、税、国民健康保険等の14事務 ・移行時期 令和８年１月（予定） 【分野横断「まち」-イ】
【拡大】 全庁ネットワークシステムの環境整備 (出先拠点のパソコン更改等) 〔 情報システム課 〕	1億6,240万9千円 (5,520万1千円) 1億720万8千円	庁内のペーパーレス化を推進するため、支所等出先拠点の全庁ネットワーク系パソコンをモバイル型で更改する。また、Microsoft officeのサポート終了に伴うMicrosoft365への移行等、全庁ネットワークの環境整備を推進する。 ・全庁系ネットワークパソコンの更改 ・Microsoft365の導入 ・地方公共団体情報システムの標準化に伴うガバメント・クラウドへのネットワーク回線の帯域増強　ほか 【分野横断「まち」-イ】
外部監査事務 〔 総務課 〕	1,202万1千円 (1,202万1千円) 0円	専門性と独立性を有する外部監査人により、市の事務執行の合規性や経済性、効率性、有効性等についての監査を実施する。 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号３　施策１－２－１ 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
自治体DX推進事業 〔　情報システム課　〕	8,908万2千円 (9,896万6千円) △988万4千円	市民サービスの向上と業務の効率化を目指し、公共施設案内予約システムの充実や庁内業務の課題をデジタル技術で解決できる職員の育成等に取り組み、行政DXを着実に推進する。 ・公共施設案内予約システムに公民館など35施設を追加 ・所属内の業務課題をデジタル技術で解決できるリーダー役職員の育成に向けた研修 ・行政手続のオンライン化推進　ほか 【分野横断「まち」-カ】
公共施設マネジメント推進 〔　公共施設 マネジメント推進課　〕	2,214万7千円 (2,251万3千円) △36万6千円	将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいけるよう、保有する公共施設の総量の縮減や長寿命化を進め、適切に維持・管理する。 また、ユニバーサルデザイン化を計画的に進めるため、令和６年度から実施している既存施設の実態把握調査を引き続き行う。 【分野横断「まち」-イ】
嘱託登記事務 〔　管財課　〕	2,929万3千円 (2,429万6千円) 499万7千円	市有財産の取得及び処分に係る不動産登記を行うことにより、権利関係等の内容を明らかにし、業務の一部を長野県公共嘱託登記司法書士協会及び長野県公共嘱託登記土地家屋調査士協会へ委託するとともに、正確かつ迅速な登記を行い、適正な財産管理を図る。 【分野横断「まち」-イ】
ふるさと応援寄附 〔　企画課　〕	8億196万2千円 (5億8,697万1千円) 2億1,499万1千円	ふるさと納税制度を活用し、市内外の方にふるさと“ながの”を応援いただき、本市の魅力発信を行いながら、寄附者とのつながりを深め、交流人口の創出と更なる寄附の増額を目指す。 ・寄附金（歳入）　17億円（見込み） ・10のポータルサイトを活用した寄附募集 ・体験型返礼品、現地決済型返礼品など新たな返礼品の追加 【分野横断「ひと」-ウ】

【施策番号3　施策1－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
電子入札システム運用事業 〔　契約課　〕	4,167万2千円 （732万3千円） 3,434万9千円	工事関係の入札で導入している電子入札を物品調達及び一般業務委託にも導入することに伴い、システムの整備を行い、事業者の利便性と事務の効率化を図る。 【分野横断「まち」-イ】
個人市民税賦課事務 〔　市民税課　〕	2億5,375万1千円 （2億181万1千円） 5,194万円	個人市民税について、申告相談の実施、電子申告及び国税との連携を推進し、電算システムの効率的な運用により、迅速で適正かつ公平・公正な課税体制の整備を図る。 【分野横断「まち」-イ】
資産税評価適正化 〔　資産税課　〕	2億3,196万7千円 （1億1,237万1千円） 1億1,959万6千円	固定資産税・都市計画税について、土地評価支援業務委託及び統合型GISの共用空間データ更新・整備業務委託により評価に必要な情報を得て、適正かつ公平・公正な評価及び課税の推進を図る。 【分野横断「まち」-イ】
地方税共同化事務 〔　収納課　〕	1,800万6千円 （1,878万6千円） △78万円	大口・処理困難な市税等滞納案件について、県及び県内全市町村が共同で組織する長野県地方税滞納整理機構へ移管し、専門的かつ効率的に滞納整理を行うことにより徴収率の向上を図る。 ・令和７年度移管見込件数　110件 （前年度 120件） 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号３　施策１－２－１ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
会計事務 〔　会計課　〕	1億9,451万5千円 （1億5,298万8千円） 4,152万7千円	公金に関わる支出負担行為や支出命令の審査及び支払、収入事務、物品管理、窓口収納及び口座振替手数料の支払、公金振込手数料の支払、トータル収納サービスの運用、決算調製などの会計管理事務を行う。
工事検査事務 〔　検査課　〕	975万3千円 （808万9千円） 166万4千円	請負工事の中間検査・竣工検査及び優良工事表彰を行う。
選挙管理委員会事務局運営事務 〔　選挙管理委員会事務局　〕	2,316万3千円 【当初・９月補正】 （1,466万1千円） 850万2千円	公職選挙法に係る事務（選挙管理委員会の開催、選挙人名簿調製など）、明るい選挙推進事業を実施する。
参議院議員選挙 〔　選挙管理委員会事務局　〕	1億4,456万6千円 （0円） 1億4,456万6千円	令和７年７月執行予定の第27回参議院議員通常選挙（任期満了日：令和７年７月28日）を管理・執行する。

【施策番号3　施策1－2－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
市長選挙 〔　選挙管理委員会事務局　〕	1億1,025万円 (0円) 1億1,025万円	令和７年10月執行予定の長野市長選挙（任期満了日：令和７年11月10日）を管理・執行する。
監査委員事務局運営事務 〔　監査委員事務局　〕	474万6千円 (431万5千円) 43万1千円	各種監査（定期監査、随時（工事）監査、財政援助団体等監査、決算審査、健全化判断比率等審査、例月現金出納検査など）を実施する。 監査結果の報告及び公表をする。

施策番号4

施策１－２－２　市民の満足が得られる市政の推進	（R7年度事業費　4,727,215 千円）

【目指す状態】
デジタル技術等を用い、市民ニーズを踏まえた質の高い行政サービスを提供している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている	%	20.9	21.2	18.9	－	－	－	↗
環境・体制に関する評価	市の職員に好感が持てる	%	49.4	45.6	48.2	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
電子申請の利用件数	電子申請の利用件数	件	9,083	59,828	49,580	－	－	－	16,091
電子申請の登録手続件数	長野市の電子申請の登録手続件数	件	162	678	687	－	－	－	287

【施策番号4　施策1－2－2　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
本庁舎施設改修事業 〔　総務課　〕	1億2,711万3千円 【当初・12月補正】 (2億7,493万6千円) △1億4,782万3千円	第二庁舎について、計画的に維持保全を行い長寿命化を図るとともに、第一庁舎入退室管理設備センター装置の更新を行う。 ・工事内容 第二庁舎８階、９階及び10階照明のLED化 第二庁舎３階及び４階トイレの改修 第二庁舎受変電設備の改修 第一庁舎入退室管理設備センター装置の更新 【分野横断「まち」-イ】　【長寿命化】

【施策番号4　施策1－2－2 主要事業】(つづき)

事　業　名	予算額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事業内容
人事管理 〔　職員課　〕	1億4,596万円 (1億5,554万3千円) △958万3千円	適材適所の人事配置、機動的・弾力的な組織運営により行政運営の効率化と市民サービスの向上を図る。 ・職員採用試験の実施 ・職員の任用、勤怠管理等に係る事務 ・給与事務 【分野横断「まち」-イ】
職員研修 〔　職員研修所　〕	1,608万9千円 (1,519万5千円) 89万4千円	市民の信頼と期待に応えられる職員を育成するため、研修体系に沿って、効果的・計画的に職員研修を行う。 ・職場研修 （職場での個別指導や職場単位での研修） ・職場外研修 （職場を離れて行う集合研修や研修機関等への派遣） ・自主研修（自己啓発への支援） 【分野横断「まち」-イ】
個人番号カード交付事務 〔　マイナンバー課　〕	3億2,142万8千円 (3億364万7千円) 1,778万1千円	番号法に基づき、個人番号カードの交付申請受付及び交付事務並びにカード関連事務を円滑かつ確実に行い取得促進を図る。 ・マイナンバーカード申請・交付及び公的個人認証申請受付事務 ・マイナンバーカードセンター管理運営 （トイーゴ、青木島） ・地区、福祉施設などへの出張申請　ほか 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 未来課題リサーチ＆プランニング 〔　企画課　〕	3,000万円 (0円) 3,000万円	市政全般に関する、数年先の事業化を見据えた調査研究等の費用をあらかじめ予算化しておき、年度途中に生じた突発的な事情や状況変化等にも機動的に対応して事業化の検討を進めることで、総合計画の推進及びスムーズな未来への投資につなげていく。 【分野横断「まち」-エ】

【施策番号4　施策1－2－2 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
次期総合計画策定事業 〔　企画課　〕	1,167万1千円 (361万4千円) 805万7千円	まちづくりの基本的な方針を示す、最上位計画である総合計画について、令和９年度から５年間を期間とする次期計画策定に向け、具体的な策定作業に着手していく。 ・審議会・作業部会の開催 ・市民意見聴取のための意見交換会の開催 ・市民アンケート調査・集計業務委託 ・総合計画策定に向けた市民意見聴取方法の調査研究
ながの若者チャレンジ応援事業 〔　企画課　〕	793万9千円 (714万円) 79万9千円	若者が自由に集まれる拠点「ながの若者スクエアふらっと♭」を活用し、若者の活動を支援するとともに、「ながの地域まるごとキャンパス」での地域活動を通じて長野の魅力を知り、長野への愛着を育むことで地元定着・回帰につなげる。 ・「ながの若者スクエアふらっと♭」の運営 ・「ながの地域まるごとキャンパス」の実施 【分野横断「ひと」-ア】
定額減税を補足する給付金 (調整給付) 〔　市民税課　〕	15億6,990万円 【６月補正】 (29億9,187万8千円) △14億2,197万8千円	国の経済対策に基づき令和６年度に実施された所得税及び個人住民税の定額減税を十分に受けられないと見込まれる者に対する当初調整給付について、当該所得税及び個人住民税が確定した後給付額に不足がある者等に対し、不足額給付を実施する。 ・事業期間　令和６年度～令和７年度 ・国交付金　10分の10 【分野横断「まち」-イ】
芋井総合市民センター建設事業 〔　地域活動支援課　〕	2億4,479万2千円 (2,950万2千円) 2億1,529万円	耐震化が必要な芋井支所について、公民館と機能を集約し、複合施設として整備する。 ・事業期間　令和元年度～令和８年度 ・総事業費　約11億円 ・事業内容　Ｓ造　地上２階　面積約860㎡ ・令和７年度事業内容 　本体工事、監理委託、初度調弁　ほか 【分野横断「まち」-イ】　【長寿命化】

【施策番号4　施策1－2－2 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
長沼支所庁舎整備事業 〔　地域活動支援課　〕	1,218万円 【債務負担行為】 令和10年度まで 1,380万円 (910万円) 308万円	令和元年東日本台風災害により被災した長沼支所について、国・市が連携・協力して整備する長沼地区河川防災ステーション上へ、交流センター、水防センター、分団詰所との複合施設として整備する。 ・事業期間　令和３年度～ 　複合施設完成後、仮設庁舎解体 ・令和７年度事業内容 　仮設庁舎リース　ほか 【分野横断「まち」-イ】
支所庁舎施設改修事業 〔　地域活動支援課　〕	872万3千円 (1億2,383万5千円) △1億1,511万2千円	公共施設個別施設計画に基づき、長寿命化のための改修工事を実施する。 ・令和７年度事業内容 　鬼無里支所　非常用照明更新工事 【分野横断「まち」-イ】
戸籍住民基本台帳事務 〔　市民窓口課　〕	3億3,101万3千円 【債務負担行為】 令和８年度 1,626万5千円 【当初・９月補正】 (1億8,168万6千円) 1億4,932万7千円	戸籍法や住民基本台帳法などに基づき、戸籍や住民基本台帳の整備と適正な管理を行う。 また、住民異動届の際に必要となる複数の手続きや案内を１か所で行う総合窓口を設置しており、市民の利便性向上を図っている。 ・戸籍振り仮名登録業務委託料 委託契約期間　令和７年度～令和８年度 総事業費　1億7,564万3千円 ・証明書交付窓口等業務委託料　ほか 【分野横断「まち」-イ】

施策番号5

施策1－2－3　地方中核都市としての役割の遂行　（R7年度事業費　102,229 千円）

【目指す状態】

地方公共団体間の連携を有効に活用し、連携する市町村全体が発展している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる	%	30	30.2	27.4	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
長野地域の定住人口	長野県毎月人口異動調査における、６月１日現在の長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町の人口の合計	人	528,488	526,405	522,275	－	－	－	513,000

【施策番号5　施策1－2－3　主要事業】

事　業　名	予 算 額（前年度予算額）対前年度増減額	事 業 内 容
連携中枢都市圏構想推進 〔　企画課　〕	382万2千円 （553万3千円） △171万1千円	人口減少、少子・高齢化社会にあっても、連携中枢都市圏構想をもとに、圏域市町村で協力して、住民が安心して快適な暮らしを営んでいける圏域を形成する。 ・長野地域連携推進協議会の開催 ・長野市連携中枢都市圏ビジョン懇談会の開催 ・連携中枢都市としての機能強化 ・第三期長野地域スクラムビジョンの策定 【分野横断「まち」-エ】

分野2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」（保健・福祉分野）

政策1 少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

- 施策1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援 施策番号6
- 施策2 子どもの成長を育む支援環境の充実 施策番号7
- 施策3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援 施策番号8

政策2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成

- 施策1 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進 施策番号9
- 施策2 地域包括ケアシステムの深化・推進 施策番号10

政策3 だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

- 施策1 障害者（児）福祉の充実 施策番号11
- 施策2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現 施策番号12
- 施策3 生活の安定と自立への支援 施策番号13

政策4 安心して暮らせる健康づくりの推進

- 施策1 健康の保持・増進の支援 施策番号14
- 施策2 保健衛生の充実 施策番号15
- 施策3 地域医療体制の充実 施策番号16

政策5 人権を尊ぶ明るい社会の形成

- 施策1 人権尊重社会の実現 施策番号17
- 施策2 男女共同参画社会の実現 施策番号18

分野２　人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」

政策１　少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

施策番号6

施策２－１－１　結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援　（R7年度事業費　11,626,156 千円）

【目指す状態】

若い世代が結婚や妊娠・出産についての希望をかなえ、子育てに楽しさや喜びを感じながら、温かい社会の中で安心して子どもを育てている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
		○		○		○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	子どもを産み育てやすい地域である	％	55.9	50.7	45.3	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	％	46.4	43.5	47.4	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
合計特殊出生（年）	一人の女性が生涯に産む子どもの数	－	1.41	1.41	1.30	－	－	－	1.65
子育てが「楽しい」と感じる保護者の割合	就学前児童の保護者と小学生児童の保護者の状況	％	就学前児童 88.0	90.6	94.30	－	－	－	就学前児童 91.0
		％	小学生児童 90.9	－	90.70	－	－	－	小学生児童 94.0

【施策番号6　施策２－１－１　主要事業】

事　業　名	予　算　額（前年度予算額）対前年度増減額	事　業　内　容
【拡大】 結婚新生活支援事業 （令和６年度継続申請分等） 〔　移住推進課　〕	5,814万8千円 【当初・12月補正】 （5,735万2千円） 79万6千円	新婚世帯の経済的不安の軽減を図るため、新婚世帯の住宅の取得、賃借、リフォーム、引越しの費用に対し補助金を交付する。 ・対象世帯　夫婦共に婚姻日における年齢が39歳以下かつ世帯所得500万円未満の世帯 ・補助上限額　夫婦共に29歳以下　60万円 上記以外　30万円 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号6　施策２－１－１ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
結婚支援事業 〔　移住推進課　〕	1，440万7千円 （1，186万円） 254万7千円	結婚を希望する若者の結婚活動を支援するため、マリッジサポートデスクを運営し、相談・マッチングにより出会いの場を創出する。 また、若者に対し、結婚や子育てを含む将来のライフデザイン検討の機会を提供する。 ・「ながの結婚マッチングシステム」の運用 ・若者のライフデザイン形成支援　ほか 【分野横断「ひと」-キ】
連携中枢都市圏結婚支援事業 〔　移住推進課　〕	172万円 （165万円） 7万円	長野地域連携中枢都市圏域外から移住を希望する独身者を迎え、圏域内の定住希望の独身者との交流の機会を提供する。 ・圏域の魅力を伝える婚活ツアーの開催 【分野横断「ひと」-キ】
【新規】 １か月児健康診査事業 〔　健康課　〕	1，301万9千円 （0円） 1，301万9千円	１か月児の健康診査を実施することで、疾病等の早期発見と関係機関と連携した支援につなげ、乳児の健康保持と増進を図る。 ・健診の実施時期　おおむね生後28日から６週未満 ・実施場所　個別医療機関 ・健診内容　内科診察・身体測定など 【分野横断「ひと」-キ】
【拡大】 産後ケア事業 （利用料金の市負担割合を拡大） 〔　健康課　〕	3，266万7千円 （1，979万3千円） 1，287万4千円	出産後１年未満の保健指導を必要とする母子が、産科医療機関や助産所において体調の回復及び育児手技等の知識を習得するため、利用料の一部を負担する。 ・宿泊型、通所型（８ｈ・４ｈ）、訪問型を実施 ・利用料金の８割を市が負担 ・上限額　（宿泊）22，700円/回（※） （通所８ｈ・４ｈ）10，600円、5，800円/回 （訪問）8，000円/回 ※宿泊型の７回目までは、さらに2，500円/回を市が負担 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号6　施策２－１－１ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
妊婦のための支援給付事業 （ながの版ネウボラを除く） 〔　健康課　〕	2億3,044万2千円 （1,280万1千円） 2億1,764万1千円	妊婦の産前産後期間における身体的・精神的・経済的負担軽減のため、面談等による情報提供や相談支援（ながの版ネウボラ）と経済的支援（妊婦支援給付金）を一体的に実施する。 ・妊婦支援給付金 市内に住所を有する妊婦を対象 妊娠届出後５万円、産後 胎児数×５万円（流産・死産を含む）を支給 【分野横断「ひと」-キ】
妊娠・出産包括支援事業 （ながの版ネウボラ） 〔　健康課　〕	4,595万1千円 （3,626万7千円） 968万4千円	妊娠・出産から子育て期の様々な不安や悩みごとについて８か所の保健センターに配置した母子保健コーディネーター（保健師等）や本庁健康課窓口に配置した保健師が相談に応じ、地区担当保健師や関係機関等と連携し、切れ目のないきめ細かな支援をする。 【分野横断「ひと」-キ】
不妊治療を希望する人の応援事業 〔　健康課　〕	1,634万5千円 （1,546万9千円） 87万6千円	不妊治療（保険適用）のうち生殖補助医療を受ける方に対し、自己負担の一部を市独自に補助する。 《治療及び助成回数について》 ・生殖補助医療（体外受精・顕微授精） 治療開始時点で40歳以上43歳未満の女性 （１子につき胚移植が３回に至るまで） 40歳未満の女性（胚移植６回まで） ・男性不妊治療（生殖補助医療に至る過程の一環として行う精子を採取する手術） 【分野横断「ひと」-キ】
妊婦健康診査事業 〔　健康課　〕	2億5,255万5千円 （2億7,024万3千円） △1,768万8千円	妊婦及び胎児の健康の保持と安心して出産を迎えることができるよう妊婦健康診査を実施する。 ・基本健診　14回　無料 ※血液・細胞検査５回、超音波検査４回含む ・多胎児妊婦健診　５回まで ※１回につき１万円を上限に助成 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号6　施策２－１－１ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
産婦健康診査事業 〔　健康課　〕	2,033万1千円 （2,131万9千円） △98万8千円	産後うつの予防や新生児への虐待防止等のため、出産後間もない時期の産婦が行う健康診査に対し助成する。 ・健診回数　２回まで ・５千円を上限（１回につき） ・事業内容　産科医療機関及び助産所で実施 問診、診察、尿検査　ほか 【分野横断「ひと」-キ】
乳幼児健康診査事業 （１か月児健康診査を除く） 〔　健康課　〕	6,169万8千円 （6,449万3千円） △279万5千円	乳幼児の発育状況等の確認及び疾病・障害等の早期発見のため、成長過程の節目となる時期に健康診査を実施する。 ・対象者 ４か月児（３～５か月児）保健センター 乳児一般（３～11か月児）医療機関 ９か月児（９～10か月児）医療機関 １歳６か月児（１歳６～11か月児） 保健センター ３歳児（３歳～３歳11か月児）保健センター 【分野横断「ひと」-キ】
妊産婦新生児訪問事業 （はじめまして！赤ちゃん事業） 〔　健康課　〕	842万5千円 （846万1千円） △3万6千円	生後３か月までの乳児家庭に保健師又は助産師が訪問し、母子保健にかかる助言や、育児に関する不安や悩みの相談及び子育て支援に関する情報提供等を行う。 訪問時に「エジンバラ産後うつ病質問票」等を活用し、支援の必要な母親を早期に発見し適切な制度につなげる。 【分野横断「ひと」-キ】
妊婦歯科健康診査事業 〔　健康課　〕	334万8千円 （337万円） △2万2千円	早産や低体重児出産の原因となりうる妊婦の歯周病を防ぎ母子の健康を増進するため、妊婦の歯科健康診査を実施する。 ・受診期間：出産前日まで ・健診内容：問診、歯科健診、ブラッシング 実技を含む歯科保健指導 ・自己負担：なし 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号6　施策2－1－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 長野市版こども計画策定事業 〔　こども政策課　〕	1,251万9千円 （0円） 1,251万9千円	将来にわたる子ども・若者への支援の充実を図るため、第三期長野市子ども・子育て支援事業計画を踏まえながら、若者施策を反映させた長野市版の市町村こども計画を策定する。 【分野横断「ひと」-キ】
【新規】 幼稚園等預かり保育支援事業補助金 〔　保育・幼稚園課　〕	574万8千円 （0円） 574万8千円	幼稚園を利用している保育を必要とする家庭を対象に、経済的負担の軽減を図るため、夏休みなどの長期休み中に利用する預かり保育料の一部を補助する。 事業期間　令和７年度～ 対象児童　新２号認定児童 補助上限　月額　10,000円 【分野横断「ひと」-キ】
【拡大】 こどもの居場所づくり事業 （児童館の午前開館試行施設拡大） 〔　こども政策課　〕	1,312万7千円 （1,107万8千円） 204万9千円	民間団体が設置する常設の居場所や児童館の午前開館により、居場所が必要な子どもたちや保護者に対して、見守りや支援を行うとともに、多様な課題に対して、行政と民間団体、地域や学校などが連携した支援を行う。 ・こどもの居場所づくり事業補助金 ・児童館の午前開館試行事業業務委託 【拡大分】 ・午前開館試行施設（２施設→３施設に拡大） 【分野横断「ひと」-キ】
【拡大】 児童館等小規模改修 （児童館・児童センター遊戯室への空調設備設置） 〔　こども政策課　〕	5,275万円 （3,304万1千円） 1,970万9千円	放課後子ども総合プラン施設（児童館・児童センター、子どもプラザ）の計画的な改修や修繕工事を実施し、より安全・安心で過ごしやすい施設環境を提供する。 ・児童館、児童センター、子どもプラザほか維持補修工事 【拡大分】 ・空調設備未設置の児童館・児童センター遊戯室へのエアコン設置 児童館・児童センター　15施設分 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号6　施策2－1－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
放課後子ども総合プラン推進事業 〔　こども政策課　〕	17億1,549万円 （14億7,179万6千円） 2億4,369万4千円	放課後における安全で安心な子どもたちの居場所を確保し、遊びや交流、体験活動を通して、子どもたちの健やかな育ちと保護者の仕事・子育ての両立を支援する。 ・児童館・児童センター・子どもプラザでの放課後児童健全育成事業の運営 ・アドバイザーによる体験活動の実施 ・放課後子ども教室の開催 【分野横断「ひと」-キ】
子どもの体験・学び応援事業 〔　こども政策課　〕	9億775万1千円 【当初・令和5年度2月補正繰越】 9億2,399万5千円 （626万円） △2,250万4千円	スポーツや文化芸術、自然体験、民間の各種教室など、多様な体験プログラムを用意し、そのプログラムの参加に利用できる電子ポイントを配布することで、子どもたちが様々な体験を通じて好きなことを見つけ自己肯定感を育みながら成長できる環境を提供する。 ・利用対象者　長野市に居住する小中学生 ・ポイント額　子ども１人当たり３万円分 【分野横断「ひと」-キ】
出産・子育て応援LINE配信事業 〔　こども総合支援センター「あのえっと」　〕	309万円 （196万4千円） 112万6千円	妊産婦や子育て世帯等に対して、妊娠・出産や子育ての不安・負担感の軽減を図り、子育てに喜びを感じてもらうことを目的に、妊娠・出産から子育てに関する情報を長野市公式LINE（ライン）で発信する。 ・マタニティLINE ・子育てLINE ・子育てLINE　入学わくわく準備号 【分野横断「ひと」-キ】
こども広場・支援センター・ファミリーサポートセンター運営事業 〔　保育・幼稚園課　〕	2億7,835万2千円 （2億3,789万1千円） 4,046万1千円	保護者の交流促進、子育てに関する相談及び情報提供を行う「こども広場」、児童の預かり等の子育て相互援助活動に関する連絡・調整を行う「ファミリーサポートセンター」の運営委託事業を実施する。また、保育所等に併設している「地域子育て支援センター」の運営・補助を行う。 ・こども広場　２施設 ・ファミリーサポートセンター　１か所 ・地域子育て支援センター　19施設 【分野横断「ひと」-キ】

施策番号7

施策2－1－2 子どもの成長を育む支援環境の充実

（R7年度事業費　14,021,010 千円）

【目指す状態】

乳幼児期の子どもが、安心感や人への信頼感を土台にして健やかに育ち、その後の発達・成長の基礎となる力を着実に育んでいる。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
			○			○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	%	51.5	49.7	45.1	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	〔再掲：子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている〕	%	46.4	43.5	47.4	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
保育所の福祉サービス第三者評価受審率	計画期間中に福祉サービス第三者評価を受審した保育所の割合	%	43.4	41.1	40	－	－	－	65.0
家庭で日頃、子どもに絵本の読み聞かせをしている保護者の割合	市内の幼稚園・保育所・認定こども園に通園している子どもの保護者の状況	%	89.3	88.2	88.9	－	－	－	90.0

【施策番号7　施策2－1－2 主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 保育施設等価格高騰対策支援事業 〔　保育・幼稚園課　〕	2,300万円 （0円） 2,300万円	光熱費、ガソリン代等の価格高騰の影響を受けている私立保育所等に対し、価格高騰分の一部を補助することで、保育環境の充実を図る。 ・主な対象施設 私立保育所、認定こども園等　約100施設 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号7　施策2－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【拡大】 こども誰でも通園制度事業 （実施園数の拡大） 〔　保育・幼稚園課　〕	7,169万4千円 （3,160万2千円） 4,009万2千円	令和８年度からこども誰でも通園制度の本格実施が円滑に行えるよう課題等を整理しながらノウハウを蓄積し、実施園数を拡大することにより未就園児童家庭の支援の充実を図る。 事業期間　令和７年４月～令和８年３月 対象児童　０歳６か月～３歳未満 利用時間　月10時間まで 実施施設　市内保育所等８か所程度 （令和６年度は４か所） 【分野横断「ひと」-キ】
こども総合支援センター「あのえっと」運営事業 〔　こども総合支援センター「あのえっと」　〕	1,605万1千円 （996万9千円） 608万2千円	子どもに関わる相談（育児、発達、不登校、いじめ、虐待等）にワンストップで対応し、関係機関との連携・調整により支援につなげる。 ・相談員人件費３名分 ・こども総合支援センター周知用マグネット作成費用 ・AI活用型相談支援サービス利用料 ・フリーダイヤル電話料　ほか 【分野横断「ひと」-キ】
私立保育所入所委託 〔　保育・幼稚園課　〕	37億4,278万4千円 【当初・２月補正】 （41億9,608万4千円） △4億5,330万円	私立保育所に入所する児童の適正な教育・保育の確保を図るため、私立保育所に対して運営委託費を支給する。 ・私立保育所27園ほか管外保育所 【分野横断「ひと」-キ】
幼稚園・認定こども園施設型給付金 〔　保育・幼稚園課　〕	61億5,530万2千円 【当初・２月補正】 （47億5,548万円） 13億9,982万2千円	私立幼稚園（子ども・子育て支援新制度移行園）及び私立認定こども園に入所する児童の適正な教育・保育の確保を図るため、施設型給付費を支給する。 ・私立幼稚園９園 ・私立認定こども園31園（幼保連携型12園） （幼稚園型　７園） （保育所型　12園） 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号7　施策２－１－２ 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
地域型保育給付金 〔　保育・幼稚園課　〕	2億620万7千円 【当初・２月補正】 (2億589万1千円) 31万6千円	地域型保育事業を行う施設に地域型保育給付費を支給し、３歳未満児の受入れ拡大を図る。 ・市内５施設 【分野横断「ひと」-キ】
幼児教育・保育の無償化施設等利用給付金 〔　保育・幼稚園課　〕	2億9,594万7千円 (5億8,070万6千円) △2億8,475万9千円	幼児教育・保育の無償化の対象となる私立幼稚園、公立・私立認定こども園等を利用する保護者へ、無償化に係る保育料、利用料を支給する。 ・主な対象施設 保育料：私立幼稚園（子ども・子育て支援新制度未移行園）６園 預かり保育料：私立幼稚園15園、公立・私立認定こども園33園 【分野横断「ひと」-キ】

施策番号8

施策２－１－３　社会的援助を必要とする家庭等の自立支援　（R7年度事業費　1,374,670 千円）

【目指す状態】
子育てに関わる保護者等が悩みを抱え込むことなく相談につなげられ、すべての子どもが安定した環境の中、地域に見守られながら、安心して暮らしている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
○				○	○	○						○				○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている	%	26.8	26.6	24.4	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
高等職業訓練促進給付金事業による就業率	高等職業訓練促進給付金を受給し養成機関を修了した者に占める就業者の割合 注：基準値の括弧内は、修了者と就業者の人数を示す。（就業者/修了者）	%	100 （10人／10人）	100 (8/8)	100 (8/8)	－	－	－	100

【施策番号8　施策２－１－３ 主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【拡大】 母子生活支援施設改築事業 （既存施設の解体、実施設計等） 〔　子育て家庭福祉課　〕	8,492万7千円 （95万円） 8,397万7千円	入所者等の安全性の確保及び利便性の向上を図るため、老朽化した母子生活支援施設を改築する。 ・事業期間　令和６年度～令和９年度 ・総事業費　約６億３千万円 ・令和７年度事業内容 解体工事、実施設計業務委託等 令和６年度　アスベスト含有調査 令和７年度　解体工事、実施設計等 令和８年度～令和９年度　建設工事等 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号8　施策2－1－3 主要事業】

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
女性相談支援員配置 〔　子育て家庭福祉課　〕	1,345万1千円 (947万9千円) 397万2千円	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律及び配偶者暴力防止法に基づき、DV相談をはじめ困難な問題を抱える女性の各種相談に応じ、問題解決に向け支援を行い被害の未然防止を図る。 ・女性相談支援員３名配置 【分野横断「ひと」-キ】
ヤングケアラー支援事業 〔　子育て家庭福祉課　〕	1,035万3千円 (879万2千円) 156万1千円	ヤングケアラーについての社会的認知度の向上を図るとともにコーディネーター配置等により必要な支援につなげる。 ・ヤングケアラー実態調査 ・相談・支援窓口設置 　コーディネーター２名配置 【分野横断「ひと」-キ】
こども家庭センター運営事業 〔　子育て家庭福祉課　〕	1,443万7千円 (1,662万5千円) △218万8千円	児童福祉法に基づく「こども家庭センター」の児童福祉機能として、常に市民に寄り添いながら、児童虐待への早期対応や支援を要する家庭への相談及び継続的な支援を行う。 ・要保護児童対策協議会による要保護児童等の早期発見や適切な保護 ・統括支援員のほか、資格を有する専門職員の配置 【分野横断「ひと」-キ】
児童手当支給 〔　子育て家庭福祉課　〕	77億2,448万8千円 (58億9,049万円) 18億3,399万8千円	高校生年代までの児童を養育している家庭の生活の安定と、児童の健全育成を図るため、児童手当を支給する。 ・月額15,000円（３歳未満の第一子及び第二子） ・月額10,000円（３歳～高校生年代までの第一子及び第二子） ・月額30,000円（第三子以降） 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号8　施策2－1－3 主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
発達支援あんしんネットワーク事業 〔 こども総合支援センター「あのえっと」 〕	4,256万9千円 （3,367万6千円） 889万3千円	発達に何らかの支援を必要とする子どもとその保護者への支援を行うため、フォロー教室や保育所等へ発達相談員等が訪問する「にこにこ園訪問事業」等を実施するとともに、子どもの情報を保護者と支援者が共有する「はぐくまファイル」の活用を促進する。 ・にこにこ園訪問 　保育所、幼稚園、認定こども園等へ訪問 【分野横断「ひと」-キ】
ひとり親家庭子どもの生活・学習支援事業 〔 子育て家庭福祉課 〕	1,488万3千円 （1,285万1千円） 203万2千円	ひとり親家庭の小・中学生を対象に、学習習慣の習得と生活向上を図るため、生活・学習支援を行う。 ・対象　小学４年生から中学３年生までの児童・生徒 ・会場　公民館等14か所 【分野横断「ひと」-キ】
児童扶養手当支給 〔 子育て家庭福祉課 〕	10億8,891万7千円 （10億4,001万5千円） 4,890万2千円	ひとり親家庭等の生活の安定を図るため、児童扶養手当を支給する。 ・支給額（月額） 　第一子　　46,690円～11,010円 　第二子以降　11,030円～ 5,520円 【分野横断「ひと」-キ】

分野２　人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」

政策２　生きがいのある豊かな高齢社会の形成

施策番号9

施策２－２－１　高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進　（R7年度事業費　585,608 千円）

【目指す状態】

高齢者が自らの経験や能力を活かして積極的に社会に参加し、様々な場面で生きがいを感じながらいきいきと暮らしている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
		○				○						○				○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている	%	39.8	36.5	34.0	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
社会参加している60歳以上の市民の割合	「就労（仕事に就き、その対価を得ている）」「ボランティア」「興味関心のある活動」等、社会と関わる活動をしている60歳以上の市民の割合	%	81.4	79.6	81.0	－	－	－	84.4

【施策番号9　施策２－２－１　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 加齢性難聴者補聴器購入費補助金 〔　高齢者活躍支援課　〕	572万8千円 （0円） 572万8千円	加齢性難聴者の社会参加を後押しするため、難聴による生活の質の低下やそれによる閉じこもりなどがないように、補聴器購入に補助金を交付するとともに、補聴器装着後も市関係課や医師会、補聴器販売会社と連携して一体的に支援する。 ・対象者　65歳以上の加齢性難聴者 （聴力レベル、所得等の要件あり） ・補助率　10分の10（上限額３万円） 【分野横断「まち」-ウ】

【施策番号９　施策２－２－１ 主要事業】

事業名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
老人福祉センター小規模改修事業 〔 高齢者活躍支援課 〕	9,715万3千円 （6,894万8千円） 2,820万5千円	老人福祉センター等の計画的な維持・改修工事を行い、利用者の利便性の向上と施設の安全維持を図る。 ・安茂里老人福祉センター （EV、受変電施設更新等） ・七二会ふれあい交流ひろば、 松代ふれあい交流ひろば（20年目改修）ほか 【分野横断「まち」-ウ】　【長寿命化】
おでかけパスポート事業補助金 〔 高齢者活躍支援課 〕	1億6,368万1千円 （2億5,581万5千円） △9,213万4千円	高齢者の積極的な社会参加を促すため、70歳以上のおでかけパスポート所持者が安価で市内路線バス等を利用できるようにする。 ・事業内容　運賃割引事業の負担金 ・対象者　　バス事業者 アルピコ交通株式会社 長電バス株式会社 長野市公共交通活性化・再生協議会 【分野横断「まち」-イ】
高齢者生きがいづくり講座・グループ活動育成事業 〔 高齢者活躍支援課 〕	2億7,418万円 （2億7,447万6千円） △29万6千円	高齢者の生きがいづくりや健康づくりを目的とした各種講座を実施するとともに、地域における福祉活動の場として提供し、高齢者福祉の向上を図る。 【分野横断「まち」-ウ】

施策番号10

施策2－2－2　地域包括ケアシステムの深化・推進　（R7年度事業費　44,631,063 千円）

【目指す状態】
高齢者が自ら介護予防・健康維持の取組を実践するとともに、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域の中で、必要な介護を受けながら最期まで自分らしく安心して暮らしている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
		○				○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	%	42.9	42.3	38.8	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	%	54.7	52.5	55.7	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
要介護状態ではない高齢者の割合	高齢者（65歳以上）のうち、要介護認定（要介護１～５）を受けていない人の割合	%	86.8	86.8	87.1	－	－	－	87.1

【施策番号10　施策2－2－2 主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 ケアマネジャー、 主任ケアマネジャー支援事業 〔　地域包括ケア推進課　〕	300万円 （0円） 300万円	介護保険サービス維持のためケアマネジャー等の資格取得、更新等に必須である研修費用を助成することにより人員確保、離職防止を図る。 ・対象経費　資格取得、更新に係る研修費 実務研修、更新研修、再研修等 ・補助率　法定研修費の２分の１ 上限額 ２万５千円（１人につき） ※翌年度以降、市内事業所に勤務し、ケアプランを作成する人の研修費が対象。 【分野横断「まち」－イ】

【施策番号10　施策２－２－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
軽費老人ホーム事務費補助金 〔　高齢者活躍支援課　〕	2億8,669万3千円 (2億7,628万5千円) 1,040万8千円	家庭環境・住宅事情等により在宅生活が困難な高齢者が、所得に応じた料金で軽費老人ホームで生活できるようにするために、軽費老人ホームを運営する社会福祉法人に補助金を交付する。 ・対象者　市内軽費老人ホーム　９施設 ・補助率　10分の10以内（上限なし） 【分野横断「まち」-イ】
介護保険関連サービス基盤整備補助金 〔　高齢者活躍支援課　〕	12億7,747万7千円 (5億9,710万9千円) 6億8,036万8千円	増加する介護サービス需要に対応するため、第10次長野市高齢者福祉計画・第９期長野市介護保険事業計画「あんしんいきいきプラン21」に基づき、介護保険関連サービス基盤の整備等を実施する社会福祉法人等に補助金を交付する。 また、介護現場の生産性向上を推進するため、介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット技術・ICTの導入に対する補助及び国の「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」対象事業として、介護施設等の非常用自家発電設備設置等に対し、補助金を交付する。 ・事業期間　令和７年度（単年度） ・事業内容　ア　地域密着型サービス等整備助成 イ　介護施設等の施設開設準備経費等助成 ウ　大規模修繕に伴う介護ロボット技術・ICT導入助成 エ　非常用自家発電設備設置助成　ほか ・対象者　施設整備事業者 ・補助率　ア～ウ　定額（長野県地域医療介護総合確保基金）10分の10　上限有 エ　定額　10分の10 【分野横断「まち」-イ】
老人ホーム入所措置 〔　地域包括ケア推進課　〕	3億4,193万1千円 【12月補正】 (3億228万円) 3,965万1千円	65歳以上の高齢者で、家庭環境や経済的理由により、居宅での生活・養護が困難な人を養護老人ホームへ入所措置し、入所者の心身の保持と生活の安定を図る。 ・養護老人ホーム　市内２施設、県内３施設　県外１施設 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号10　施策２－２－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
成年後見制度利用促進事業 〔　地域包括ケア推進課　〕	2,726万2千円 (2,571万5千円) 154万7千円	認知症や知的・精神障害者等の判断能力が不十分な者を法的に保護・支援する成年後見制度の利用を促進するため、相談から申立の支援、後見人に対する支援等一連の支援を専門的かつ継続的に担う成年後見支援センターを運営し、要援護者の権利擁護を図る。 【分野横断「まち」-イ】
「おひとりさま」あんしんサポート事業 〔　地域包括ケア推進課　〕	2,317万3千円 (2,027万7千円) 289万6千円	身寄りのない高齢者の身元保証や死後事務等に関する相談窓口を長野市成年後見支援センターに併設し、弁護士、司法書士、行政機関、その他の事業者等と連携して高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう包括的に支援する。 【分野横断「まち」-イ】
地域介護予防活動支援事業 〔　地域包括ケア推進課　〕	298万2千円 (316万2千円) △18万円	住民同士の主体的な介護予防活動を推進するため、専門職等の派遣や補助金による支援を行う。 ・介護予防クラブ育成講座、活動支援 ・介護予防クラブ支援事業補助金 　限度額12万円/年（４回目以降６万円/年） ・介護予防生きいき通いの場事業補助金 　限度額12万6千円/年（初年度加算10万円） 【分野横断「まち」-ウ】
在宅医療・介護連携システム 〔　地域包括ケア推進課　〕	475万2千円 (475万2千円) 0円	市、医療機関及び介護事業者がICTを活用した情報共有システムを運用し、多職種（医師、訪問看護師、ケアマネジャー等）による円滑な支援を行うことで、高齢者の在宅療養生活を支える。 ・令和７年度利用見込　医師70名 【分野横断「まち」-ウ】

【施策番号10　施策２－２－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
総合相談支援事業 〔　地域包括ケア推進課　〕	4億9,169万3千円 （4億8,595万8千円） 573万5千円	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築し、高齢者やその家族等から受けるさまざまな相談に対して、地域における適切な保健・医療・福祉サービス等の機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。 ・総合相談業務 ・権利擁護業務 ・地域包括支援センター運営業務 【分野横断「まち」-ウ】
介護保険特別対策事業 〔　介護保険課　〕	767万4千円 （731万6千円） 358千円	生計を維持することが困難な低所得者が介護サービス等を円滑に利用できるよう、経済的負担を軽減する。 ・社会福祉法人等が行う利用者負担の軽減措置に対する助成 ・訪問介護を利用する障害者の利用者負担軽減 ・利用者負担を援護しなければ、生活保護法の「要保護者」になると認められる人への援護金支給 【分野横断「まち」-イ】
介護保険事業 [介護保険特別会計] 〔　介護保険課　〕	364億8,040万円 【当初・9月補正・12月補正・２月補正・３月補正】 （363億3,212万円） １億4,828万円	介護保険法に基づき、介護や予防が必要な要介護者、要支援者、総合事業の事業対象者及びその家族が、安心して生活を継続していくことができるよう、必要な保険給付等を行うなど、介護保険制度の運営を行う。 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 休日認知症相談事業 「（仮称）ほっと安心相談」 [介護保険特別会計] 〔　地域包括ケア推進課　〕	9万8千円 （0円） 9万8千円	本人や家族等の認知機能に不安を感じ、相談を希望する働く世代を対象に、日曜開庁にあわせて専門職による相談の場を設け、必要な医療や社会参加活動、介護サービスへつながるよう、認知症の相談窓口の充実を図る。 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号10　施策２－２－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
介護予防生活支援サービス事業 ［介護保険特別会計］ 〔　地域包括ケア推進課　〕	7,515万円 （7,277万8千円） 237万2千円	要支援者や国の基準に該当した者に対して「介護予防ケアマネジメント」に基づく専門職、住民主体等による多様なサービスを提供し、元の生活を取り戻す支援を行う。 ・訪問型サービス 　訪問型元気回復プログラム ・通所型サービス ・生活支援サービス 【分野横断「まち」-ウ】
フレイル予防推進事業 （寝たきり予防推進事業） ［介護保険特別会計］ 〔　地域包括ケア推進課　〕	818万2千円 （850万5千円） △32万3千円	フレイル予防市民ナビゲーターや関係機関等と連携した啓発運動の展開により、フレイル（虚弱）を予防し、市民の健康寿命の延伸を図る。 ・シン・長野市はつらつ体操の普及・啓発 ・市民ナビゲーターによるフレイル予防チェック＆ガイドの実施、啓発 ・フレイル改善講座の実施 ・ふらっとフレイル予防体験の実施 【分野横断「まち」-ウ】
認知症初期集中支援事業 ［介護保険特別会計］ 〔　地域包括ケア推進課　〕	945万9千円 （757万4千円） 188万5千円	認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、早期診断・早期対応として医療・介護の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を設置し、医療や介護等の関係機関の連携体制の強化、支援体制の構築を図る。 ・認知症初期集中支援チームの活動 ・認知症ケア会議の開催 【分野横断「まち」-イ】
認知症地域支援 ・ケア向上推進事業 ［介護保険特別会計］ 〔　地域包括ケア推進課　〕	186万3千円 （230万1千円） △43万8千円	市民への相談窓口の充実・周知を図るとともに、認知症の人や家族、ケアマネジャーからの相談に応じ、関係機関へのつなぎや連絡調整等の支援を行い、地域での支援体制の構築を図る。 ・認知症相談会の開催 ・認知症カフェの開催支援 ・チームオレンジへの展開 ・安心おかえりカルテの作成支援 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号10　施策２－２－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
在宅医療・介護連携推進事業 ［介護保険特別会計］ 〔　地域包括ケア推進課　〕	1,394万6千円 （1,391万4千円） 3万2千円	地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことができるよう、医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携の構築を図る。 ・在宅医療・介護連携拠点の設置（委託） ・在宅医療・介護連携推進会議の開催 ・市民への普及啓発 【分野横断「まち」-ウ】

分野２　人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」

政策３　だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

施策番号11

施策2－3－1　障害者（児）福祉の充実　（R7年度事業費　12,591,160 千円）

【目指す状態】

障害の有無によって分け隔てられることなく、だれもが自分らしく安心して暮らしている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
			○		○	○						○		○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	%	22.8	24.3	22.4	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	%	64.5	64.6	63.9	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
一般企業の障害者雇用率（年）	企業が雇用する常用労働者数に占める障害者の割合	%	2.28	2.39	2.47	－	－	－	2.53

【施策番号11　施策2－3－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額（前年度予算額）対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 リアルタイム字幕表示システム導入事業 〔　障害福祉課　〕	82万円 （0円） 82万円	聴覚障害者のための意思疎通の選択肢を増やし、窓口サービスの質の向上を図るとともに、障害者への合理的配慮の提供を推進するため、障害福祉課の窓口にリアルタイム字幕表示システムを導入する。 ・機器購入費等　82万円（１台分） 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 手話言語条例普及啓発事業 〔　障害福祉課　〕	86万円 （0円） 86万円	長野市手話言語条例の制定に伴い、手話及び聴覚障害に対する理解促進事業を実施する。 ・啓発リーフレットの作成 ・手話出前講座　講師・通訳者派遣事業　ほか 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号11　施策2－3－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 医療的ケア児等通院時同行支援事業 〔　障害福祉課　〕	120万円 （0円） 120万円	医療的ケア児の通院時に、看護師等が同行・支援するための経費に対し補助金を交付し、緊急時の医療的ケア児の安全確保と家族の負担軽減を図る。 ・対象者 日常的に医療的な生活援助行為を要する状態にある児童のうち、医療機器が必要な０歳から18歳までの児童 【分野横断「まち」-イ】
【拡大】 障害者地域生活相談支援事業 （医療的ケア児コーディネーター設置） 〔　障害福祉課　〕	9，791万8千円 （9，131万8千円） 660万円	障害者の地域生活を支援するため、現行の相談支援体制を「基幹相談支援センター」として再編するとともに、医療的ケア児コーディネーターを新たに配置し、相談体制の質の向上を図る。 ・障害者相談支援センター事業 ・発達相談支援センター事業 ・障害者権利擁護サポート事業 ・地域移行コーディネート事業 ・医療的ケア児コーディネート事業　ほか 【分野横断「まち」-イ】
障害者自立支援給付等事業 〔　障害福祉課　〕	86億2，436万5千円 【当初・12月補正・3月補正】 （87億655万4千円） △8，218万9千円	障害者総合支援法に基づき、障害者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活が送れるよう、必要な自立支援給付等を行う。 ・障害者介護給付費・訓練等給付費 【分野横断「まち」-イ】
自立支援医療費 ・療養介護医療費 〔　障害福祉課　〕	3億1，373万7千円 （3億268万3千円） 1，105万4千円	障害者総合支援法に基づき、一定の障害の状態にある方に対して、以下の医療費の一部を給付することにより、心身の障害を軽減し、日常生活の自立を図る。 ・自立支援医療費 ・療養介護医療費 ・肢体不自由児通所医療費 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号11　施策2－3－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
地域生活支援事業 〔　障害福祉課　〕	3億6,201万2千円 （3億6,723万3千円） △522万1千円	障害者総合支援法（地域生活支援事業）に基づき、障害者（児）が地域で充実した生活を過ごすための各種事業を行う。 ・障害者移動支援 ・身体障害者訪問入浴 ・在宅障害者タイムケア ・障害児自立サポート ・日常生活用具給付 ・地域活動支援センター　ほか 【分野横断「まち」-イ】
障害者（児）福祉施設整備補助金 〔　障害福祉課　〕	4,125万円 （6,788万2千円） △2,663万2千円	障害福祉サービス利用者等の福祉の向上を図るため、社会福祉法人等が整備する障害者福祉施設について、補助金を交付する。 ・グループホーム創設　１件 【分野横断「まち」-イ】
障害理解促進事業 〔　障害福祉課　〕	186万8千円 （192万2千円） △5万4千円	障害に対する理解を深め、障害者の人権を守るため、市民や事業者に対して啓発活動の充実を図る。 ・障害者週間促進・障害理解特別企画展開催 ・企業懇談会開催 ・障害者にやさしいお店登録制度　ほか 【分野横断「まち」-イ】
障害児自立支援給付等事業 〔　障害福祉課　〕	22億2,298万4千円 （23億2,683万2千円） △1億384万8千円	児童福祉法に基づき、障害児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活が送れるよう、必要な自立支援給付等を行う。 ・障害児介護給付費・訓練等給付費 【分野横断「ひと」-キ】

【施策番号11　施策2－3－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
障害者スポーツ振興補助金 〔　スポーツ課　〕	948万8千円 （1,310万1千円） △361万3千円	障害者のスポーツ参加への機会拡大と障害者スポーツの理解を促進するため、大会やイベント等の開催に負担金を交付する。 ・長野車いすマラソン大会負担金 ・長野市障害者スポーツ協会負担金 ・パラスポーツ振興事業負担金 【分野横断「ひと」-カ】

施策番号12

施策２－３－２　認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現　（R7年度事業費　515,175 千円）
【目指す状態】 市民一人ひとりが、地域の中で互いに認め合い、支え合い、活かし合いながら、安心して自分らしくいきいきと暮らしている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
		○				○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	%	42.8	41.3	40.8	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	%	57.6	59.6	58.4	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
地区地域福祉活動計画等に基づき地域福祉活動に取り組んでいる地区数	地区地域福祉活動計画の進捗状況の把握や計画の検証・見直しに取り組んでいる地区数	地区	32	32	32	－	－	－	32

【施策番号12　施策２－３－２ 主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
重層的支援体制整備事業 〔　福祉政策課　〕	3,139万8千円 （3,212万1千円） △72万3千円	既存の相談体制や支援体制を活かしつつ、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の３つの支援を一体的に実施し、複雑化・複合化した課題や、制度の狭間となる課題に対する包括的な支援体制を構築する。 ・多機関協働事業 　相談支援包括化推進員　２人 ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業 　支援員　１人 【分野横断「まち」-イ】
民生・児童委員協議会活動交付金 〔　福祉政策課　〕	1億337万1千円 （1億178万3千円） 158万8千円	厚生労働大臣から委嘱された民生委員・児童委員及び各地区の協議会に対する活動費等、市協議会事務局への運営費用を交付するとともに、委員の研修費用を負担する。 ・交付対象　各委員、各地区の協議会、市協議会事務局 ・交付内容　活動費（委員及び別途会長加算） 　調査費及び会議費（地区協議会） 　運営交付金（市協議会事務局） 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号12　施策２－３－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
地域たすけあい事業補助金 〔　地域包括ケア推進課　〕	1，993万6千円 【２月補正】 （1，631万2千円） 362万4千円	市社会福祉協議会及び住民自治協議会が実施する地域たすけあい事業について、補助金を交付し、地域福祉の向上を図る。 ・コーディネーター人件費補助（市社協） 補助率　10分の10 ・福祉自動車購入補助（住自協） 補助率　10分の10 上限　普通車300万円、軽自動車200万円 【分野横断「まち」-エ】

施策番号13

施策2－3－3　生活の安定と自立への支援　（R7年度事業費　　6,149,976　千円）

【目指す状態】
　だれもが幾重にもはりめぐらされたセーフティネットに守られ、その状況に応じて可能な限り自立し、困窮することなく安定した生活を送っている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
○					○	○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	生活に困った時に相談できる体制が整っている	%	24.7	23.8	24.7	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
「まいさぽ長野市」の支援により就労した人の割合	「まいさぽ長野市」の利用者における、就労支援を必要とする人のうち、支援により実際に就労した人の割合	%	67.0	83.6	97.2	－	－	－	62.1

【施策番号13　施策2－3－3　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
法定扶助 〔　生活支援課　〕	53億7,086万2千円 （57億284万円） △3億3,197万8千円	生活保護法に基づき、生活保護受給者に対し必要な保護を行い、生活の安定を図るとともに自立を助長する。 【分野横断「まち」-イ】
生活支援給付 〔　生活支援課　〕	7,711万3千円 （7,704万9千円） 6万4千円	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律に基づき、中国残留邦人等に生活支援費を給付する。 また、特定中国残留邦人等の死亡後に支援給付を受ける権利を有する特定配偶者に配偶者支援金を給付する。 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号13　施策2－3－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
生活困窮者自立支援事業 （生活困窮者学習支援事業を除く） 〔　生活支援課　〕	6,813万3千円 （6,707万9千円） 105万4千円	生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対する自立相談支援事業等を実施する。 ・長野市生活就労支援センター（まいさぽ長野市）における相談支援　ほか 【分野横断「まち」-イ】
生活困窮者学習支援事業 〔　生活支援課　〕	559万円 （650万7千円） △91万7千円	生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護世帯及び生活困窮世帯の児童・生徒を対象に、学習の場所・機会を提供し、基礎学力の向上、高等学校への進学等のための学習支援、進学支援等を行うことで子どもの将来の社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止する。 【分野横断「まち」-ウ】

分野2　人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」

政策4　安心して暮らせる健康づくりの推進

施策番号14

施策2－4－1　健康の保持・増進の支援　（R7年度事業費　687,096 千円）

【目指す状態】
　市民一人ひとりが健康の大切さを認識し、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組み、自分らしく生きがいをもって生活している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
	○	○				○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	%	43.7	41.2	39.8	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	健康づくりに継続的に取り組んでいる	%	62.9	63.8	62.7	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
健康寿命（年）	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作が自立している期間の平均	年	男81.1 女84.8	（R3） 男81.4 女85.0	（R4） 男81.5 女85.5	－	－	－	平均自立期間の延伸
75歳未満のがん死亡率（年）	75歳未満における、人口10万人当たりのがんの年齢調整死亡率	%	60.0	（R3） 60.8	（R4） 58.0	－	－	－	減少傾向
メタボリックシンドローム予備群・該当者の割合	40歳～74歳における、メタボリックシンドローム予備群または該当者であると診断された市民の割合	%	男50.1 女17.5	（R3） 男51.0 女17.3	（R4） 男50.3 女16.8	－	－	－	男33.0 以下 女 11.7 以下

【施策番号14　施策2－4－1　主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 減塩環境整備事業 〔　健康課　〕	255万5千円 （0円） 255万5千円	自然と減塩に取組める環境整備を行うことにより、脳心血管病の最大の危険因子である高血圧の抑制を図る。 ・幼児期 　味覚形成期である３歳児の尿中食塩濃度を測定、見える化し意識付けを行う ・働き盛り世代、高血圧ハイリスク者 　JSH減塩食品を訪問保健指導時などに配布し実食体験をしてもらう 【分野横断「まち」-ウ】

【施策番号14　施策2－4－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
保健センター維持修繕事業 〔　健康課　〕	1億8,873万6千円 （3,615万2千円） 1億5,258万4千円	市民がより安全に施設を利用できる環境を整備するため、保健センターの建物及び設備の修繕、工事、備品管理を実施する。 ・松代保健センター長寿命化工事 ・保健センター等施設・物品修繕 ・保健センター等維持補修的工事 【分野横断「まち」-ウ】　【長寿命化】
生活習慣病予防対策事業 （減塩環境整備事業を除く） 〔　健康課　〕	1,317万6千円 （1,149万4千円） 168万2千円	健康寿命延伸へ向けた生活習慣病予防対策を推進する。 ・ながの健やかプラン21（第二次）の推進 ・生活習慣病重症化予防訪問保健指導 ・集団健康教育、総合健康相談 ・青年期糖尿病予防講座（血液検査）ほか 【分野横断「まち」-ウ】
栄養・食育事業 〔　健康課　〕	1,085万円 （918万4千円） 166万6千円	子どもの頃からの健康づくりと生活習慣病の発症・重症化予防のため、乳幼児健康教室、訪問栄養指導等における栄養相談を実施する。 【分野横断「まち」-ウ】
がん検診事業 〔　健康課　〕	2億3,895万2千円 （2億3,253万3千円） 641万9千円	がんの早期発見と早期治療を促しがんによる死亡率を減少させるため、各種がん検診を実施する。 ・対象者 　胃がん検診（40歳以上） 　肺がん検診（40歳以上） 　大腸がん検診（40歳以上） 　子宮頸がん検診（20歳以上女性） 　乳がん検診（30歳以上女性） 　前立腺がん検診（50～74歳男性） 【分野横断「まち」-ウ】

【施策番号14　施策２－４－１ 主要事業】（つづき）

事業名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
がん患者へのアピアランスケア助成事業 〔 健康課 〕	354万3千円 （255万4千円） 98万9千円	がん治療やその副作用により外見の変化が生じたがん患者に対し、補整具等の購入費の２分の１（限度額２万円）を助成する。 対象補整具 ・頭髪補整具 ウイッグ･装着用ネット･毛付き帽子 ・乳房補整具 補整パッド･補整下着･専用入浴着･人工乳房 ・その他　エピテーゼ（欠損部位補完人工物） 【分野横断「まち」-ウ】
歯周疾患検診事業 〔 健康課 〕	977万円 （910万6千円） 66万4千円	周病の予防と早期発見・早期治療を促し、歯と口腔の健康を保持・増進するため、歯周疾患検診を実施する。 ・対　象　者：20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の節目年齢の人 ・受診者負担：500円（ただし、70歳、市民税非課税世帯、生活保護受給者、特定中国残留邦人支援金受給者は無料） 【分野横断「まち」-ウ】

施策番号15

施策2－4－2　保健衛生の充実

（R7年度事業費　　2,419,859 千円）

【目指す状態】

感染症の流行に備えた体制が整備され、地域に密着した専門性の高い保健衛生事業の提供により、だれもが健やかで安心・安全に暮らしている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
		○				○	○									○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	%	18.4	18.0	16.9	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	%	68.4	69.5	68.8	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
自殺率（年）	人口10万人当たりの自殺率	－	15.2	16.7	16.3	－	－	－	12.9以下

【施策番号15　施策2－4－2 主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
斎場管理運営 〔　市民窓口課　〕	1億4,107万5千円 （1億497万8千円） 3,609万7千円	市内３斎場（大峰、松代、犀峡斎場）の管理・運営を行う。 ・指定管理料 ・火葬炉等施設修繕費　ほか 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 保健所受水槽加圧給水ポンプユニット類更新事業 〔　保健所総務課　〕	774万9千円 （0円） 774万9千円	長野市保健所の運営が円滑に行えるようにするため、保健所庁舎及び設備の維持管理を行う。 ・保健所受水槽加圧給水ポンプユニット類更新工事 【分野横断「まち」-ウ】

【施策番号15　施策２－４－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 帯状疱疹ワクチン定期接種事業 〔　健康課　〕	3億7，175万円 （0円） 3億7，175万円	発症及び重症化の確率の高い高齢者に対して定期予防接種を実施し重症化予防を図る。 ・対象者：65歳の者（令和７年度以降５年間は経過措置として、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の者も対象。） ・自己負担額 水痘ワクチンの場合：2，000円 帯状疱疹ワクチンの場合：5，500円 ※帯状疱疹ワクチンは２回接種が必要 【分野横断「まち」-ウ】
【新規】 新型コロナウイルスワクチン定期接種事業 〔　健康課　〕	5億1，757万9千円 【６月補正】 （9億6，954万9千円） △4億5，197万円	特例臨時接種の終了により令和６年度から定期接種となった新型コロナワクチンの接種を行う。 ・対象者　65歳以上の高齢者及び60～64歳で重い疾患（障害者手帳１級）のある者 ・時期・回数　秋～冬、期間中に１回 ・自己負担額　3，800円（国の助成金が無いため、見直しを行っています） 【分野横断「まち」-ウ】
新型コロナウイルスワクチン接種事業 （定期接種事業を除く） 〔　健康課　〕	3，500万8千円 （4，494万8千円） △994万円	令和６年３月末までの特例臨時接種実施期間中の接種に係る健康被害救済制度の認定者に対する医療費・医療手当等の給付金を支給する。 【分野横断「まち」-ウ】
予防接種事業 （新型コロナワクチン・帯状疱疹ワクチンを除く） 〔　健康課　〕	9億7，045万3千円 （11億2，901万4千円） △1億5，856万1千円	伝染の恐れのある疾病及び蔓延を防止するため、Ａ類疾病・Ｂ類疾病の定期予防接種を実施する。 ・Ａ類疾病：集団予防に重点 ・Ｂ類疾病：個人予防に重点 【分野横断「まち」-ウ】

【施策番号15　施策２－４－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
自殺対策強化事業 〔　健康課　〕	284万6千円 （293万2千円） △8万6千円	自殺者数の減少を図るため、対面相談事業の充実や世代別の自殺対策を進める。 ・自殺対策推進ネットワーク会議の開催 ・中学生対象に「SOSの出し方教育」の実施 ・総合相談会、精神科医相談の開催 ・市民・若者・経営者など対象者別の ゲートキーパー講座の開催 ・保健・福祉・教育関係者対象研修会の実施 ・世代別リーフレットの作成・配布 ・自殺対策行動計画の推進　ほか 【分野横断「まち」-ウ】
精神保健相談事業 〔　健康課　〕	538万7千円 （455万2千円） 83万5千円	精神保健に関する相談に対し、専門職を配置して相談支援を行う。 ・精神保健相談員の配置 ・面接、電話相談 ひきこもり支援事業 ・ひきこもり家族会の開催（１回／月） ・ひきこもり家族教室の開催（６回２シリーズ） ・ひきこもりの理解と支援のための講演会 （１回／年） 【分野横断「まち」-ウ】
猫繁殖制限助成事業 〔　食品生活衛生課　〕	1,307万円 （1,307万円） 0円	猫の繁殖制限手術の実施を推進し、子猫の遺棄等による野良猫増加の防止並びに引取頭数の減少を図ることで、市民の生活環境の保全並びに望まれずに生まれてくる不幸な猫及び殺処分数の減少を図る。 ・対象　飼育する猫 飼い主のいない猫・譲渡予定の猫 ・助成額　飼育する猫 不妊 2,500円　去勢 1,500円 飼い主のいない猫・譲渡予定の猫 不妊13,000円　去勢10,000円 【分野横断「まち」-エ】
検査機器管理事業 〔　環境衛生試験所　〕	1,213万3千円 （876万円） 337万3千円	保健所環境衛生試験所の臨床・食品・環境検査業務で使用する検査機器、及び、設備の更新・修繕を行う。 【分野横断「まち」-ウ】

施策番号16

施策2－4－3　地域医療体制の充実　（R7年度事業費　52,388,243 千円）

【目指す状態】

だれもが必要とする時に、適切な医療サービスを受けている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
		○				○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	%	61.3	60.6	59.2	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	かかりつけ医がいる	%	73.9	73.5	74.6	－	－	－	→

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
健康寿命（年）（再掲：施策番号14）	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作が自立している期間の平均	年	男81.1 女84.8	（R3） 男81.4 女85.0	（R4） 男81.5 女85.5	－	－	－	平均自立期間の延伸

【施策番号16　施策2－4－3　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 看護学生確保対策事業補助金 〔　医療連携推進課　〕	1,000万円 （0円） 1,000万円	看護師等の資格を取得できる市内で唯一の実践的な職業教育機関（専修学校）である長野看護専門学校に対し、学生確保を目的とした取組に対して補助金を交付し、新規看護師等の養成促進を図る。 ・対象経費　学生確保を目的とした取組に要する経費 ・補助金額　10,000千円 ・補助率　２分の１ 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 中山間地域医療連携事業補助金 〔　医療連携推進課　〕	1,000万円 （0円） 1,000万円	中山間地における医療体制を安定的に確保するため、国保診療所への医師派遣に関する協定を公的病院と締結し、病院の財政事情に応じて補助金を交付することにより、平時から医師派遣が可能な体制を構築する。 ・対象経費　医師派遣体制整備に要する経費 ・補助金額　10,000千円 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号16　施策２－４－３ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【拡大】 福祉医療費給付事業 （子どもの福祉医療制度の窓口無料化） 〔 福祉政策課 〕	29億8,749万9千円 【当初、9月補正、12月補正、2月補正】 (25億8,576万1千円) 4億173万8千円	子ども、障害者、ひとり親家庭を対象に、健康の保持と生活の安定を目的に福祉医療費を給付する。 子育て支援の更なる充実を図るため、令和７年４月診療分から「18歳年度末まで」の子どもを対象に、１レセプトにつき500円の受給者負担金を廃止し、福祉医療制度の窓口無料化を実施する。 【分野横断「まち」-ウ】
救急医療提供体制整備事業 〔 医療連携推進課 〕	1億96万円 (1億253万2千円) △157万2千円	市民に救急医療を提供するために、急病センター事業の委託、在宅当番医制・歯科急患医療事業・病院群輪番制病院への補助等を実施する。 ・救急医療提供体制 長野市民病院・医師会 急病センター 厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院・医師会 急病センター 厚生連長野松代総合病院急病センター 在宅当番医（医科・歯科） 病院群輪番制病院（長野医療圏７病院） 【分野横断「まち」-イ】
市民病院運営費負担金 〔 医療連携推進課 〕	8億2,635万7千円 (11億4,973万7千円) △3億2,338万円	地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人長野市民病院の事業の経費の一部を負担する。 ・負担する経費の内容 「地方公営企業繰出金について」（総務省通知）に準ずる。 【分野横断「まち」-イ】
国民健康保険事業 ［国民健康保険特別会計（事業勘定）］ 〔 国保・高齢者医療課 〕	325億1,890万円 (328億4,454万1千円) △3億2,564万1千円	国民健康保険法に基づき、被保険者の疾病、負傷、出産、死亡に関し必要な保険給付を行う。 国民健康保険事業の安定的運営のため、特定健診、特定保健指導により生活習慣病を予防し、医療費の適正化を図るとともに、保険料の収納率向上に努める。 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号16　施策2－4－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
国民健康保険直営診療所 運営事業 ［国民健康保険特別会計（直診勘定）］ 〔　医療連携推進課　〕	5億2,880万円 （5億635万3千円） 2,244万7千円	中山間地域の医療の確保を図るため、国民健康保険法、地方自治法及び長野市国民健康保険診療所設置条例に基づき市が設置している国民健康保険直営診療所の管理・運営を行う。 ・診療所６施設 　信里（歯科併設）、信更（歯科併設）、 　戸隠（歯科併設）、鬼無里、大岡、中条 ・歯科診療所２施設 　鬼無里歯科、大岡歯科 【分野横断「まち」-イ】
市民病院貸付事業 ［病院事業債管理特別会計］ 〔　医療連携推進課　〕	3億830万円 （9億6,400万円） △6億5,570万円	地方独立行政法人長野市民病院が行う病院施設及び機器整備事業に要する経費について、地方独立行政法人法の規定に基づき、設立団体である市が地方債を借入れ、法人に長期貸付を行う。 ・対象事業　高度医療機器更新事業 【分野横断「まち」-イ】

分野２　人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」

政策５　人権を尊ぶ明るい社会の形成

施策番号17

施策２－５－１　人権尊重社会の実現　（R7年度事業費　76,911 千円）

【目指す状態】

市民一人ひとりが、生涯にわたり自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、人権を尊重している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
○			○	○	○	○						○		○		○

アンケート指標		単位	基準値(R3)	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値(R8)
環境・体制に関する評価	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	%	34.7	32.6	34.1	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	人権問題について理解を深めようとしている	%	58.3	58.4	58.2	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値(R2)	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値(R8)
人権教育・啓発研修会参加者の満足度	指導主事が講師を務める人権教育・啓発研修会の参加者のうち、研修が「とてもよい」「よい」と回答した人の割合	%	83.3 (R元)	83.1	90.0	－	－	－	92.0

【施策番号17　施策２－５－１　主要事業】

事　業　名	予　算　額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事　業　内　容
人権教育啓発 〔　人権・男女共同参画課　〕	2,160万1千円 (1,746万2千円) 413万9千円	すべての人の人権が尊重され、心豊かな生活を送ることができる明るく住みよい社会の実現を目指し、家庭・地域、学校、企業などと連携を図りながら、教育・啓発事業を進める。 ・地域・企業での人権教育研修会開催等支援 ・啓発資料の作成･配布、DVDの購入･貸出 ・TV･ラジオ啓発番組制作・放送 ・人権啓発ポスター･標語コンクール ほか 【分野横断「ひと」-ク】

施策番号18

施策２－５－２　男女共同参画社会の実現　（R7年度事業費　69,855 千円）

【目指す状態】

　男女が社会の対等な構成員として個性と能力を十分に発揮し、自らの意思により社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
○			○	○	○	○						○				○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	%	23.5	24.5	23.0	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	男女共同参画や女性活躍推進について理解を深めようとしている	%	51.3	56.3	55.8	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
地域の方針決定の場への女性の参画度	住民自治協議会における、議決権のある役員への女性の参画率	%	17.5	15.8	16.6	－	－	－	30.0

【施策番号18　施策２－５－２　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
男女共同参画推進活動 〔　人権・男女共同参画課　〕	1,059万8千円 （995万7千円） 64万1千円	第五次男女共同参画基本計画に基づき、男女が互いにその人権を尊重し合い、責任も分かち合い、性別にかかわりなく、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現と、あらゆる分野における女性の活躍推進を図る。 ・女性活躍支援事業 ・男女共同参画に関する市民意識と実態調査 ・女性のための地域活動セミナー　ほか 【分野横断「しごと」-オ】
男女共同参画センター運営 〔　人権・男女共同参画課　〕	789万3千円 （761万7千円） 27万6千円	女性の自立と男女共同参画社会実現を図るため、「長野市男女共同参画センター」において家族、パートナー、職場等における人間関係、DVや様々なハラスメント等に直面する女性のための相談を実施する。 ・女性のための相談事業 　女性弁護士による法律相談 　相談員による電話・面接相談 【分野横断「しごと」-オ】

分野3　人と自然が共生するまち「ながの」（環境分野）

政策1　環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

- 施策1　脱炭素社会の構築　施策番号19
- 施策2　循環型社会の実現　施策番号20

政策2　自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

- 施策1　豊かな自然環境の保全　施策番号21
- 施策2　良好で快適な環境の保全と創造　施策番号22

分野３　人と自然が共生するまち「ながの」

政策１　環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

施策番号19

施策３－１－１　脱炭素社会の実現　（R7年度事業費　38,713 千円）

【目指す状態】

温室効果ガスの排出削減を意識した日常生活や事業活動が営まれ、排出量が年々減少しているとともに、一定程度上昇する気温の影響など、気候の変化による被害を回避、軽減している。（緩和策＋適応策）

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○		○	○		○		○	○	○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている	%	22.9	22.5	22.6	－	－	－	↗
環境・体制に関する評価	日常生活において、災害における防災・減災対策や熱中症予防など、温暖化に伴う影響に備えた取組が行われている	%	48.0	34.4	29.0	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている	%	40.2	41.1	42.8	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	災害に対する備え（防災グッズ・ハザードマップの確認）や熱中症対策など、温暖化の影響への対応を心掛けた暮らしをしている	%	76.0	60.1	59.1	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
温室効果ガス排出量	各種統計資料の電力使用量や自動車登録台数などのデータを用いて算出した市民一人当たりの年間温室効果ガス排出量	kg-CO_2	5,476（H30）	5,139（R1）	4,850（R2）	－	－	－	4,251以下
再生可能エネルギーによる電力自給率（発電設備容量）	発電設備容量（①水力・小水力＋②太陽光＋③バイオマス）／最大電力需要量	%	56.4	57.9（R3）	62.5（R4）	－	－	－	70.0
バイオマス発電量	市内バイオマス発電施設による年間発電量	MWh	65,821	63,782	62,614	－	－	－	84,500

【施策番号19　施策3－1－1 主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 資源プラスチック分別収集事業 （資源プラスチック及び 充電式電池等） 〔　生活環境課 資源再生センター　〕	156万円 （0円） 156万円	カーボンニュートラルを実現するために必要不可欠な循環経済への移行を図るため、モデル地区でプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化を開始し、令和８年度からの全市一斉実施を目指す。また、収集する際に混入することで、火災発生リスクが懸念される充電式電池等の分別収集も併せて開始する。 ・事業期間　令和７年度～ ・令和７年度事業内容 　プラスチック使用製品廃棄物再商品化委託 　充電式電池等処分委託 【分野横断「まち」-イ】
環境基本施策策定事業 〔　環境保全温暖化対策課　〕	1,041万円 【債務負担行為】 令和８年度 1,039万5千円 （109万2千円） 931万8千円	長野市環境基本条例に基づき、市長の諮問に応じて環境の保全及び創造に関する基本的事項について調査又は審議するほか、環境の保全及び創造に関する基本的事項について意見を述べる長野市環境審議会を運営する。 ・長野市環境基本計画の改定 ・長野市環境審議会の開催（３回／年） 【分野横断「まち」-イ】
長野市温暖化対策推進補助金 〔　環境保全温暖化対策課　〕	1,070万円 （2,000万円） △930万円	家庭・事業所から排出されるCO2の削減及び停電時の対応力強化に資する機器の導入に対し助成を行う。 ・対象機器及び補助額 　①家庭用蓄電池　５万円 　　（太陽光発電設備と併せて設置する場合 　　10万円） 　②電気自動車等充給電設備（V2H）　６万円 【分野横断「まち」-イ】
電気自動車（EV）充電設備設置モデル事業 〔　環境保全温暖化対策課　〕	180万6千円 （459万8千円） △279万2千円	電気自動車（EV）をはじめとする次世代自動車及び充電インフラの普及促進を図るため、市有施設へのEV充電器の整備及び維持管理を行う。 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号19　施策3－1－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
温室効果ガス排出量見える化・削減支援補助金 〔 環境保全温暖化対策課 〕	403万5千円 （758万5千円） △355万円	市内事業者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量削減に向けた取組を支援するため、二酸化炭素排出量算定クラウドサービス利用料に対し助成を行う。 ・対象者及び補助率 ①継続利用企業 ３分の１（上限額５万円） ②新規利用企業 ２分の１（上限額７万５千円） 【分野横断「まち」-エ】
温暖化防止企画・調査事業 〔 環境保全温暖化対策課 〕	725万8千円 （401万1千円） 324万7千円	脱炭素社会の構築を目指し、長野圏域連携中枢都市圏構想に基づく連携事業を実施するほか、再生可能エネルギーの導入拡大、省エネルギーの普及等に関する調査を行う。 ・果樹剪定枝・薪ストーブ活用推進事業 ・庁用車電気自動車導入モデル事業 ・奥裾花自然園再生可能エネルギー活用事業 【分野横断「まち」-オ】
バイオマス産業都市推進事業 〔 環境保全温暖化対策課 〕	185万9千円 （941万8千円） △755万9千円	バイオマス産業都市として、市内に豊富に存在するバイオマス資源の利活用を推進し、脱炭素社会の構築や地域産業の発展を目指す。 ・バイオマス研究開発事業補助金 市内中小企業者が実施するバイオマス燃料の製造試験に要する費用に対し交付 補助率　２分の１、限度額　50万円 ・きのこ廃培地活用推進 【分野横断「まち」-オ】
小水力発電事業 〔 環境保全温暖化対策課 〕	74万5千円 （77万5千円） △3万円	再生可能エネルギーの利用を進めるため、大岡浅刈小水力発電所の維持管理を行い、大岡小・中学校の電源を確保するとともに、施設見学等環境学習への活用を図る。 【分野横断「まち」-オ】

施策番号20

施策3－1－2　循環型社会の実現　（R7年度事業費　5,351,740 千円）

【目指す状態】

市民や事業者がごみの発生抑制に積極的に取り組み、排出量が年々減少している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○	○			○			○	○	○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている	%	44.1	45.4	44.4	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している	%	85.2	88.2	86.1	－	－	－	→
	マイボトルを携帯したり、ストローやスプーンをもらわないなど使い捨てプラスチックの削減に取り組んでいる	%	76.0	77.5	75.5	－	－	－	↗
	ごみの分別を徹底している	%	93.7	94.9	94.0	－	－	－	→

統計指標	内容	単位	基準値（H30）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
事業所からのごみ排出量	事業所からのごみ排出量（産業廃棄物を除く）	t	40,898	38,986	37,886	－	－	－	40,004以下
ごみ総排出量	市民一人一日当たりのごみ排出量	g	926	891	854	－	－	－	881以下

【施策番号20　施策3－1－2　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 資源プラスチック分別収集事業 （資源プラスチック及び充電式電池等） 〔　生活環境課　〕	1,090万3千円 （0円） 1,090万3千円	カーボンニュートラルを実現するために必要不可欠な循環経済への移行を図るため、モデル地区でプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化を開始し、令和８年度からの全市一斉実施を目指す。また、収集する際に混入することで、火災発生リスクが懸念される充電式電池等の分別収集も併せて開始する。 ・事業期間　令和７年度～ ・令和７年度事業内容 「ごみの出し方保存版」等周知啓発物の全戸配布 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号20　施策3－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 資源プラスチック分別収集事業 （資源プラスチック及び 充電式電池等） （再掲）施策番号19 〔　生活環境課 資源再生センター　〕	156万円 （0円） 156万円	カーボンニュートラルを実現するために必要不可欠な循環経済への移行を図るため、モデル地区でプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及び再商品化を開始し、令和８年度からの全市一斉実施を目指す。また、収集する際に混入することで、火災発生リスクが懸念される充電式電池等の分別収集も併せて開始する。 ・事業期間　令和７年度～ ・令和７年度事業内容 プラスチック使用製品廃棄物再商品化委託 充電式電池等処分委託 【分野横断「まち」-イ】
衛生センター改修事業 〔　生活環境課 衛生センター　〕	1億7,161万6千円 （2億5,390万1千円） △8,228万5千円	し尿や浄化槽汚泥の安全で効率的な処理のため、機器の計画的な更新や整備、及び施設改修を行う。 ・主要機器更新外工事 老朽化した主要機器の更新と、継続使用する機器の定期整備を行う。 ・し尿受槽及び受入槽内面防食改修工事 【分野横断「まち」-イ】　【長寿命化】
産業廃棄物処理監視指導事業 〔　廃棄物対策課　〕	1,146万7千円 （1,068万4千円） 78万3千円	廃棄物処理に関する許可及び廃棄物処理業者への立入検査を実施し、法基準の遵守を図るとともに、必要に応じ行政処分等を実施し廃棄物の適正処理に取り組む。 また、PCB特別措置法に基づきPCB廃棄物等の期間内適正処理に取り組む。 【分野横断「まち」-イ】
生ごみ減量啓発事業 〔　生活環境課　〕	632万1千円 （629万円） 3万1千円	可燃ごみの約４割を占める生ごみの減量を推進するため、家庭における生ごみの堆肥化を推進する。 ・生ごみ自家処理講座の開催 ・生ごみ減量アドバイザー研修、派遣 ・生ごみ自家処理機器の購入費補助金の交付 ・生ごみ堆肥の各種PR活動 ・生ごみ堆肥を活用する講座 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号20　施策3－1－2 主要事業】（つづき）

事業名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
脱プラスチックに向けた取組 〔 環境保全温暖化対策課 〕 〔 生活環境課 〕	353万6千円 （322万5千円） 31万1千円	ポイ捨てごみ等が川から海へ流れ出ることで、海洋ごみ（プラスチックごみ）に大きな影響を与えていることを広く認識してもらい、脱プラスチックに向け、プラスチックスマートに対する意識の向上を図る。 ・プロギングイベント※の実施 （※ジョギングを取り入れた街頭ゴミ拾い 「ながの海ごみプロジェクト」と共催） 【分野横断「ひと」-ク】 プラスチックスマートや、ごみの削減を推進するため、「えこねこ通信」の全戸配布により啓発を行う。 燃やさざるを得ないプラスチックを削減するため、地区清掃活動などで使用する「公共用ごみ袋」（13万枚）を、バイオマスプラスチック製（10%配合）とする。 【分野横断「まち」-イ】
集団資源回収の推進 〔 生活環境課 〕	4，196万4千円 （4，937万2千円） △740万8千円	ごみの減量、再資源化を推進し、資源物の排出機会の増加を図るため、再生利用可能な資源物（古紙類、ビン類、缶類及び布類）の回収を行った団体に対し、報奨金を交付する。 ・１kg当たり　６円 【分野横断「まち」-イ】
ごみ収集運搬事業 〔 生活環境課 〕	12億5，429万5千円 （12億5，935万6千円） △506万1千円	集積所へ排出されたごみ及び資源物を適正かつ円滑に収集し処理施設へ運搬する。 「サンデーリサイクル」として、日曜日にスーパー等の駐車場で資源物（ビン・缶・ペットボトル・紙・蛍光灯・廃食用油等）の拠点回収や収集した剪定枝葉等について、資源化処理を行い、リサイクルを推進する。 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号20　施策3－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
長野広域連合負担金 〔　生活環境課　〕	21億7,543万4千円 （19億8,192万1千円） 1億9,351万3千円	長野広域連合が整備した焼却施設「ながの環境エネルギーセンター」（長野市）及び「ちくま環境エネルギーセンター」（千曲市）並びに最終処分場「エコパーク須坂」（須坂市）に係る管理運営費等に要する経費を負担する。 【分野横断「まち」-イ】
ごみ分別等啓発・指導事業 〔　生活環境課　〕	3,206万5千円 （2,958万3千円） △248万2千円	市民及び事業所に対して、ごみの減量・分別の徹底を指導啓発する。 住民説明会の開催や出前講座、チラシの配布など、ごみ・資源物に関する情報発信を行う。 【分野横断「まち」-イ】
し尿収集運搬事業 〔　生活環境課　〕	2億3,772万4千円 （2億6,517万円） △2,744万6千円	し尿収集運搬・浄化槽汚泥処理及びし尿処理手数料徴収業務を委託し、し尿の適正処理を行う。 【分野横断「まち」-イ】
資源化施設改修事業 〔　生活環境課 資源再生センター　〕	4億3,085万8千円 （3億9,196万2千円） 3,889万6千円	不燃ごみ、資源物の安全で効率的な処理や資源化を進めるため、設備の計画的な修繕及び更新を行う。 ・資源再生センター基幹整備工事 事業期間　令和６年度～令和７年度 総事業費　5億4,450万円 ・プラスチック圧縮梱包機オーバーホール工事 ・資源化施設ごみクレーン整備工事　ほか 【分野横断「まち」-イ】

分野３　人と自然が共生するまち「ながの」

政策２　自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

施策番号21

施策３－２－１　豊かな自然環境の保全	（R7年度事業費　9,819 千円）

【目指す状態】

豊かな自然環境や生物多様性が保たれ、自然と触れ合うことができる。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
			○			○	○			○	○			○	○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	豊かな自然環境が保たれている	%	70.4	71.6	70.9	－	－	－	→
回答者自身の実践状況	自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている	%	51.7	52.5	52.1	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境学習会参加者数	市及び各団体が主催する環境学習会の参加者数	人	2,638	2,094	2,145	－	－	－	5,500

【施策番号21　施策３－２－１　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
自然環境保全事業 〔　環境保全温暖化対策課　〕	464万3千円 （609万円） △144万7千円	優れた自然環境を保全するため、動植物の生息・生育環境、森林などの調査を継続的に実施するとともに、自然環境に親しめる場と機会の創造を図る。 ・飯綱高原森林博物館整備事業 ・奥裾花自然園保全再生調査 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号21　施策３－２－１ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
脱プラスチックに向けた取組 （再掲）施策番号20 〔　環境保全温暖化対策課　〕 〔　生活環境課　〕	353万6千円 （322万5千円） 31万1千円	ポイ捨てごみ等が川から海へ流れ出ることで、海洋ごみ（プラスチックごみ）に大きな影響を与えていることを広く認識してもらい、脱プラスチックに向け、プラスチックスマートに対する意識の向上を図る。 ・プロギングイベント※の実施 （※ジョギングを取り入れた街頭ゴミ拾い 「ながの海ごみプロジェクト」と共催） 【分野横断「ひと」-ク】 　プラスチックスマートや、ごみの削減を推進するため、「えこねこ通信」の全戸配布により啓発を行う。 　燃やさざるを得ないプラスチックを削減するため、地区清掃活動などで使用する「公共用ごみ袋」（13万枚）を、バイオマスプラスチック製（10%配合）とする。 【分野横断「まち」-イ】

施策番号22

施策３－２－２　良好で快適な生活環境の保全と創造	（R7年度事業費　109,657　千円）

【目指す状態】

良好な生活環境が美しく保たれている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
		○				○	○			○				○	○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている	%	71.8	73.3	74.4	－	－	－	⇨
回答者自身の実践状況	地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している	%	47.5	46.7	47.2	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
ポイ捨て等ごみ回収量	地区環境美化活動における参加者一人当たりのごみ回収量	g	470	322	346	－	－	－	300以下

【施策番号22　施策３－２－２ 主要事業】

事　業　名	予　算　額（前年度予算額）対前年度増減額	事　業　内　容
側溝土砂清掃事業 〔　環境保全温暖化対策課　〕	2,725万7千円 （2,949万円） △223万3千円	各地区で実施される側溝等清掃で搬出された土砂の収集運搬・処理を行い、市民の環境美化意識の高揚を図るとともに、自主的な生活環境の保持及び向上を図る。 【分野横断「まち」-イ】
環境汚染対策事業 〔　環境保全温暖化対策課　〕	2,831万1千円 （2,818万6千円） 12万5千円	大気、水質等環境汚染の実態調査を行い、事業所等の排出源を監視するとともに、改善又は防止の措置を指導する。 ・有害大気汚染物質測定 ・ダイオキシン類測定 ・大気常時監視 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号22　施策3－2－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
生活環境公害対策事業 〔　環境保全温暖化対策課　〕	713万7千円 （684万7千円） 29万円	騒音・振動・悪臭など生活環境に影響がある公害の実態調査を行い、事業所等の排出源を監視するとともに、改善又は防止の措置を指導する。 ・自動車騒音面的評価 ・高速道路騒音調査 ・北陸新幹線騒音振動調査 【分野横断「まち」-イ】
不法投棄対策事業 〔　生活環境課　〕	608万8千円 （570万7千円） 38万1千円	監視カメラ等の設置や民間委託によるパトロールを継続実施し、不法投棄の防止・啓発活動及び投棄廃棄物の回収を行い、地域の生活環境や自然環境の保全を図る。 【分野横断「まち」-イ】

分野4　安全で安心して暮らせるまち「ながの」（防災・安全分野）

政策1　災害に強いまちづくりの推進

- 施策1　防災・減災対策の推進　施策番号23
- 施策2　消防力の充実・強化及び火災予防　施策番号24

政策2　安心して暮らせる安全社会の構築

- 施策1　交通安全対策の推進　施策番号25
- 施策2　防犯対策の推進　施策番号26
- 施策3　安全な消費生活の確保　施策番号27

分野4　安全で安心して暮らせるまち「ながの」

政策1　災害に強いまちづくりの推進

施策番号23

施策4－1－1　防災・減災対策の推進　（R7年度事業費　4,975,574 千円）

【目指す状態】

災害発生に備え、被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○			○					○		○

アンケート指標		単位	基準値(R3)	後期基本計画の実績値					目標値(R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	%	34.2	35.6	30.4	―	―	―	↗
回答者自身の実践状況	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	%	49.6	52.1	52.7	―	―	―	↗

統計指標	内容	単位	基準値(R2)	後期基本計画の実績値					目標値(R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
地域防災マップ作成率	540自主防災組織のうち、地域の防災マップを作成した割合	%	77.8	80.9	81.5	―	―	―	85.0
防災訓練実施率	自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	%	55.0	70.9	77.4	―	―	―	100

【施策番号23　施策4－1－1　主要事業】

事業名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
【新規】 孤立対策用輸送用ドローン導入事業 〔　危機管理防災課　〕	698万4千円 （0円） 698万4千円	発災時の孤立集落へ必要物資を空中輸送することができる最新鋭の機体を導入し、孤立集落対策の有効な手段の一つとする。 既に整備済みの偵察用ドローンと併せ、次世代型の防災対応力の強化を図る。 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号23　施策4－1－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 衛星系長野県防災行政無線更新工事経費負担金 〔　危機管理防災課　〕	1,673万8千円 (0円) 1,673万8千円	衛星通信ネットワークを管理する自治体衛星通信機構（LASCOM)が、現行の第２世代システムの運用を令和９年度で終了するため、長野県では、端末局を第３世代の機器に入れ替える工事を令和７年度に実施することから、一部経費負担金として支出する。 【分野横断「まち」-ア】
第２災害支援ターミナル（氷鉋倉庫）整備事業 〔　危機管理防災課　〕	1億8,535万2千円 (1,048万4千円) 1億7,486万8千円	災害時備蓄品を保管する倉庫について、老朽化した施設を集約するともに、太陽光発電及び蓄電システムを備えた災害対応の拠点施設を整備する。 ・事業期間　令和６年度～令和７年度 ・総事業費　1億9,583万6千円 ・事業内容　倉庫 Ｓ造平屋　面積＝550㎡、 　土嚢置場 コンクリート土間 　面積＝100㎡ ・令和７年度事業内容 　建設工事、既存倉庫解体、場内整備　ほか 【分野横断「まち」-ア】　【長寿命化】
防災情報システム管理事業 〔　危機管理防災課　〕	1億970万円 (1億1,521万3千円) △551万3千円	迅速・的確な情報の収集・伝達が行えるよう、総合防災情報システムや防災行政無線などの情報通信機器のメンテナンス等を行う。 ・総合防災情報システム保守点検、機器修繕 ・総合防災情報システム雨量計サーバー等ハードウェア更新 ・同報無線・MCA無線機保守点検、修繕 ・気象及び緊急地震速報等の情報収集 ・防災アプリ使用料、改修 【分野横断「まち」-ア】
災害応急対策事業 〔　危機管理防災課　〕	7,862万円 【当初・３月補正】 (1億3,596万6千円) △5,734万6千円	災害に備え、緊急資機材や食料などの避難所運営に必要な生活必需品、避難所等での感染症の拡大を防止する物品の備蓄を進める。また、災害種別ごとの避難所標識を整備する。 ・備蓄品目 　毛布、段ボールベッド、簡易トイレ、 　子ども・高齢者に配慮した非常食、 　手指消毒液、消毒用エタノール　ほか ・避難場所標識設置　　５基 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号23　施策4－1－1　主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
復興推進事務 〔　秘書課　〕	1,175万2千円 （3,816万9千円） △2,641万7千円	令和元年東日本台風災害からの復興を計画的かつ円滑に進めるため、災害復興計画の進捗管理、復興に係る施策の総合調整及び被災地区の課題解決に向けた支援を行う。 ・復興推進補助金の交付 （長沼地区、豊野地区） ・被災地区移住補助金の交付 補助額　100万円 （長沼地区、豊野地区への転居・転入）ほか 【分野横断「まち」-ア】
福祉避難所整備事業 〔　福祉政策課　〕	146万9千円 【当初・３月補正】 （897万1千円） △750万2千円	重度の障害者など一般の避難所へ避難できない方が避難する福祉避難所を、避難対象者を特定して指定するとともに、開設・運営に必要な備蓄品の整備及び訓練等を行う。 ・避難対象者　災害リスクが高い場所に住む人工呼吸器使用者等 ・指定箇所数　２か所 （令和６年度実績：３か所） 【分野横断「まち」-ア】
避難行動要支援者支援事業 〔　福祉政策課　〕	444万円 （444万1千円） △1千円	ハザードマップで危険な区域に居住する重度障害者や要介護度の高い方など、自ら判断し避難することが困難な方の個別避難計画を市内10地区で作成する。 ・対象地区　第一～第五、朝陽、芋井、松代、更北、七二会の10地区 ・対象者数　約350人 ・作成方法　ケアマネジャー等の福祉専門職へ委託して作成 【分野横断「まち」-ア】
【新規】 道路等照明LED化事業 〔　河川課　〕 〔　維持課　〕	4億3,000万円 （0円） 4億3,000万円	脱炭素社会の実現に向け、道路、公園、排水機場の照明灯を省エネかつ長寿命のLED照明に改修することで、電力消費量を抑え、排出する二酸化炭素量の削減を図る。 ・道路照明：2,513灯 ・公園灯　：　487灯 ・排水機場：1,262灯（河川課分:757灯） 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号23　施策４－１－１ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 盛土規制対策事業 〔　建築指導課　〕	1,800万円 (0円) 1,800万円	盛土等に伴う災害から市民の生命・財産を守るため、既存盛土等調査に着手し、安全性把握調査に向けた基礎資料を作成する。 ・事業期間　令和７年度～令和９年度 ・令和７年度事業内容 　基礎資料収集分析、盛土等分布把握 　現地確認、応急対策 【分野横断「まち」-ア】
【拡大】 住宅耐震診断士派遣事業 （診断士派遣数拡大） 〔　建築指導課　〕	2,107万円6千円 【当初・12月補正・３月補正】 (4,387万2千円) △2,279万6千円	耐震性能の低い木造住宅の耐震化を促進するため、対象住宅の所有者の申込みに応じて、市が無料で耐震診断士を派遣し、耐震診断を実施する。 ・事業期間　平成17年度～令和７年度 ・令和７年度事業概要 　耐震診断士派遣　227件 【分野横断「まち」-ア】
【拡大】 住宅耐震改修事業補助金 （補助件数拡大） 〔　建築指導課　〕	1億2,000万円 【当初・３月補正】 (1億2,000万円) 0円	耐震性能の低い住宅の耐震化を促進するため、対象住宅の所有者が行う耐震改修工事に要する費用に対し補助金を交付する。 ・事業期間　平成17年度～令和７年度 ・令和７年度事業概要 　木造住宅耐震改修補助　上限150万円 ・補 助 率　５分の４ 　(内負担率：国1/2、県1/4、市1/4) 【分野横断「まち」-ア】
住宅耐震対策事業 〔　建築指導課　〕	75万4千円 (64万1千円) 11万3千円	耐震性能の低い住宅・建築物の耐震化を促進するため、対象住宅の所有者等に対する啓発や情報提供、窓口相談を行う。 ・令和７年度事業概要 　耐震診断啓発、情報提供 　窓口相談　　ほか 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号23　施策4－1－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額）	事 業 内 容
特定既存耐震不適格建築物等 耐震診断事業補助金 〔 建築指導課 〕	301万7千円 （495万3千円） △193万6千円	耐震性能の低い建築物の耐震化を促進するため、対象建築物の所有者が行う耐震診断に要する費用に対し補助金を交付する。 ・事業期間　平成17年度～令和７年度 ・令和７年度事業概要 　特定既存耐震不適格建築物　上限180万円 　緊急輸送道路沿い建築物　上限300万円 　既存非木造戸建て住宅　上限 14万円 ・補 助 率　３分の２ 　（内負担率：国1/2、県1/4、市1/4） 【分野横断「まち」-ア】
道路防災事業 〔 道路課 〕	5億9,230万円 【当初・３月補正】 （5億9,127万円） 103万円	道路利用者の通行の安全を確保するため、緊急自然災害防止対策事業等により、第２期長野市道路防災計画に基づき落石や法面崩落等の災害を未然に防ぐ防災対策を実施する。 【分野横断「まち」-ア】
河川水路改修事業 〔 河川課 〕	15億5,462万5千円 （11億4,944万3千円） 4億518万2千円	浸水被害を軽減するため、雨水調整池及び排水機場等の整備など雨水流出抑制を考慮した総合的な河川・水路整備を進めるとともに、流域治水への取組を推進する。 ・河川水路改修 　松代温泉団地ポンプ場 　河川水路水門自動化 　雨水貯留浸透施設設置補助金　ほか ※信濃川水系緊急治水対策、雨水調整池整備（長沼、柳原、運動公園、豊野）を除く 【分野横断「まち」-ア】
雨水調整池整備事業 〔 河川課 〕	19億7,505万4千円 【債務負担行為】 令和９年度まで 14億5,502万円 （8億9,863万円） 10億7,642万4千円	豪雨の際に雨水を一時的に貯め、河川等への流出を抑制する雨水調整池の整備を行い、流域における雨水調節機能を確保する。 ・運動公園雨水調整池整備 ・長沼雨水調整池整備 ・柳原雨水調整池整備 ・豊野雨水調整池整備 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号23　施策4－1－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額)	事 業 内 容
信濃川水系緊急治水対策 、 〔　河川課　〕	2，530万7千円 【債務負担行為】 令和９年度まで 4，400万円 【当初・６月補正・３月補正】 (6億７，335万3千円) △6億4，804万6千円	「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び「長野市災害復興計画」に基づき、長沼地区河川防災ステーションの整備、流域治水対策事業等を行う。 治水対策に係る各種協議会、ながの治水対策研究会等を通して防災・減災対策の強化、防災力の向上を図る。 ・事業期間　令和３年度～令和９年度 ・令和７年度事業内容 　埋蔵文化財調査 　ながの治水対策研究会　ほか 【分野横断「まち」-ア】
急傾斜地保全対策事業 〔　河川課　〕	3，405万円 (5，975万円) △2，570万円	土砂災害等から人命及び財産を守るため、小規模な傾斜地保全対策工事等を実施する。 ・危険渓流対策 ・地すべり対策 ・急傾斜地等整備補助金 ・急傾斜地崩壊対策県工事負担金
ブロック塀等除却事業補助金 〔　建築指導課　〕	202万5千円 (203万5千円) △1万円	ブロック塀等の倒壊による通行人の被害を未然に防止しその安全の確保を図るため、道路沿いの危険なブロック塀等の除却費用に対し補助金を交付する。 ・事業期間　昭和62年度～令和７年度 ・補 助 率　２分の１（上限５万円） 　(内負担率：国1/2、市1/2) 【分野横断「まち」-ア】

施策番号24

施策4－1－2　消防力の充実・強化及び火災予防　（R7年度事業費　2,859,710 千円）

【目指す状態】

市民の防火意識が高く、消防・救急・救助体制の充実により市民の生命・財産が守られている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	消防や救急体制が十分に整っている	%	60.4	63.1	61.0	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	%	33.3	31.7	32.0	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
出火率（年）	人口1万人当たりの出火件数	件	2.5	2.4	3.5	－	－	－	3.0以下

【施策番号24　施策4－1－2　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 将来の消防体制に関する調査研究事業 〔　消防局総務課　〕	597万3千円 （0円） 597万3千円	消防需要に対応した効率的、効果的な消防体制を維持するため、現状及び将来の消防力に関して調査研究委託を実施する。 【分野横断「まち」-ア】
【新規】 住宅防火とくらしの安全を進める運動 〔　消防局予防課　〕	145万3千円 （0円） 145万3千円	住宅防火と予防救急・応急手当の普及を柱とする新たな市民防火運動を推進するため、AR火災体験機器等を導入し、住宅用消火器の設置、早期避難等の住宅防火対策を啓発する。 ・AR火災体験機器 ・映像共有用プロジェクター 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号24 施策4－1－2 主要事業】(つづき)

事業名	予算額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事業内容
【拡大】 高機能消防指令情報システム整備事業 〔 消防局通信指令課 〕	15億9,957万4千円 (5億5,209万3千円) 10億4,748万1千円	高機能消防指令情報システムの機能強化と安定稼働の維持のため全面更新を行うとともに、須坂市消防本部との指令業務の共同運用により、効果的な運用と広域的な災害対応力の向上を図る。 ・事業期間　令和６年度～令和７年度 ・総事業費　約21.6億円 ・事業内容　令和６・７年度 システム更新整備 【分野横断「まち」-ア】
消防庁舎長寿命化改修事業 〔 消防局総務課 〕	1億3,174万5千円 (2億5,369万4千円) △1億2,194万9千円	外壁シーリングや機械設備等の老朽化が進んでいる中央消防署安茂里分署及び鶴賀消防署柳原分署の長寿命化を見据えた改修工事を行い、地域防災拠点としての機能を維持する。 ・中央消防署安茂里分署　平成14年２月竣工 　鉄骨造２階建て　延べ面積741.61㎡ ・鶴賀消防署柳原分署　平成４年４月竣工 　鉄骨造２階建て　延べ面積577.82㎡ 【分野横断「まち」-ア】　【長寿命化】
広域消防庁舎長寿命化改修事業 〔 消防局総務課 〕	2,356万2千円 (0円) 2,356万2千円	屋根や外壁シーリング等の老朽化が進んでいる鳥居川消防署信濃町分署の長寿命化を見据えた改修工事を行い、地域防災拠点としての機能を維持する。 ・鳥居川消防署信濃町分署　平成７年12月竣工 　鉄骨造２階建て　延べ面積756.13㎡ 【分野横断「まち」-ア】　【長寿命化】
耐震性貯水槽設置事業 〔 消防局総務課 〕	1,397万9千円 (1,772万1千円) △374万2千円	学校や公園等に耐震性貯水槽を設置し、火災時の消防用水及び避難時の生活用水を確保する。 ・耐震性貯水槽40㎥　１基（豊野沖公園） 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号24　施策4－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
消防車両整備事業 〔　消防局警防課　〕	1億1,583万円 (2億680万円) △9,097万円	大規模・特殊化する各種災害への対応力の強化や救急需要の増大に対応し安定した消防業務を遂行するため、消防・救急車両の計画的な更新を行う。 ・消防ポンプ自動車の更新　1台 ・高規格救急自動車の更新　1台 ・水防車　1台 【分野横断「まち」-ア】
消防団装備整備事業 〔　消防局警防課　〕	6,380万円 (5,467万円) 913万円	消防団の主要装備である小型動力消防ポンプ付軽積載車や小型動力消防ポンプを計画的に更新する。 ・小型動力消防ポンプ付軽積載車の更新　8台 ・小型動力消防ポンプの更新　8台 【分野横断「まち」-ア】
救急業務高度化事業 〔　消防局警防課　〕	2,293万5千円 (2,305万7千円) △12万2千円	救急救命士の養成やドクターカーの運用により、適切な救急救命処置が行える体制を確保する。また、住民に対する応急手当の普及啓発及び救急車適正利用の広報を推進する。 ・救急救命士の養成　3人 ・ドクターカーの運用 ・救命講習会等の開催 【分野横断「まち」-ア】
山岳救助用資機材整備事業 〔　消防局警防課　〕	467万6千円 (601万2千円) △133万6千円	山岳等での救助活動は、急峻な地形や様々な気象条件下での活動となり、二次災害の危険が伴うため、迅速な活動とともに隊員の安全を確保するため、山岳救助用資機材の整備を計画的に行う。 ・登山靴、ヘルメット、カラビナ　ほか 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号24　施策4－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
無線通信機器整備事業 〔　消防局通信指令課　〕	2,162万1千円 （627万9千円） 1,534万2千円	災害対応時の隊員間の情報伝達を効率的に行うため、公共安全モバイルを整備するとともに、災害時に国及び県内外の関係機関と相互に通信する長野県防災行政無線の更新工事の一部を負担する。 【分野横断「まち」-ア】

分野4　安全で安心して暮らせるまち「ながの」

政策2　安心して暮らせる安全社会の構築

施策番号25

施策4－2－1　交通安全対策の推進　（R7年度事業費　103,374 千円）

【目指す状態】

市民が交通事故の被害者・加害者になることなく、安全に安心して生活している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
		○				○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	交通マナーが良い地域である	%	56.4	60.2	65.9	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	自転車の交通ルールやマナーを意識している	%	91.2	77.8	75.4	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
交通事故件数（年）	交通事故件数	件	992	976	965	－	－	－	940以下
自転車事故件数（年）	自転車事故件数	件	224	203	189	－	－	－	200以下

【施策番号25　施策4－2－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
交通安全施設整備事業 〔　道路課　〕 〔　維持課　〕	7,726万5千円 （8,720万円） △993万5千円	交通安全対策として、交差点改良、交通安全施設の整備を実施する。 ・防護柵、区画線、反射鏡、標識等設置 【分野横断「まち」-イ】
通学路整備 〔　道路課　〕	3,080万円 （3,210万円） △130万円	児童・生徒の通学時の安全を確保するため、通学路の舗装、防護柵等を整備する。 【分野横断「まち」-イ】

施策番号26

施策4－2－2　防犯対策の推進　（R7年度事業費　50,206　千円）

【目指す状態】

市民の防犯意識が高く犯罪被害に遭うことなく、安全に安心して生活している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済					全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である	%	81.6	70.6	71.8	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	犯罪被害に遭わないよう対策をしている	%	87.2	65.9	67.1	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
刑法犯認知件数	凶悪犯罪以外の認知件数	件	1,277	1,343	1,677	－	－	－	1,200未満
窃盗犯認知件数（年）	窃盗犯認知件数（年）	件	936	1,061	1,274	－	－	－	880未満

【施策番号26　施策4－2－2　主要事業】

事業名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
防犯灯設置等補助金 〔　地域活動支援課　〕	4,101万9千円 （3,969万5千円） 132万4千円	夜間における市民の通行の安全を確保し、犯罪の軽減を目的として、行政連絡区が防犯灯の設置に要する経費及び維持管理に要する経費に対して補助金を交付する。 ・設置補助金額　補助率10分の10以内 人家連坦：新設25,000円、併設20,000円 人家不連坦：新設35,000円、併設20,000円 更新：20,000円 ・維持管理補助金額 人家連坦（補助率10分の５以内）、人家不連坦（補助率10分の10以内　上限4,000円）

施策番号27

施策4－2－3　安全な消費生活の確保　（R7年度事業費　24,958 千円）

【目指す状態】

関係団体や地域の関係者との強い連携により市民の消費生活における健全な環境が確保され、安全で安心な暮らしを送っている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	悪質商法や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	%	31.3	32.6	32.0	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	%	57.2	59.8	64.3	－	－	－	⇒

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
通信販売（インターネット等）に関する被害認知件数	消費生活センターで把握する通信販売（インターネット等）の被害認知件数	件	59	42	37	－	－	－	50以下
特殊詐欺認知件数（年）	県警出典による特殊詐欺の認知件数	件	29	34	65	－	－	－	20以下

【施策番号27　施策4－2－3　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
消費生活相談事業 〔　市民窓口課　〕	2,495万8千円 (2,092万6千円) 403万2千円	市民が、安全で安心な消費生活を確保するため総合的な取組を推進する。 ・消費生活相談 ・消費者啓発 ・市民相談(法律、税務、登記、公証、手続相談) ・連携中枢都市圏事業による広域連携 ・家庭用品品質表示法、消費生活用製品安全法、電気用品安全法に基づく販売事業者に対する立入検査 ・第二次長野市消費者施策推進計画に基づく施策推進計画年：令和４年度～令和８年度

分野5 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」（教育・文化分野）

政策1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

- 施策1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実 施策番号28
- 施策2 子どもに応じた支援の充実 施策番号29
- 施策3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上 施策番号30

政策2 豊かな人生を送るための学習機会の提供

- 施策1 生涯学習環境の充実 施策番号31
- 施策2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進 施策番号32

政策3 魅力あふれる文化の創造と継承

- 施策1 多彩な文化芸術の創造と活動支援 施策番号33
- 施策2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進 施策番号34

政策4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

- 施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進 施策番号35
- 施策2 スポーツを通じた交流拡大の推進 施策番号36

政策5 国際交流・多文化共生の推進

- 施策1 国際交流活動の推進 施策番号37
- 施策2 多文化共生の推進 施策番号38

分野５　豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」

政策１　未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

施策番号28

施策５－１－１　乳幼児期から高等教育までの教育の充実　（R7年度事業費　9,270,894 千円）

【目指す状態】

子どもが社会でたくましく生きていくために、主体的に探究したり、協働的に学んだりしながら、知・徳・体を一体的に身に付け、人間性豊かに成長している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
			〇			〇										〇

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	知（学力）・徳（豊かな心）・体（体力）を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている	%	43.2	41.6	39.2	—	—	—	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	—	—	—	—	—	—	—	—

統計指標	内容	単位	基準値（R元）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
全国学力・学習状況調査における国語、算数、数学の平均正答率	・小学校６年生（国語、算数） ・中学校３年生（国語、数学） の平均正答率（全国を100 とした指数）	全国比	小学生 国語103.4 算数100.6 中学生 国語101.6 数学100.3	小学生 国語 102.1 算数 98.1 中学生 国語 100.0 数学 99.2	小学生 国語 99.7 算数 99.2 中学生 国語 98.8 数学 98.0	—	—	—	小学生 国語103.4 算数100.6 中学生 国語101.6 数学100.3
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均値を上回った種目数	・小学校５年生（８種目） ・中学校２年生（９種目） について、全国平均値を上回った種目数	種目	小学生 男子６ 女子５ 中学生 男子６ 女子４	小学生 男子５ 女子５ 中学生 男子６ 女子５	小学生 男子５ 女子３ 中学生 男子７ 女子６	—	—	—	小学生 男子６ 女子５ 中学生 男子６ 女子４
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童生徒質問紙	・運動やスポーツをすることが好きと答える児童生徒（小学校５年生、中学校２年生）の全国比 ・授業以外の１週間の運動時間が60 分以上の児童生徒（小学校５年生、中学校２年生）の全国比	全国比	運動好き 小学生 男子100.3 女子95.6 中学生 男子96.8 女子90.7 運動時間 小学生 男子102.3 女子101.4 中学生 男子102.2 女子97.2	運動好き 小学生 男子 101.2 女子103 中学生 男子 100.2 女子98 運動時間 小学生 男子99.1 女子94.3 中学生 男子98.3 女子96.1	運動好き 小学生 男子102 女子102 中学生 男子 100.2 女子99 運動時間 小学生 男子 101.3 女子97 中学生 男子97 女子93	—	—	—	運動好き 小学生 男子100.3 女子100 中学生 男子100 女子100 運動時間 小学生 男子102.3 女子101.4 中学生 男子102.2 女子100

【施策番号28　施策5－1－1 主要事業】

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 アントレプレナーシップ 教育支援事業 〔　学校教育課　〕	170万円 (0円) 170万円	学校、地域、企業との連携により、生徒が自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探究したりすることで、生徒自身のチャレンジ精神や探究心、コミュニケーション力、粘り強さ等、起業家精神や非認知能力の育成を図る。そのため、市立中学校２校の総合的な学習の時間等において、「クエストエデュケーションを活用した探究学習プログラム」を試行的に導入し、学校教育目標に沿った探究学習を支援する 【分野横断「ひと」-ク】
【新規】 採点支援システム導入事業 〔　学校教育課　〕	504万9千円 (0円) 504万9千円	市立中学校に採点支援システムを導入し、教師の採点業務にかかる時間を削減することで、学校における働き方改革を推進する。 また、採点支援システムでは問題ごとの正答率が自動で算出されるため、分析結果から教師はより的確に授業改善を図り、生徒は自らの学びを振り返ることで課題が明らかになり、学力の向上につなげることができる。 【分野横断「まち」-カ】
【新規】 学校給食費公会計化と 学校徴収金一括徴収システム 導入事業 〔　保健給食課　〕	5,478万円 (0円) 5,478万円	保護者の利便性の向上と、学校給食費の管理における透明性を確保するため、学校給食費の公会計化と、学校徴収金の市による一括徴収に向けたシステムを構築・導入する。 ・令和７年度 　システム構築・導入 ・令和８年度 　システム稼働により、学校給食費、学校徴収金の一括徴収開始 【分野横断「ひと」-ク】
【拡大】 学齢簿システム構築事業 （システム導入） 〔　学校教育課　〕	1,591万9千円 (204万6千円) 1,387万3千円	国による地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化の推進により、令和７年度までに国の作成する基準（仕様書）に適合するシステムを導入する必要があることから、システムの導入と、それに伴う運用の変更を行う。 【分野横断「ひと」-ク】

【施策番号28　施策5－1－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
【拡大】 学校給食提供安定化事業 （公費負担額の拡大） 〔　保健給食課　〕	2億9,388万6千円 【当初・９月補正】 (1億7,620万4千円) 1億1,768万2千円	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校給食食材費の物価上昇分を公費負担することで、保護者負担額は変えずに、栄養バランスや質・量を保った学校給食を安定的に提供する。 【分野横断「ひと」-ク】
学校の環境・機能の充実 〔　総務課　〕	7億7万7千円 【令和５年度補正予算繰越】 6億2,128万2千円 7,879万5千円	快適な学校生活を早期に実現するため、学校環境整備に積極的に対応する。 ・学校体育館空調整備 ・小中学校トイレ洋式化 （令和６年度３月補正） ・小中学校理科室空調整備 （令和６年度３月補正） 【分野横断「ひと」-ク】
小中学校長寿命化改修事業 〔　総務課　〕	30億2,891万7千円 【債務負担行為】 令和８年度 11億9,086万3千円 (34億6,931万6千円) △4億4,039万9千円	学校施設の長寿命化・耐久性の向上を図ることにより、維持管理費用の抑制、多様化する学習内容に対応した教育環境の整備、バリアフリー化・省エネ化を促進する。 ・長寿命化改修工事　４校 ・予防保全改修工事　４校 ・長寿命化改修に向けた耐力度調査　１校 ・実施設計委託　１校 ・バスケットゴール改修　１校 【分野横断「ひと」-ク】　【長寿命化】
基礎的な体力育成事業 〔　学校教育課　〕	5,669万4千円 (4,536万1千円) 1,133万3千円	教職員の働き方改革を進めるとともに、「部活動の地域移行」に資する取組を推進するため、部活動指導員を確保・配置する。また、校外屋内プールで専門的な指導を受けられる「新しい水泳学習」実施校を拡大する。 ・部活動指導員 令和６年度　32人→令和７年度　36人 ・新しい水泳学習実施校 令和６年度　16校→令和７年度　19校 【分野横断「ひと」-ク】

【施策番号28　施策5－1－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
第二学校給食センター改修事業 〔　保健給食課　〕	1億4,127万3千円 (774万9千円) 1億3,352万4千円	供用開始から20年以上が経過している第二学校給食センターの施設、機械設備を計画的に改修、更新する。 ・食器洗浄機器更新工事 【分野横断「ひと」-ク】　【長寿命化】

施策番号29

施策5－1－2　子どもに応じた支援の充実　（R7年度事業費　1,010,348 千円）

【目指す状態】

不登校やいじめに悩む子ども、様々な特性のある子ども、社会的援助を必要とする子どもなど、子どもに応じた適切な支援の下、関係機関等と連携し、一人ひとりに合わせて安心安全に学習に取り組んでいる。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
○			○		○	○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	%	42.7	43.7	40.4	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
新規不登校児童生徒の在籍率	児童生徒のうち、新たに不登校となった児童生徒の割合	%	小学校 0.61 中学校 1.89	小学校 1.02 中学校 2.87	小学校 1.89 中学校 3.72	－	－	－	前年度の数値以下

【施策番号29　施策5－1－2　主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 不登校児童生徒アウトリーチ支援事業 学校教育課	8,980万円 （0円） 8,980万円	不登校により長期にわたり欠席して自宅にいることが多い児童生徒に対して家庭訪問等を行い、その子の状況に合った学びや必要な支援につなげていく体制を整える。 事業を統括するアウトリーチコーディネーターの下、学校等に活動拠点を持つスタッフを配置し、担当地域を定めた訪問型のアウトリーチ支援を行う。 【分野横断「まち」-ウ】

施策番号30

施策5－1－3　家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上　（R7年度事業費　57,502 千円）

【目指す状態】

家庭・地域・学校が相互連携により教育力を向上し、子どもの学びや育ちを支えている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
			○			○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	%	51.0	51.9	49.6	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	地域の子どもにあいさつや声かけをしている	%	62.3	60.9	63.2	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R元）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
地域をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果（全国を100とした指数）	全国比	小学生 105.1 中学生 107.9	小学生 110.5 中学生 107.4	小学生 105.7 中学生 104.7	－	－	－	小学生 101.2 中学生 100.4
住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果（全国を100とした指数）	全国比	小学生 128.1 中学生 120.0	小学生 147.4 中学生 122.8	小学生 141.3 中学生 112.4	－	－	－	小学生 131.0 中学生 117.3

【施策番号30　施策5－1－3 主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
青少年対策事業 〔　家庭・地域学びの課　〕	1140万7千円 （887万円） 253万7千円	青少年の健全育成に携わる人材育成と青少年自らが体験活動を通して、成長するための場を提供する事業。

【施策番号30　施策5－1－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
青少年団体育成補助金 〔　家庭・地域学びの課　〕	300万円 （300万円） 0円	青少年健全育成を目的にしている市内団体に対し、事業活動の補助金を交付することにより、健全育成を推進する。

分野5　豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」

政策2　豊かな人生を送るための学習機会の提供

施策番号31

施策5－2－1　生涯学習環境の充実　（R7年度事業費　1,572,304 千円）

【目指す状態】

ライフステージに応じた学習情報や学びの機会が提供され、多くの市民が学びを実践している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
			○			○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	公民館などで、学びの機会が提供されている	%	43.6	43.1	41.4	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	公民館などで提供されている学びの場に参加している	%	22.0	20.5	21.7	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
若い世代を中心に構成される団体が市立公民館・市交流センターを利用した割合	市立公民館・市交流センターを利用する全団体のうち、20歳代～40 歳代中心で構成されている団体が市立公民館・市交流センターを利用した割合	%	7.8	8.9	8.2	－	－	－	11.0

【施策番号31　施策5－2－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
芋井総合市民センター建設事業 〔　家庭・地域学びの課　〕	5億6,873万6千円 （6,883万5千円） 4億9,990万1千円	耐震化が必要な芋井支所について、公民館と機能を集約し、複合施設として整備する。 ・事業期間　令和元年度～令和８年度 ・総事業費　約11億円 ・事業内容　Ｓ造　地上２階　面積約860㎡ ・令和７年度事業内容 　本体工事、監理委託、初度調弁　ほか 【分野横断「ひと」-ク】　【長寿命化】

【施策番号31　施策5－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
公民館管理運営事業 施策番号32　関連 〔　家庭・地域学びの課　〕	4億8,710万4千円 (4億4,809万6千円) 3,900万8千円	市立公民館23館（うち指定管理館７館）、市交流センター６館（うち指定管理館２館（１館休館））の管理運営に要する経費
生涯学習センター管理運営事業 施策番号32　関連 〔　家庭・地域学びの課　〕	6,424万4千円 (5,860万2千円) 564万2千円	学習機会・生涯学習情報の提供、学習相談の実施、学習活動・成果発表の場を提供する。

施策番号32

施策5－2－2　学習成果を活かした地域づくりへの参加促進　（R7年度事業費　　　　　　　）

【目指す状態】

あらゆる世代の人が市立公民館や市交流センターなどで地域を学び、地域づくりに活かしている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	%	43.8	43.1	43.1	—	—	—	↗
回答者自身の実践状況	公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	%	13.1	11.5	12.1	—	—	—	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
市立公民館・市交流センターの「地域の学び」講座実施回数	市立公民館・市交流センターの「地域の学び」講座実施回数	回	113	85	152	—	—	—	145

【他施策の関連する主要事業】

施策番号31

公民館管理運営事業	〔　家庭・地域学びの課　〕	（4億8,710万4千円）
生涯学習センター管理運営事業	〔　家庭・地域学びの課　〕	（6,424万4千円）

分野5　豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」

政策3　魅力あふれる文化の創造と継承

施策番号33

施策5－3－1　多彩な文化芸術の創造と活動支援　（R7年度事業費　526,252 千円）

【目指す状態】
子ども、高齢者、障害者など、あらゆる人々が日常から気軽に文化芸術に触れ、常に活発な文化芸術活動が行われている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
			○			○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	%	39.5	41.6	41.9	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	%	31.7	36.1	41.7	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
市有ホール施設の利用者数	長野市芸術館、東部文化ホール、松代文化ホル、勤労者女性会館しなのき、若里市民文化ホールの利用	人	149,200	322,351	356,562	－	－	－	458,000

【施策番号33　施策5－3－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額（前年度予算額）対前年度増減額	事　業　内　容
長野市芸術館管理運営事業 〔　文化芸術課　〕	4億5,478万8千円 （4億6,474万7千円） △995万9千円	文化芸術の拠点として、指定管理者である長野市文化芸術振興財団とともに、市民が国内外の優れた文化芸術に触れる機会の充実や文化芸術活動が活発に行える環境の整備を図る。 【分野横断「ひと」－カ】

【施策番号33　施策5－3－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
松代・東部文化ホール管理運営事業 〔　文化芸術課　〕	4,525万6千円 （5,374万7千円） △849万1千円	指定管理者による松代文化ホール及び東部文化ホールの適切な管理運営を行い、文化芸術に関する活動及び交流の場として、文化芸術活動を総合的に支援する。 【分野横断「ひと」-カ】
街角に芸術と音楽がある まちづくり事業 〔　文化芸術課　〕	867万8千円 （811万1千円） 56万7千円	市民による文化芸術の発表機会を設け、街角に芸術と音楽があるまちづくりを進める。 ・表参道芸術音楽祭 開催日　令和７年４月26・27日（土・日） ５月３日～５日 （土・祝～月・祝） 場　所　TOiGO広場 セントラルスクゥエア 内　容　市民による文化芸術の発表 ・街角アート＆ミュージック 開催日　令和７年６月～11月　全８日 場　所　長野駅前広場、城山公園ほか 内　容　市民による文化芸術の発表 ・街角アート展 開催日　令和７年10月（７日間） 場　所　北野カルチュラルセンター 内　容　立体・彫刻等の作品展示 【分野横断「ひと」-カ】
子どものための 文化芸術プログラム事業 〔　文化芸術課　〕	433万3千円 【当初・６月補正】 （594万6千円） △161万3千円	子どもたちの豊かな心と感性を育むとともに、様々な体験を通じて多くのことを学び、本市の文化芸術活動の担い手となってもらうためのプログラムを実施する。 ・劇団四季による「ミュージカル鑑賞会」 開催日　令和７年11月12・13日（水・木） 対　象　小学６年生 場　所　長野市芸術館 ・ながの高校生バンドコンテスト 開催日　令和７年８月11日（月・祝） 場　所　長野市芸術館 【分野横断「ひと」-カ】
野外彫刻ながのミュージアム事業 〔　文化芸術課　〕	177万1千円 （213万8千円） △36万7千円	市民が日常生活の中で芸術性の高い彫刻に接する機会を提供し、文化の薫り高いまちづくりを推進する。 ・野外彫刻めぐりの実施 開催日　令和７年６月～11月　全６日 ・作品の維持管理、情報発信 【分野横断「ひと」-カ】

施策番号34

施策５－３－２　文化の継承による魅力ある地域づくりの推進　（R7年度事業費　1,080,963 千円）

【目指す状態】

有形・無形の歴史文化遺産が適切に保存・継承・活用され、魅力ある地域づくりにつながっている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○								○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	%	52.2	54.4	51.6	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	地域の伝統的な行事に参加している	%	31.1	28.9	34.4	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
文化財保護活動参加者数	指定文化財の保護に当たっている市民団体の構成員で活動に参加した人数	人	5,255	2,614	2,246	－	－	－	6,400

【施策番号34　施策５－３－２ 主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
公文書館管理運営 〔　文書情報管理課　〕	3,944万5千円 （3,272万6千円） 671万9千円	歴史資料として重要な公文書その他の記録を保存し、市民の利用に供するとともに、歴史資料に関する調査研究を行い、後世に継承する。 ・保存期間を経過した公文書等の選別、収集、整理、保存 ・「市誌研究ながの」の発行 【分野横断「まち」-オ】
伝統芸能継承事業 〔　文化芸術課　〕	1,210万2千円 （1,143万円） 67万2千円	次世代への伝統芸能の継承と世代や地域を越えた交流により、地域への愛着を深め、ふるさと回帰を図る。 ・第９回ながの獅子舞フェスティバル 開催日　令和７年５月３日（土・祝） 場　所　善光寺表参道、長野駅前広場 内　容　獅子舞披露、獅子頭工作体験ほか ・第７回伝統芸能こどもフェスティバル 開催日　令和７年10月25・26日（土・日） 場　所　長野市芸術館 内　容　日本舞踊・筝・三味線等の舞台発表、生け花・和装等の体験 伝統芸能訪問公演の実施 【分野横断「ひと」-カ】

【施策番号34　施策5－3－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
松代城跡保存整備事業 〔　文化財課　〕	1億7,100万2千円 (9,308万3千円) 7,791万9千円	史跡松代城跡において調査を基に遺構復元するとともに、生涯学習や観光拠点としての環境整備を行う。 ・事業期間　平成27年度～令和９年度 ・総事業費　約19億円 ・令和７年度事業内容 　外周園路整備工事 　二の丸遺構保存整備工事 　石垣測量調査　ほか 【分野横断「ひと」-エ】
文化財保護整備事業 〔　文化財課　〕	1億1,819万6千円 (2億929万7千円) △9,110万1千円	市が所有または管理する文化財について、維持管理・施設整備を実施し、適切な保存を図るとともに、一般公開して活用を図る。 ・令和７年度事業内容 　市指定文化財旧作新学校本館保存修理 　県史跡牧之島城跡三の丸木橋設置工事 　その他市所有文化財修理、整備　ほか 【分野横断「ひと」-エ】
重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業 〔　文化財課　〕	7,598万1千円 (1億2,263万円) △4,664万9千円	戸隠重要伝統的建造物群保存地区の保存のため、所有者が実施する修理･修景事業に対して補助金を交付する。また、保存地区の案内板設置や防災力向上のため防災対策事業を実施する。 ・事業期間　平成29年度～ ・令和７年度事業内容 　修理事業４件に対する補助金交付 　伝建地区案内説明板設置工事 　防災ワークショップ実施　ほか 【分野横断「ひと」-エ】
大室古墳群保存整備事業 〔　文化財課　〕	1,815万2千円 (2,127万7千円) △312万5千円	史跡大室古墳群の保存整備を図ると共に、大型バスが通行可能なアクセス道路を整備し、広く公開・活用を目指す。 ・事業期間 　史跡整備（第２期）平成24年度～ 　アクセス道路整備　令和４年度～ ・令和７年度事業内容 　古墳１基の保存整備工事 　アクセス道路軟弱地盤詳細解析 　アクセス道路用地幅杭測量 【分野横断「ひと」-エ】

【施策番号34　施策５－３－２ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
松代藩文化施設特別企画展事業 〔　文化財課　〕	590万4千円 （522万1千円） 68万3千円	「特別展　真田邸下張り文書の世界（仮）」と題し、真田邸の襖や壁紙の内側に使われていた反故紙（下張り文書）をテーマとした特別展を開催する。 ・期間：令和７年12月17日（水）～ 　　　　令和８年４月13日（月） ・内容：特別展開催のほか、記念講演会、 　　　　ワークショップ、展示解説を実施 【分野横断「ひと」-エ】
博物館教室事業 〔　博物館　〕	59万8千円 （57万2千円） 2万6千円	博物館活動の普及事業として、見学会、体験教室等の講座、子ども体験のひろばなど年間を通して開催することで、地域文化を認識し、伝達継承する文化を構築する。 ・子ども体験のひろば 　毎週土曜日の午前中に開催 ・その他の講座 　随時開催 【分野横断「ひと」-ク】
博物館展示研究事業 〔　博物館　〕	1,531万6千円 （1,593万1千円） △61万5千円	生涯学習機関としての博物館活動を展開するため、考古、歴史、民俗、天文、地質の各分野の調査研究を行い、その成果として特別展、企画展などの展示事業を行う。 令和７年度事業内容 　春季企画展「見るカイあり！貝の魅力大集合」 　夏季特別展「太陽の魅力」（仮） 　秋季企画展「善光寺門前町のにぎわい」（仮） 【分野横断「ひと」-ク】
プラネタリウム管理運営事業 〔　博物館　〕	713万2千円 （709万2千円） 4万円	星と宇宙の夢を与え、実際の星空で星や星座を見つけられるための解説を行うとともに、親しみやすい番組を制作し、投影する。 ・土日祝日、学校の長期休暇中に投影 　季節ごとに内容を変え、日に３番組を投影 ・月に１回、天体望遠鏡を使い星空観察会を 　開催 【分野横断「ひと」-ク】

【施策番号34　施策5－3－2 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
信州新町美術館管理運営事業 〔　博物館　〕	299万5千円 (286万8千円) 12万7千円	信州新町美術館において、地域ゆかりの作家や美術作品の調査及び研究をし、その成果として特別展や企画展を実施する。 また、ギャラリートークを開催する。 ・令和７年度主な事業内容 特別展　「第41回信州書道秀作展」 特別展　「横井弘三没後60年展」（仮） 【分野横断「ひと」-ク】
信州新町化石博物館管理運営事業 〔　博物館　〕	52万8千円 (63万8千円) △11万円	信州新町化石博物館において、化石に関する調査及び研究をし、その成果として企画展を実施する。 また、化石関連のワークショップ等を開催する。 ・令和７年度主な事業内容 企画展「信州新町周辺のクジラ化石」 企画展「三葉虫がいた海」 企画展「長野県化石図鑑」 【分野横断「ひと」-ク】
戸隠地質化石博物館管理運営事業 〔　博物館　〕	767万6千円 (753万7千円) 13万9千円	戸隠地質化石博物館において、自然史に関する調査及び研究をし、その成果として企画展を実施する。 また、地層や動植物の観察会、ワークショップを開催する。 ・令和７年度主な事業内容 企画展「戸隠から世界へ」 ～トガクシソウ発見150年 シナノホタテ命名100年～ 【分野横断「ひと」-ク】

分野5　豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」

政策4　スポーツを軸としたまちづくりの推進

施策番号35

施策5－4－1　だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	（R7年度事業費　3,299,004 千円）

【目指す状態】
安全・安心で気軽にスポーツや運動に親しめる環境が整い、市民が自分に合ったスポーツや運動を楽しんでいる。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
		○			○	○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	%	53.5	53.7	48.6	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
スポーツ実施率	成人が週１回以上スポーツや運動を実施した割合	%	59.9	60.7	63.8	－	－	－	65.0

【施策番号35　施策5－4－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 南長野運動公園スタジアム照明LED化事業 〔　スポーツ課　〕	7億4,447万3千円 （0円） 7億4,447万3千円	オリンピックスタジアムとUスタジアムのナイター照明のLED化を図ることにより、温室効果ガス排出量の削減を目指すとともに、電気料金の節減にもつなげる。 【分野横断「ひと」－カ】
【新規】 社会体育館改修事業 〔　スポーツ課　〕	1億5,077万6千円 （0円） 1億5,077万6千円	設備が古く、施設の快適性、利便性が低下している社会体育館において、空調の整備、トイレ洋式化等、施設機能の向上を進める。 （整備予定箇所） ・小松原体育館（空調設置） ・三輪体育館（空調設置、トイレ洋式化） ・川中島体育館（空調設置） ・松代体育館（空調設置） ・豊野体育館（空調設置） 【分野横断「ひと」－カ】

【施策番号35 施策５－４－１ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 Ｕスタジアム排水設備改修事業 〔　スポーツ課　〕	7,021万円 【債務負担行為】 令和９年度まで ８億894万円 【12月補正】 （0円） 7,021万円	状態が著しく悪化したＵスタジアムのピッチの排水設備と土壌の更新に合わせて、芝の全面張替えを実施する。 ・令和７年度事業内容 芝の育成 【分野横断「ひと」-カ】
【新規】 予約システム及び スマートロックキー実証事業 〔　スポーツ課　〕	298万3千円 （371万円） ０円	学校施設開放を実施している中学校において、予約システム及びスマートロックキーを設置、運用し、部活動の地域移行に有効かどうか実証事業を行う。 （設置予定箇所）・東部中学校 ・東北中学校 ・若穂中学校 ・川中島中学校 ・更北中学校 【分野横断「ひと」-カ】
NAGANOスボーツフェスティバル・パラスポーツフェスティバル負担金 〔　スポーツ課　〕	371万円 （371万円） 0円	スポーツを通して市民が集い、生涯スポーツの動機づけとなるよう、また障害者のスポーツ参加への機会拡大と障害者スポーツの理解を促進するための大会やイベント等の開催に負担金を交付する。 ・NAGANOスポーツフェスティバル、 パラスポーツフェスティバル開催　ほか 【分野横断「まち」-ウ】
未来につなぐスポーツ教室 〔　スポーツ課　〕	751万2千円 （783万1千円） △31万9千円	オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進するとともに、子どもたちにスポーツ本来の楽しさを知ってもらうため、体験教室等を開催する。 ・オリンピック教室の開催強化 ・マルチスポーツプログラム体験教室 ・アスリートと楽しむスポーツ教室 【分野横断「まち」-ウ】

【施策番号35 施策5－4－1 主要事業】(つづき)

事業名	予算額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事業内容
スポーツ教室 〔 スポーツ課 〕	288万4千円 (318万4千円) △30万円	健康寿命の延伸、スポーツ実施率の向上を目指し、生涯スポーツの動機づけとして、スポーツイベントやスポーツ教室を開催する。 ・NAGANO体力・スポーツ教室 ・健康チェックキャラバン 【分野横断「まち」-ウ】
オリンピック施設大規模改修事業 〔 スポーツ課 〕	53億7,420万4千円 【債務負担行為】 令和８年度 3,340万円 (5億1,811万円) 48億5,609万4千円	建設から20年以上が経過し、補修や機器の交換が必要となってきているオリンピック施設の計画的な更新・改修を行い、長寿命化を図る。 ・南長野運動公園体育館・プール棟 （設計、工事監理、長寿命化改修工事） ・長野オリンピックスタジアム （設計、設計技術協力） ・ホワイトリング （設計、設計技術協力） ・ビッグハット （設計、設計技術協力、エレベーター更新工事） ・エムウェーブ （長寿命化改修工事、工事監理、可動スタンド修繕） 【分野横断「ひと」-カ】 【長寿命化】
社会体育館長寿命化改修事業 （長寿命化改修工事の実施） 〔 スポーツ課 〕	5億234万5千円 (1,470万円) 4億8,764万5千円	公共施設個別施設計画に基づき、社会体育館を長く使用し続けるための長寿命化改修工事を行う。 ・川合新田体育館（長寿命化改修工事、工事監理委託） ・信州新町体育館（長寿命化改修工事） ・豊野体育館（屋内消火栓設備設置工事） 【分野横断「ひと」-カ】 【長寿命化】
スポーツ協会負担金 〔 スポーツ課 〕	4,700万円 (3,703万9千円) 996万1千円	長野市スポーツ協会加盟団体が実施する、競技人口の拡大、競技の普及・振興、運営基盤強化、競技力の向上のための事業に対し、負担金を交付する。 【分野横断「ひと」-カ】

【施策番号35 施策5－4－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 〔　スポーツ課　〕	1,039万2千円 （1,028万1千円） 11万1千円	部活動の地域移行の受け皿となりうる「総合型地域スポーツクラブ」に負担金を交付し、運営基盤強化を促進するとともに、先進地を視察し、クラブの事業拡大を研究するため、負担金を交付する。 ・クラブ育成支援事業負担金 ・先進地視察 【分野横断「ひと」-カ】

施策番号36

施策5－4－2　スポーツを通じた交流拡大の推進

（R7年度事業費　　7,956,287 千円）

【目指す状態】

多くの市民が市内のスポーツ施設でスポーツを観戦するとともに、スポーツを通じた交流人口が拡大し、地域の活性化が進んでいる。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○						○				○

アンケート指標		単位	基準値(R3)	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値(R8)
環境・体制に関する評価	プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	％	36.1	40.4	44.3	―	―	―	⇗
回答者自身の実践状況	市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	％	16.8	16.1	20.7	―	―	―	⇗

統計指標	内容	単位	基準値(R2)	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値(R8)
地域密着型プロスポーツチームのホームゲーム入場者数	プロスポーツチームのホームゲームの入場者数	人	79,408	112,473	155,712	―	―	―	366,000

【施策番号36　施策5－4－2 主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 アイススポーツ振興に向けた取組 〔　スポーツ課　〕	2,000万円 (0円) 2,000万円	アイススポーツを「興行」、「普及」、「競技力」の３つの要素から捉え、大規模スポーツ施設そのものの価値とあわせて考察することで、将来を見据えたアイススポーツの振興に取組む。 また、オリンピック施設等の大規模スポーツ施設を有する本市の強みを生かし、大規模スポーツ大会の開催地としてのニーズ調査を行い、誘致に向けた取組を推進する。 【分野横断「ひと」-カ】
【拡大】 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 （建物建築工事、 既存施設改修工事外） 〔　国スポ ・全障スポ推進課　〕	75億677万8千円 (17億6,500万4千円) 57億4,177万4千円	令和10（2028）年に開催される第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会に向け、施設整備や競技会の準備等を行う。 ・令和７年度事業内容 長野運動公園総合体育館整備外事業 南長野運動公園フットボール場整備事業 長野運動公園周辺環境整備事業 国民スポーツ大会関連既存施設の改修 大会準備委員会への負担金支援 【分野横断「ひと」-カ】

【施策番号36　施策5－4－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
スポーツを軸としたまちづくり（スポーツ×観光）推進事業 〔　スポーツ課　〕	1,650万円 （1,650万円） ０円	本市が持つ大規模スポーツ施設をはじめとした充実したスポーツ環境と、強みである観光を掛け合わせ、スポーツ×観光により「スポーツを軸としたまちづくり」を推進することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指す。 【分野横断「ひと」–カ】
アリーナ高機能化による地域活性化事業負担金 （ホワイトリングの高機能化） 〔　スポーツ課　〕	3億円 （5億円） △2億円	信州ブレイブウォリアーズのホームアリーナであるホワイトリングの高機能会に対し、企業版ふるさと納税等市内外からの支援を活用し、Ｂプレミア参入に向けた施設整備を支援する。 ・ホワイトリングの高機能化 （スイートボックス・ラウンジの施工等） 【分野横断「ひと」–カ】
国際競技大会等負担金 〔　スポーツ課　〕	3,959万円 （5,309万円） △1,350万円	オリンピック施設等を活用し、誘致・開催する国際・全国大会の運営費等の一部を負担する。 ・長野マラソン大会 ・オリンピックデーラン長野大会 ・日中友好中学生卓球大会 ・全日本スピードスケート距離別選手権大会 ・冬季競技ジュニア選手育成プログラム ・アジアリーグアイスホッケー大会 【分野横断「ひと」–カ】
ホームタウンながの推進事業 〔　スポーツ課　〕	983万9千円 （1,014万6千円） △30万7千円	「ホームタウンNAGANOまちづくり連携推進ビジョン」を推進するため、業務委託の実施や負担金・補助金を交付する。 ・スポーツ交流事業業務委託 ・ホームタウンデー負担金 ・転入者ホームゲーム招待事業補助金 ・応援バス事業補助金 【分野横断「ひと」–カ】

分野5　豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」

政策5　国際交流・多文化共生の推進

施策番号37

施策5－5－1　国際交流活動の推進　（R7年度事業費　35,415 千円）

【目指す状態】

多くの市民が国際交流に関心を持ち、国際交流事業に参加し、活動に関わっている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
			○			○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	国際交流が盛んに行われている	%	12.3	14.2	17.4	―	―	―	↗
回答者自身の実践状況	国際交流イベントに参加している	%	3.2	3.0	4.1	―	―	―	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
国際交流事業件数	市の国際交流事業補助金を活用し、市民団体が主催した国際交流イベントや留学生との交流事業などの件数	件	2	5	8	―	―	―	13

【施策番号37　施策5－5－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
友好都市派遣受入事業 〔　観光振興課　〕	529万円 （546万5千円） △17万5千円	友好都市との友好親善を深めるとともに、国際化社会の進展に即応可能な人材を育成するため、友好都市への派遣・受入等交流事業を実施する。 ・友好都市（中国石家庄市）交流 　公式訪問団受入、中学生受入、 　研修生派遣・受入
国際交流推進事業補助金 〔　観光振興課　〕	200万円 （200万） 0円	市民自らによる国際交流の推進を図るため、「長野市国際交流基金」を活用し、市内の国際交流団体等が行う国際交流事業に対し、補助金を交付することにより、その活動を支援する。 ・補助率２分の１以内 ・補助限度額　50万円 ※国際交流基金活用事業

施策番号38

施策5－5－2　多文化共生の推進	（R7年度事業費　21,767 千円）

【目指す状態】

多様性を認め合い、互いを尊重している。また、文化や習慣などが異なる外国人にとっても、暮らしやすい環境が整っている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
○			○		○	○										○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	外国の文化や習慣を理解しようと努めている	％	29.4	31.0	30.4	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
国際交流コーナーの利用者数	国際交流コーナーで開催している日本語教室の受講者、母語相談やイベントなどで訪れた人数	人	5,582	6,663	8,517	－	－	－	9,800
ＳＮＳのフォロワー数	長野市国際交流フェイスブック等のＳＮＳをフォローしている人数	人	866	－	31	－	－	－	1,000

【施策番号38　施策5－5－2　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
多文化共生の推進 〔　観光振興課　〕	1,339万1千円 （1,231万円） 108万1千円	異なる文化や習慣等に対する理解を深め、共生意識を醸成するとともに、外国籍住民にとって暮らしやすい環境を整えるため、多文化共生に係る事業を実施する。 ・国際交流コーナーの管理運営 ・多言語による情報発信 ・外国籍住民に対する生活支援、相談業務 ・日本語教室の運営 【分野横断「まち」－エ】

分野6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」（産業・経済分野）

政策1 魅力を活かした観光の振興

- 施策1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進　施策番号39
- 施策2 インバウンドの推進　施策番号40
- 施策3 コンベンションの誘致推進　施策番号41

政策2 活力ある農林業の振興

- 施策1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進　施策番号42
- 施策2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進　施策番号43
- 施策3 森林の保全と資源の活用促進　施策番号44

政策3 特色を活かした商工業の振興

- 施策1 商工業の強化と環境整備の促進　施策番号45
- 施策2 地域の特性が光る商工業の推進　施策番号46
- 施策3 新たな活力につながる産業の創出　施策番号47

政策4 安定した就労の促進

- 施策1 就労の促進と多様な働き方の支援　施策番号48
- 施策2 勤労者福祉の推進　施策番号49

分野６　産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」

政策１　魅力を活かした観光の振興

施策番号39

施策６－１－１　豊富な観光資源等を活かした観光交流促進　（R7年度予算額　1,009,340 千円）

【目指す状態】

豊富な観光資源を活かし、観光客でにぎわい観光消費額が増加している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○						○			○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	長野市は、魅力的な観光都市である	%	64.0	70.9	65.4	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	知人や友人などに地域の魅力を伝えている	%	33.1	31.8	30.8	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
市内観光宿泊者数（年）	観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づく市内宿泊者数の推計	万人	103.1	258.5	192.7	－	－	－	160.1
観光消費額	一人当たりの観光消費額の推計	円	12,497	17,467	17,730	－	－	－	12,591
観光入込客数	市内の主な観光地（11箇所）への入込客数の総計	万人	448.5	1334.5	917.8	－	－	－	1,092

【施策番号39　施策６－１－１　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 やきもち家茅葺屋根葺替等リニューアル整備事業 〔　観光振興課　〕	1億374万8千円 （0円） 1億374万8千円	築130年を超える古民家宿泊施設「やきもち家」のリニューアル整備事業を計画的に行う。 老朽化した茅葺屋根を葺き替えるとともに、施設全体を趣のある贅沢な空間にリニューアルすることにより、更なる誘客を図る。 ・令和７年度事業内容 茅葺屋根の葺替工事 施設全体の一体的な整備計画策定 【分野横断「ひと」-エ】

【施策番号39　施策6－1－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 長野駅デジタルサイネージ更新事業 〔　観光振興課　〕	2,500万円 （0円） 2,500万円	長野駅新幹線改札前に設置している大型サイネージの更新を行う。 本市をはじめとする周辺自治体の行政情報や観光情報に加え、新たにバス乗り場や時刻表等の情報を多言語発信するなど、本市の玄関口としての利便性向上を図る。 【分野横断「ひと」-エ】
観光まつり補助金 〔　観光振興課　〕	3,972万円 （3,987万円） △15万円	観光資源として活用できるまつり等に対し補助金を交付することで、誘客を図り地域経済の活性化につなげる。 ・長野えびす講煙火大会 ・長野びんずる ・ながの祇園祭 ・真田十万石まつり　　ほか 【分野横断「ひと」-エ】
鬼無里大岡観光施設事業 特別会計繰出金 〔　観光振興課　〕	4,914万7千円 （4,944万7千円） △30万円	鬼無里・大岡地区の観光施設の環境を整え、市民・観光客等に健全な野外活動と保健休養の場を提供するとともに、地域の活性化を図る。 ・鬼無里地区施設の管理運営 ・大岡地区施設の管理運営 【分野横断「ひと」-エ】
戸隠観光施設事業会計補助金 〔　観光振興課　〕	5,664万3千円 （5,688万4千円） △24万1千円	戸隠観光施設事業会計（企業会計）において、施設整備のために借入れた企業債の元利償還金に対し、交付要領に基づき補助金を交付する。 ・戸隠スキー場 ・戸隠キャンプ場　　ほか 【分野横断「ひと」-エ】

施策番号40

施策6－１－２ インバウンドの推進 （R7年度予算額 67,908 千円）

【目指す状態】

外国人観光客の誘客に向けた効果的な情報発信を行うとともに、充実した受入環境の下で外国人観光客が快適に滞在している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○						○			○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	長野市は、魅力的な観光都市である（再掲：施策番号39）	％	64.0	70.9	65.4	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている	％	33.0	33.7	36.5	－	－	－	↗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
市内外国人延宿泊者数（年）	長野県「外国人延宿泊者数調査」に基づく外国人の市内宿泊者数の推計	人泊	24,344	28,911	114,180	－	－	－	105,671

【施策番号40 施策6－１－２ 主要事業】

事 業 名	予 算 額（前年度予算額）対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 インバウンド推進事業 （観光コンテンツ造成・プロモーション等） 〔 観光振興課 〕	1,500万円 （0円） 1,500万円	物価高騰の影響を受ける事業者を支援するため、有識者のコーディネートによって新たな観光コンテンツの造成を行う。 ・インバウンド等に訴求する新たな観光コンテンツの造成 ・専門的な知見を持つ有識者等によるコーディネート ・個人旅行客（FIT）向けの効果的なプロモーション 【分野横断「ひと」-エ】
インバウンド推進事業 〔 観光振興課 〕	2,676万4千円 【当初・６月補正・９月補正】 （4,976万1千円） △2,299万7千円	白馬村・山ノ内町・松本市などの周辺自治体と協力し、外国人スキー客をターゲットとした、誘客プロモーションを実施する。県と連携し市町村や県境を越えた広域観光連携により、スノーリゾートへの海外誘客を強化する。 ・長野県観光機構等と共同でシドニーで開催される旅行博に出展し、市長によるトップセールスを実施 ・個人旅行客（FIT）に向け、SNSを活用した効果的な情報発信 ・周辺スキー場を利用する外国人旅行者の本市宿泊拠点化と、食をきっかけとした本市への周遊を促進 【分野横断「ひと」-オ】

【施策番号40　施策6－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
善光寺表参道イルミネーション負担金 〔　観光振興課　〕	2,614万4千円 （2,614万4千円） 0円	広域観光及びインバウンド誘客を促進するため、善光寺表参道イルミネーション実行委員会が実施する事業に対し負担金を交付する。 ・表参道（並木）のイルミネーション装飾 ・ワークショップの開催 ・関連イベントの開催　　ほか 【分野横断「ひと」-オ】

施策番号41

施策6－1－3　コンベンションの誘致推進　（R7年度予算額　5,677,804 千円）

【目指す状態】

多様なコンベンションが開催され、参加者でにぎわっている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○						○			○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている	%	34.4	43.6	44	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
コンベンションの参加者数	ながの観光コンベンションビューローが誘致・支援したコンベンションへの参加者数	人	10,220	65,279	77,468	－	－	－	120,000

【施策番号41　施策6－1－3　主要事業】

事　業　名	予　算　額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 ロケ誘致助成事業 〔　観光振興課　〕	1,000万円 (0円) 1,000万円	市内等で行われる映画やドラマ、ドキュメンタリーなどの撮影や制作に係る経費の一部を補助する制度を設ける。 大型作品を誘致することで、直接的な経済効果に加え、ファンによる聖地巡礼などの二次的効果による地域経済の活性化につなげる。 ・補助率２分の１　(上限額1,000万円) 【分野横断「ひと」-エ】
観光・コンベンション事業助成金 〔　観光振興課　〕	1億5,490万9千円 (1億5,412万7千円) 78万2千円	(公財)ながの観光コンベンションビューロー及び地域の観光協会が行うコンベンション誘致・支援事業及び観光振興事業等に対し補助金を交付する。 ・コンベンション事業補助金 ・観光振興事業補助金 ・地域観光協会補助金　　ほか 【分野横断「ひと」-オ】

【施策番号41　施策6－1－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
戸隠スキー場親子滑走支援事業補助金 〔　観光振興課　〕	200万円 （200万円） 0円	スキーを楽しむ機会の創出とスキー場利用を促進するため、市内小中学生のリフト利用料金を無料とする。 ・市内小中学生リフト１日券無料 ・期間　2・3月の土、日、祝日及び春休み 【分野横断「ひと」-オ】
エムウェーブ管理運営事業 〔　スポーツ課　〕	3億8,478万3千円 （3億7,621万5千円） 856万8千円	一般滑走できる長野市内唯一のアイスリンクとして、市民の利用、大会の開催等を通じてアイススポーツの普及につなげるとともに、スピードスケートのナショナルトレーニングセンターとして委託事業を行う。 ・指定管理者への管理運営委託事業 ・ナショナルトレーニングセンター委託事業 ・こども促進事業補助金 　　指定管理者：株式会社エムウェーブ 　　　　　　　　(R6.4.1～R11.3.31) 【分野横断「ひと」-カ】
ビッグハット管理運営事業 〔　スポーツ課　〕	1億4,250万7千円 （1億4,091万9千円） 158万8千円	若里多目的スポーツアリーナ、若里市民文化ホールにおいて、各種コンベンション・イベント及びアイススポーツの大会等の開催により、市内外からの施設利用を促し、経済波及効果による市の活性化を図るとともに、アイススポーツの普及を目指す。 ・指定管理者への管理運営委託事業 ・若里多目的広場の管理 　　指定管理者：株式会社エムウェーブ 　　　　　　　　(R4.4.1～R9.3.31) 【分野横断「ひと」-カ】

分野６　産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」

政策２　活力ある農林業の振興

施策番号42

施策６－２－１　多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進　（R7年度予算額　1,132,120 千円）

【目指す状態】

農地が有効に利用され、専業農家のほか多様な担い手が農業に取り組んでいる。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
	○					○						○	○	○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる	％	25.6	31.8	28.3	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	野菜や果物づくりなどを楽しんでいる	％	42.4	42.2	40.3	－	－	－	⇗

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
地域の中心経営体数	人・農地プランに掲載されている者の数	経営体	629	763	871	－	－	－	671
農地の利用権設定面積	農業委員会事務局農地情報公開システム登録面積	ha	752.7	862.9	904.4	－	－	－	992.7

【施策番号42　施策６－２－１ 主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 企業等農業参入支援事業 〔　農業政策課　〕	1,750万円 （0円） 1,750万円	地域計画や産業立地ビジョンと足並みを揃え、企業等による農業参入の促進等を図ることにより、農業の担い手の確保と就業の場を新たに創出し、100年後を見据えた持続可能で力強い農業生産を実現する。 ・市内で営農を始める企業等に対して、農地の賃借料、購入費や土壌改良費及び施設園芸設備等の導入に要する費用を補助 【分野横断「しごと」-ウ】

【施策番号42　施策６－２－１ 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 排水機場照明LED化事業 〔　農地整備課　〕	2,500万円 (0円) 2,500万円	脱炭素社会の実現に向け、道路、公園、排水機場の照明灯を省エネかつ長寿命のLED照明に改修することで、電力消費量を抑え、排出する二酸化炭素量の削減を図る。 ・道路照明：2,513灯 ・公園灯　：　487灯 ・排水機場：1,262灯(農地整備課分:505灯) 【分野横断「まち」-ア】
【拡大】 「農×食」体験ツアー事業 （農業体験と「食文化・くらし・地域文化」を併せて体験） 〔　農業政策課　〕	221万7千円 (64万6千円) 157万1千円	農業体験受入事業の参加者を支援するとともに、就農希望者が農業体験に加え地域の生活及び農業者・住民とのつながりを実感できる「農×食」体験ツアーを実施し参加費を助成する。 ・対象者　　①農業体験受入事業参加者 　　　　　　②「農×食」体験ツアー参加者（拡大） ・助成金額　２万円以内 【分野横断「しごと」-ウ】
【拡大】 農業研修センター管理運営事業 （果樹（りんご）コースの新設） 〔　農業政策課　〕	1,624万8千円 (1,160万1千円) 464万7千円	農業研修センターにおいて、新たな農業の担い手として、多様な人材（定年帰農者、農業に関心のある市民・企業等）を育成・支援する。 ・各種研修課程の運営、講座の開設 　担い手育成（果樹）コース（新設） 　担い手育成（野菜）コース 　野菜づくり初級コース 　野菜づくり中級コース 　企業育成コース　等 【分野横断「ひと」-ア】
【拡大】 農業機械化補助金 （要望受付から補助金交付までの期間短縮） 〔　農業政策課　〕	4,872万7千円 (2,843万7千円) 2,029万円	農作業の受委託の推進、地域リーダーの育成、農地の遊休荒廃化の防止を図るため、農業機械の導入に対して補助金を交付する。 ・個人及び共同利用農業機械化補助金 　主な補助率 　　個人：認定農業者 10分の５以内 　　　　　中山間地域 10分の３以内 　　共同：10分の３以内 【分野横断「しごと」-ウ】

【施策番号42　施策6－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
農業者育成事業 〔　農業政策課　〕	7,447万5千円 （7,330万円） 117万5千円	次世代を担う農業者の確保・育成を図る。 ・親元就農者支援事業（2,040万円） ・新規就農者育成総合対策事業（4,500万円） ・農業次世代人材投資事業（607万5千円） ・経営継承・発展支援事業補助金（100万円） ・サポート体制構築事業（200万円） 【分野横断「しごと」-ウ】
被災農業者支援事業（凍霜害） 〔　農業政策課　〕	67万1千円 （103万3千円） △36万2千円	令和３年及び令和５年に発生した凍霜害により被害を受けた農業者の経営安定を図るため、農業者へ融資を行う金融機関へ利子補給する。 ・令和３年凍霜害　　補給率0.7％ （うち県補給率0.35％） ・令和５年凍霜害　　補給率0.9％ （うち県補給率0.45％） 【分野横断「しごと」-ウ】
農地流動化助成金 〔　農業政策課　〕	528万5千円 （501万4千円） 27万1千円	農地の利用権設定を促進し担い手農家の農業経営の改善及び農業生産力の増進を図るため、農用地を賃借した人に対して助成金を交付する。 ・対 象 者　地域計画に位置付けられた者等 ・助成単価　３年以上６年未満　５千円/10a ６年以上10年未満　15千円/10a 10年以上　20千円/10a 【分野横断「まち」-エ】
長野市農業公社事業 〔　農業政策課　〕	1億2,733万円 （8,874万3千円） 3,858万7千円	農業公社において、農業支援事業、農地対策事業及びマーケティング開発事業を実施するため、運営補助金等を交付する。 ・運営補助金　1億2,433万円 ・正会員会費　300万円 【分野横断「まち」-エ】

【施策番号42　施策6－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
農業共済事業補助金 〔　農業政策課　〕	684万2千円 （804万4千円） △120万2千円	農業共済組合が実施する農作物共済について、農業者の負担を軽減するため補助金を交付する。 ・農業経営収入保険加入促進補助金 補助率 10分の５以内 （令和９年産までの新規加入者） ・農業共済事務費賦課金補助 補助率 10分の10以内 ・果樹共済掛金補助 補助率 10分の２以内 【分野横断「しごと」-ウ】
多面的機能支払交付金 〔　農業政策課　〕	4,610万3千円 （4,534万8千円） 75万5千円	農地の多面的機能を支える共同活動（農道の草刈・水路の泥上げなど）を支援するため、交付金を交付する。 ・対　象　者　活動組織 ・対 象 面 積　943ha ・主な交付単価 農地維持支払 田　10a当たり3,000円 畑　10a当たり2,000円 【分野横断「まち」-エ】
県営土地改良負担金 〔　農地整備課　〕	1億1,956万円 【当初・３月補正】 （1億5,481万1千円） △3,525万1千円	農業生産基盤を整備するため、県営事業により生産性の向上と経営の安定化を図る。 ・農地中間管理機構関連農地整備事業　1か所 ・農村地域防災減災事業　1か所 ・かんがい排水事業　2か所 ・畑地帯総合土地改良事業　1か所 ・湛水防除事業　1か所 ・ため池総合整備事業　2か所 【分野横断「まち」-イ】
市単土地改良事業 〔　農地整備課　〕	1億6,946万円 （1億4,720万3千円） 2,225万7千円	農業用施設の整備により、農業生産基盤や農業用水の安定的な確保と供給を図る、また、防災や環境保全機能の向上を見込む。 ・農道改良、舗装事業 ・水路改修事業　ほか 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号42　施策6－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
土地改良事業（県補助） 〔　農地整備課　〕	9,500万円 （2億3,404万円） △1億3,904万円	農業用施設の整備により、農業生産基盤や農業用水の安定的な確保と供給を図る、また、防災や環境保全機能の向上を見込む。 ・排水機場整備事業 ・灌漑施設整備事業 ・農業用ため池廃止事業 ・安全施設設置事業 【分野横断「まち」-イ】
土地改良農地防災事業 〔　農地整備課　〕	3,020万円 【当初・３月補正】 （6,240万円） △3,220万円	農地や農業用施設等の災害を未然に防止するため、ため池、用排水路等の防災事業を実施する。 ・南池応急対策事業 ・用水路安全柵設置事業 ・農業用ため池浚渫事業　ほか 【分野横断「まち」-ア】
排水機場整備事業 〔　農地整備課　〕	2,308万4千円 （2,867万9千円） △559万5千円	大雨や河川増水時の運転に備え、排水機場等の整備を行うことにより、湛水区域の農地及び農作物の被害を最小限に食い止める。 ・下堰２号堤外樋門更新事業 ・小森第一排水機場事業 ・電気関連施設改修事業 ・樋門塗装事業　ほか 【分野横断「まち」-ア】
農業基盤整備事業補助金 〔　農地整備課　〕	6,847万円 （4,553万5千円） 2,293万5千円	土地改良区及び共同施工体等が実施する土地改良施設の改良事業を支援する。 ・揚水ポンプ施設改修事業　　１地区 ・水路転落防止柵設置事業　　２地区 ・水門修繕事業　　１地区 ・揚水機場高圧設備改修事業　　１地区 ・水門改修事業　　１地区 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号42　施策6－2－1 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
農業委員会活動事業 〔　農業委員会事務局　〕	5,688万4千円 (5,305万8千円) 382万6千円	農地法等の関係法令に基づく、農地の売買・貸借、転用等の許可申請に係る可否の審議・決定及び意見の決定を行う。 農業等に関する調査・研究により、地域農業の振興を図る。 【分野横断「しごと」-エ】
農地利用最適化活動事業 〔　農業委員会事務局　〕	1,385万8千円 (1,351万9千円) 33万9千円	農地の利用状況等を調査するとともに、農地等の利用の最適化を推進する。 ・担い手への農地利用の集積・集約化 ・遊休農地の発生防止・解消 ・新規参入の促進 【分野横断「しごと」-エ】

施策番号43

施策6－2－2　地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進　（R7年度予算額　473,002 千円）

【目指す状態】

りんご、もも、ぶどうなどの高品質で安全・安心なおいしい農産物が生産され、高い評価を得ている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
	○					○						○	○		○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である	%	92.0	91.7	90.3	－	－	－	⇨
回答者自身の実践状況	地元産の農産物を意識的に買うように心がけている	%	84.0	80.4	78.8	－	－	－	⇨

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
果樹の新品種・新技術導入による栽培面積	りんご新わい化、ぶどう新品種の栽培面積推計値	ha	120.5	176.8	154.7	－	－	－	180.5
市の農業生産額	市内で生産される農作物の生産額推計値の令和３年度から５年間の累計	億円	192.6	191.9	395.1	－	－	－	1,020

【施策番号43　施策6－2－2 主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 ジビエ処理加工施設運営事業 （減容化施設導入事業） 〔　森林いのしか対策課　〕	3,110万円 （0円） 3,110万円	ジビエ加工センターにおいて発生する加工残渣について、産業廃棄物の処分費が年々増加していることから、減容化施設（専用乾燥処理装置）を導入し、残渣量を約30%に減容化することで残渣処分費を削減し、運営改善を図る。 ・減容化施設　１式 【分野横断「まち」-オ】

【施策番号43　施策6－2－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
スマート農業推進事業 〔　農業政策課　〕	1,367万円 （1,117万円） 250万円	IoT技術の活用などにより農業の課題解決を目指すとともに、スマート農業用機械の購入等を支援する。 ・圃場環境データとスマート農業技術を活用した実証実験 ・スマート農業用機械等購入支援事業 　補助率　10分の５以内 　補助上限　個人150万円 　　　　　　法人・団体200万円 【分野横断「しごと」-エ】
市民農園管理運営事業 〔　農業政策課　〕	560万7千円 （405万5千円） 155万2千円	市民が野菜作りを楽しむ憩いの場や、余暇利用の場の提供を通じて「食」への関心を高めるとともに、農業への理解を深める。 ・安庭市民農園 ・青池市民農園 ・松代東条市民農園 ・小森市民農園 ・戸隠体験市民農園 ・大岡中ノ在家クラインガルテン 【分野横断「ひと」-ア】
売れる農業推進事業 〔　農業政策課　〕	3,971万1千円 （2,704万3千円） 1,266万8千円	「長野市産果樹ブランド化戦略」に基づく事業展開により果樹産地としての認知度を広めるとともに、販路開拓及び消費拡大を図り、売れる農業の実現を目指す。 ・2025大阪・関西万博「地方創生SDGsフェス」への出展 ・市内外でのトップセールス ・物産展や販売イベント等の開催、商業施設や宿泊施設等とのタイアップ企画の実施 【分野横断「まち」-エ】
農福連携推進事業 〔　農業政策課　〕	317万円 （298万6千円） 18万4千円	農業分野の労働力不足と福祉分野の就労機会の確保など、双方の課題解決に向けて農福連携の取組みを推進する。 ・農作業依頼に対するマッチング支援 ・施設利用者及び職員向けの作業技術研修会開催 ・ノウフクJAS認証取得・更新の補助 【分野横断「しごと」-ウ】

【施策番号43　施策6－2－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
都市農村交流推進事業補助金 〔　農業政策課　〕	172万2千円 （172万2千円） 0円	中山間地域の活性化を図るため、中山間地域の農家等団体が行う都市部住民との交流活動に対して補助金を交付する。 ・小中学生農家民泊事業 補助率 事業費割　10分の５以内(上限５万円) 回 数 割　１回３万円(上限15万円) ・農業体験交流事業 補助率 事業費割　10分５の以内(上限10万円) 【分野横断「しごと」-ウ】
地産地消推進事業 〔　農業政策課　〕	180万1千円 （140万円） 40万1千円	地産地消の推進と充実により、市内産農産物の消費拡大を図るため、長野市地産地消推進協議会に対して補助金を交付する。 ・地産地消PR企画、協力店を巡るスタンプラリー等の開催 ・地産地消協力店と農業者とのマッチング ・SNS等を活用した情報発信 【分野横断「まち」-オ】
果樹振興補助金 〔　農業政策課　〕	1,446万9千円 （1,200万2千円） 246万7千円	本市の主力農産物である果樹の生産振興を図るため、農業者等の果樹栽培を支援する。 ・りんご新わい化推進 10分の５以内 上限50万円 ・ぶどう新品種推進 10分の５以内 上限50万円 （苗木購入補助10分の３～10分の６） ・振興果樹等苗木導入　10分の３以内 ・ワイン用ぶどう産地形成 10分の５以内 上限50万円 （中山間地域は150万円） 【分野横断「まち」-オ】
ヘーゼルナッツ振興事業 〔　農業政策課　〕	995万8千円 （1,522万円） △526万2千円	ヘーゼルナッツ営農苗木補助事業および栽培データ蓄積を進めるため、試験栽培事業を実施しヘーゼルナッツの産地形成を図る。 ・営農苗木補助事業　10分の５以内上限50万円 ・試験栽培事業 県やJA、関係機関との協力による栽培データ蓄積の実施 【分野横断「まち」-エ】

【施策番号43　施策6－2－2 主要事業】(つづき)

事業名	予算額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事業内容
そ菜特産振興補助金 〔　農業政策課　〕	447万1千円 (418万2千円) 28万9千円	野菜・花きの安定生産・高品質化を図るため、パイプハウス等の設置や花きの種苗の導入に対して補助金を交付する。 ・そ菜品質向上対策推進事業 　パイプハウス等の設置 　　補助率10分の３以内 ・花き産地開発種苗対策推進事業 　花き種苗の導入　補助率10分の３以内 【分野横断「まち」-オ】
地域奨励作物支援事業 〔　農業政策課　〕	4,883万7千円 (4,749万5千円) 134万2千円	農地の遊休荒廃化の防止及び地産地消の推進を図るため、小麦・大豆・そば・枝豆の栽培を奨励し、出荷量に応じ奨励金を交付する。 ・奨励金　平　地　中山間地域 　小麦　20円/kg　40円/kg 　大豆　110円/kg　220円/kg 　そば　70円/kg　140円/kg 　枝豆　50円/kg　100円/kg 【分野横断「まち」-オ】
中山間地域等直接支払制度 〔　農業政策課　〕	6,711万3千円 (6,746万6千円) △35万3千円	農業生産条件の不利な中山間地域の傾斜農地を対象として、農用地を維持・管理する協定を市と結んだ集落に対して交付金を交付する。 ・対象集落数　93集落 ・対象面積　402ha ・主な交付単価 　田(急)20分の１以上　10a当たり21,000円 　畑(急)15度以上　10a当たり11,500円 【分野横断「まち」-エ】
ジビエ振興事業 〔　森林いのしか対策課　〕	353万2千円 (380万円) △26万8千円	野生鳥獣による農業被害の軽減を図るとともに中山間地域の活性化につなげるため、ジビエ加工センターで加工した地域資源”ジビエ”の販売促進を図る。 ・ジビエ普及促進事業 ・ジビエを扱う職員の技術向上に向けた視察及び研修の実施 ・販路拡大のためアドバイザー委託契約 ・ジビエPRパンフレットの印刷　ほか 【分野横断「まち」-オ】

【施策番号43　施策6－2－2 主要事業】（つづき）

事業名	予算額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事業内容
ジビエ処理加工施設運営事業 〔 森林いのしか対策課 〕	3,588万6千円 （3,415万4千円） 173万2千円	捕獲されたニホンジカ等をジビエ加工センターで処理加工し、ジビエとして販売する。 ・ニホンジカ等の食肉処理加工及び販売 ・ジビエ加工センターの管理運営 ・移動式解体処理車（１台）及び小型軽保冷車（７台）の運行 【分野横断「まち」-オ】
野生鳥獣被害防除対策事業補助金 〔 森林いのしか対策課 〕	3,652万3千円 （2,094万6千円） 1,557万7千円	野生鳥獣による農作物等への被害を防除し、農家の生産意欲の向上につなげるため、長野市鳥獣被害防止計画に基づいて地区有害鳥獣対策協議会等が取り組む被害防止対策を支援する。 ・電気柵等防護施設設置補助 ・捕獲用檻・わなの購入補助 ・地区有害鳥獣対策協議会活動支援事業 ほか 【分野横断「まち」-エ】
野生鳥獣被害防除対策事業補助金（県補助） 〔 森林いのしか対策課 〕	5,816万3千円 （5,559万9千円） 256万4千円	野生鳥獣による農作物等への被害を防除し、農家の生産意欲の向上につなげるため、野生鳥獣対策及び有害鳥獣の捕獲を支援する。 ・有害鳥獣駆除、個体数調整補助金 ・侵入防止柵設置補助（国庫10/10以内） ほか 【分野横断「まち」-エ】

施策番号44

施策6－2－3　森林の保全と資源の活用促進　（R7年度予算額　345,992 千円）

【目指す状態】

森林が守り育てられ、森林資源が有効に活用されている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○		○			○	○	○	○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	森林が整備されている地域である	％	41.7	41.5	40.3	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
搬出間伐による木材生産量	県・市への木材生産補助申請実績	㎥	9,773	10,409	6,372	－	－	－	15,000

【施策番号44　施策6－2－3　主要事業】

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
林道大川線長寿命化事業 〔　森林いのしか対策課　〕	5,000万円 （5,000万円） 0円	林道大川線の橋梁等、施設の長寿命化と防災対策を進めるため、改良工事や補修、補強工事を実施する。 ・橋梁改良工事　　1橋 ・トンネル改良工事　1本 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号44　施策6－2－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
林道環境整備事業 （森林環境譲与税活用事業） 〔　森林いのしか対策課　〕	2,000万円 （2,000万円） 0円	林道等の、舗装化や側溝整備を進め、道路の保全と車両通行の安全を図るなど、林道環境を整備する。 ・林道大川線　舗装　　　L＝200m ・林道土倉線　側溝整備　L＝2,000m 【分野横断「まち」-ア】
森林経営管理事業 （森林環境譲与税活用事業） 〔　森林いのしか対策課　〕	9,248万1千円 （9,085万6千円） 162万5千円	長野市森林経営管理計画の基本方針である「森林整備の推進」と「林業従事者の確保・育成と先端技術の導入」を進めるための事業を実施する。 ・森林整備の推進 　森林整備補助金（植栽・下刈り・間伐・作業道開設等） ・林業従事者の確保・育成と先端技術の導入 　フォレストワーカー育成事業　ほか 【分野横断「まち」-オ】
森林とふれあい体験事業 （森林環境譲与税活用事業） 〔　森林いのしか対策課　〕	1,886万2千円 （1,825万1千円） 61万1千円	長野市森林経営管理計画の基本方針である「森林とのふれあいの促進」を進めるための事業を実施する。 ・森林体験事業（ブッシュクラフト・グリーンウッドワーク等）の開催 ・保育園等に木製品や絵本の配布 ・ながの森林・林業フェアの開催 ・みどりの少年団の活動補助　ほか 【分野横断「しごと」-ウ】
松くい虫被害木処理事業 （県補助） 〔　森林いのしか対策課　〕	1,600万5千円 （1,600万5千円） 0円	松林の健全な環境を維持するため、補助事業を活用して松くい虫被害木の処理を推進し、松くい虫被害のまん延防止を図る。 ・伐倒・くん蒸処理　438㎥ 【分野横断「まち」-オ】

【施策番号44　施策6－2－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
松くい虫被害木処理事業 （森林環境譲与税活用事業） 〔　森林いのしか対策課　〕	4,000万円 (2,701万円) 1,299万円	松林の健全な環境を維持するため、国の補助対象外の松林を対象に、森林環境譲与税を活用して松くい虫被害木の処理を推進し、松くい虫被害拡大を防止する。 ・伐倒・くん蒸処理　785㎥ ・伐倒処理　713本 【分野横断「まち」-オ】

分野６　産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」

政策３　特色を活かした商工業の振興

施策番号45

施策６－３－１　商工業の強化と環境整備の促進　（R7年度予算額　8,545,642 千円）

【目指す状態】

持続可能で足腰の強い商業活動や工業生産が展開され、地域外からの利益が取り込まれている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○						○	○			○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	市内に個性的で魅力的なお店が増えている	%	37.3	42.2	40.1	－	－	－	↗
	活力のある企業が多い地域である	%	30.1	29.9	28.9	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	地元のお店で買い物をするように心がけている	%	79.9	80.3	80.1	－	－	－	→

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
長野市１世帯あたりの市内での月間消費支出額	長野市１世帯当たりの月間消費支出額に長野市の地元滞留率を乗じて推計	円	132,759	125,594	144,380	－	－	－	160,000
製造品出荷額等（年）	経済センサスまたは工業統計調査による従業者４人以上の事業所の出荷額	億円	5,938	5,775	6,121	－	－	－	6,802

【施策番号45　施策６－３－１　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 団体向け商品券等発行支援事業補助金 〔　商工労働課　〕	3,900万円 （0円） 3,900万円	プレミアム付き商品券の発行など集客を促進し、消費を喚起する事業を行う商店街団体、商工団体等を支援する。 ・対象団体　商店街団体、商工団体、業界団体ほか ・補助対象経費　商品券のプレミアム分の費用、広報費、印刷費　ほか ・補助金額　最大120万円 【分野横断「ひと」－ウ】

【施策番号45　施策6－3－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 先端設備導入支援事業補助金 〔 商工労働課 〕	6,000万円 （0円） 6,000万円	中小企業者が労働生産性の向上に繋がる設備投資により事業の効率化、省力化を行うとともに、雇用する従業員への賃上げを行う取組を支援する。 ・対象者　長野市から令和７年４月１日以降に先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業者 ・対象経費　先端設備等導入計画で認定を受けた機械装置、工具、器具備品等の取得に係る経費 ・補助金額　上限300万円 【分野横断「しごと」-エ】
【新規】 地域総合整備資金貸付事業 〔 商工労働課 〕	23億円 （0円） 23億円	環境負荷の低減を図るとともに、脱炭素社会の構築・循環型社会を実現するため、地域総合整備資金貸付（ふるさと融資※）を活用し、民間事業者が行う高度な廃棄物処理施設整備事業を支援する。 ※地域振興に資する事業活動を行う民間事業者の設備投資に対して、地方公共団体が長期の無利子資金を融資する制度。 ・償還期間　10年 【分野横断「しごと」-エ】
【新規】 中小企業等価格転嫁支援事業 〔 商工労働課 〕	293万2千円 （0円） 293万2千円	商工団体等と連携し、事業者が行う価格転嫁や価格交渉に係る取組を支援する。 ・価格転嫁等対策セミナーの開催 ・価格転嫁等個別相談会の開催 【分野横断「しごと」-エ】
生産性向上支援事業 （デジタル人材育成・DX推進事業） 〔 商工労働課 〕	7,240万円 （7,342万2千円） 102万2千円	DX（デジタル・トランスフォーメーション）による市内企業の生産性向上をさらに広げるため、高等教育機関・金融機関及び商工団体等と連携し、専門人材の育成支援、DX推進支援、資金的支援を総合的に行う。 ・高等教育機関との連携による専門人材育成 ・金融機関、商工団体等との連携によるDX推進 ・資金的支援（補助事業・融資制度） 【分野横断「しごと」-エ】

施策番号46

施策6－3－2　地域の特性が光る商工業の推進　（R7年度予算額　52,336 千円）

【目指す状態】
　中心市街地、中山間地域などの地域ごとにある様々な特性を活かし、商工業に活気があり、まちがにぎわうとともに、本市の特長を活かした新製品・新技術が開発され、企業活動が活性化している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○						○	○		○	○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	市内に個性的で魅力的なお店が増えている（再掲：施策番号45）	%	37.3	42.2	40.1	－	－	－	↗
	活力のある企業が多い地域である（再掲：施策番号45）	%	30.1	29.9	28.9	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	地元のお店で買い物をするように心がけている（再掲：施策番号45）	%	79.9	80.3	80.1	－	－	－	→

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
長野市１世帯あたりの市内での月間消費支出額（再掲：施策番号45）	長野市１世帯当たりの月間消費支出額に長野市の地元滞留率を乗じて推計	円	132,759	125,594	144,380	－	－	－	160,000
製造品出荷額等（年）（再掲：施策番号45）	経済センサスまたは工業統計調査による従業者４人以上の事業所の出荷	億円	5,938	5,775	6,121	－	－	－	6,802

【施策番号46　施策6－3－2　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 市内産品販路拡大事業 （長野市の観光と物産展実行委員会負担金）（まるごと長野市in二子玉川ライズ） 〔　商工労働課　〕	1,500万円 （0円） 1,500万円	首都圏で市長のトップセールスを実施し、本市の特産品の魅力を発信して認知度を高めるため、観光、農林等と連携して、本市の魅力をPRする。また、事業者の販売力・営業力の向上を支援する。 ・まるごと長野市in二子玉川ライズ 　開催日　未定（土・日２日間の予定） 　場　所　二子玉川ライズガレリア 　内　容　事業者ブース出店（特産品、果樹等）、市PRイベント　ほか 【分野横断「しごと」-ウ】

施策番号47

施策6－3－3　新たな活力につながる産業の創出　（R7年度予算額　873,466 千円）

【目指す状態】

自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい産業の創造に向け、創造性豊かな人材や企業が集積し、オープンイノベーションや起業・創業などの動きが始まっている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○						○	○			○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている	％	40.0	31.0	27.8	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
大学等と共同で新技術・新製品開発件数	長野市ものづくり研究開発事業の選定を経て、大学等と共同開発を行う事業の延べ件数（H17年度からの累計）	件	45	51	56	－	－	－	62

【施策番号47　施策6－3－3 主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 インバウンド等対応店舗緊急支援事業補助金 〔　商工労働課　〕	3,000万円 （0円） 3,000万円	外国人観光客等の受入れ環境整備を行い、個店の魅力や顧客の満足を高める取組を実施する事業者を支援する。 ・事業期間　令和７年度～令和８年度 ・対象者　中小企業、個人事業主 ・対象エリア　中心市街地のほか、篠ノ井・松代地区の中心部 ・補助対象経費　客室の和洋室化、トイレの洋式化、多言語対応等 ・補助率　対象経費の２分の１以内 ・上限額　200万円 【分野横断「ひと」-オ】
【新規】 市内企業イノベーション創出プロジェクト事業 〔　イノベーション推進課　〕	825万7千円 （0円） 825万7千円	スタートアップ等が集まる首都圏のインキュベーション施設（SHIBUYA QWS（渋谷キューズ））を活用し、市内企業と首都圏企業との交流・連携を促進することで、市内企業の新規事業創出などの新たなチャレンジを後押しし、市内産業の活性化につなげる。 ・市内企業のイノベーション創出に向けた啓発セミナー ・市内企業と首都圏企業とのマッチング事業 【分野横断「しごと」-ア】

【施策番号47　施策6－3－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 新たな産業用地開発事業 〔　企業立地課　〕	2,090万円 （0円） 2,090万円	「長野市産業立地ビジョン」で掲げた目指す姿の実現に向け、企業の新規投資・事業拡張などの立地ニーズに応えるため、新たな産業用地開発に取り組む。 ・企業立地需要調査 ・農業政策との連携に係る調査・検討　　ほか 【分野横断「しごと」-イ】
【拡大】 企業誘致プロモーション事業 （展示会への出展、専用ＨＰ開設等によるＰＲ強化） 〔　企業立地課　〕	1,370万3千円 （296万7千円） 1,073万6千円	本市への企業立地の優位性や働く人にとっての魅力などを広く発信し、企業誘致につなげるためPRを強化する。 ・メディアによるプロモーション ・セミナー開催、展示会への出展 ・企業へのアンケート票送付、企業訪問 ・誘致専用ホームページの作成　　　ほか 【分野横断「しごと」-イ】
【拡大】 工場等立地対策補助金 （事業用地取得事業助成金の上限額引き上げ等） 〔　企業立地課　〕	3億8,999万9千円 【債務負担行為】 令和９年度まで 2億9,259万9千円 （2億4,892万円） 1億4,107万9千円	事業所等を新たに設置する事業者に対し助成金を交付する。 事業用地取得事業助成金の上限額及び対象企業を拡大し、支援の充実を図る。 【事業用地取得事業助成金】 ・上限額　：３億円に引き上げ ・対象企業：地域経済牽引事業計画に基づき事業所を設置する企業を追加 ※上記拡充に伴い投下固定資産額に係る要件を新設 【分野横断「しごと」-イ】
スタートアップ成長支援事業 〔　イノベーション推進課　〕	5,378万9千円 （5,383万円） △4万1千円	起業を目指す若者等が失敗を恐れず何度でもチャレンジでき、新たな事業が創造されるクリエイティブ・シティを目指し、起業家が次々に生まれるスタートアップ・エコシステムの構築を推進するため、起業意識醸成を図るとともに起業準備段階から起業間もない起業家を支援する。 ・起業家創出プログラム ・スタートアップ起業支援事業 ・スタートアップ支援補助金 【分野横断「しごと」-ア】

【施策番号47　施策6－3－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
高等教育機関スタートアップ創出事業 〔　イノベーション推進課　〕	1,000万円 （1,000万円） 0円	市内の大学生、大学院生及び高等専門学校生等を対象として、信州大学教育学部及び工学部並びに長野工業高等専門学校と連携し、起業家精神の育成及びビジネスモデル開発のスキル習得を目的としたプログラム（起業家育成教育）を実施する。 【分野横断「しごと」-ア】

分野６　産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」

政策４　安定した就労の促進

施策番号48

施策６－４－１　就労の促進と多様な働き方の支援　（R7年度予算額　91,689 千円）

【目指す状態】

企業の特長や求人に関する情報が容易に入手でき、働き方改革が推進されるなど多様な働き方が可能になることで、就労が促進されるとともに、様々な人が就労しやすい環境が整備されている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
			○	○	○	○						○				○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	仕事を見つけやすい環境が整っている	%	13.7	16.4	17.7	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
推計就業者数	課税資料のうち、給与支払報告書や確定申告書、市・県民税申告書を有する者の人数を「推計就業者数」として推計	人	207,648	206,701	207,222	－	－	－	210,000

【施策番号48　施策６－４－１　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
長野地域UJIターン就職促進事業 〔　商工労働課　〕	1,127万8千円 （1,132万円） △4万2千円	長野地域若者就職促進協議会（長野市を含む９市町村や商工会議所などで構成）の事務局として、長野地域へのUJIターン就職を促進する。 ・ナガノのシゴト博の開催 ・就職情報サイト「おしごとながの」の運営 【分野横断「ひと」-ウ】

施策番号49

施策6－4－2　勤労者福祉の推進　（R7年度予算額　644,170 千円）

【目指す状態】

中小企業の福利厚生や研修の機会が確保され、勤労者がいきいきと働いている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○						○				○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている	%	33.6	33.8	32.7	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
長野市勤労者共済会への加入者割合	市内の中小企業勤労者数に占める長野市勤労者共済会の会員数の割合（４月１日時点）	%	11.2	11.2	11.0	－	－	－	11.3

【施策番号49　施策6－4－2　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
勤労者活躍支援センター整備事業 商工労働課	5億5,081万円 【当初・９月補正】 (3億4,119万1千円) 2億961万9千円	勤労者福祉施設の再編事業実施に伴う施設整備を行う。 ・事業期間　令和４年度～令和７年度 ・総事業費　約10億５千万円 ・令和７年度事業内容 　北部勤労者活躍支援センター建設工事 　北部勤労者活躍支援センター什器類購入 　ほか 【分野横断「しごと」-ウ】　【長寿命化】

分野7 快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」（都市整備分野）

政策1 いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進

- 施策1 地域の特性に応じた都市機能の充実 施策番号50
- 施策2 暮らしを支える生活機能の維持 施策番号51
- 施策3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進 施策番号52
- 施策4 地域の特色を活かした景観の形成 施策番号53

政策2 拠点をつなぐネットワークの充実

- 施策1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 施策番号54
- 施策2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備 施策番号55

分野7　快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」

政策1　いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進

施策番号50

施策7－1－1　地域の特性に応じた都市機能の充実　（R7年度予算額　2,590,523 千円）

【目指す状態】

中心市街地や鉄道駅周辺など都市拠点となるべき地域における人口密度が維持され、市民生活へのサービスの提供可能な都市機能が集約し、居心地の良い空間が形成されている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○					○		○	○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
環境・体制に関する評価	中心市街地や鉄道駅（旧松代駅を含む）周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である	％	50.4	47.4	43.4	－	－	－	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値（R8）
人口密度	居住誘導区域の人口密度	人/ha	50.6	50.2	49.9	－	－	－	50.1
人口割合	居住誘導区域の人口割合	％	75.8	76.4	76.6	－	－	－	76.0

【施策番号50　施策7－1－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 公園灯LED化事業 〔　公園緑地課　〕	8千万円 （0円） 8千万円	脱炭素社会の実現に向け、道路、公園、排水機場の照明灯を省エネかつ長寿命のLED照明に改修することで、電力消費量を抑え、排出する二酸化炭素量の削減を図る。 ・道路照明：2,513灯 ・公園灯　：　487灯 ・排水機場：1,262灯 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号50　施策7－1－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
都市計画マスタープラン ・立地適正化計画改定事業 〔　都市計画課　〕	1,900万円 【債務負担行為】 令和８年度 1,600万円 (400万円) 1,500万円	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定を行う。 ・事業期間　令和７年度～令和８年度 ・事業内容　都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の改定 ・令和７年度事業内容 素案作成 市民アンケート　ほか 【分野横断「まち」-イ】
茶臼山動物園再整備事業 〔　公園緑地課　〕	8,240万円 (0円) 8,240万円	動物展示の魅力を向上させ、来園者増加による交流人口の増加を図るとともに動物の飼育環境を改善するため、動物園の再整備を行う。 ・事業期間　平成24年度～令和８年度 ・事業内容　動物園施設再整備 ・令和７年度事業内容 アムールトラ展示施設整備 屋外展示施設 外構舗装 【分野横断「ひと」-エ】
都市公園改修事業 〔　公園緑地課　〕	1,908万8千円 (626万8千円) 1,282万円	「長野市こども“のびのび”ビジョン」に掲げる「公園機能の充実」や魅力向上の具現化に向け、既存の都市公園に新たな遊び場を整備する。 ・事業期間　令和５年度～令和８年度 ・事業内容　既存都市公園の改修 ・令和７年度事業内容 公園施設魅力向上基本計画　ほか 【分野横断「ひと」-キ】
長野駅前Ｂ－１地区市街地再開発事業補助金 〔　まちづくり課　〕	10億672万円 (1億4,548万円) 8億6,124万円	長野駅前の末広町交差点の北東エリアにおいて、土地の有効活用や老朽建物の解消により地区の防災性向上を図るとともに、都市機能更新による商業・業務機能の拡充や、まちなか居住を推進する施設整備を行う市街地再開発事業を支援する。 ・主要用途　店舗、事務所、共同住宅、駐車場等 ・対象者　市街地再開発組合 ・補助率　３分の２（内負担率：国1/2・県3/20・市7/20） 【分野横断「まち」-イ】

施策番号51

施策7－1－2　暮らしを支える生活機能の維持　（R7年度予算額　48,770,046 千円）

【目指す状態】

市民の暮らしを支える都市基盤や日常生活に必要な機能が維持されている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○	○						○	○		○

アンケート指標		単位	基準値(R3)	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値(R8)
環境・体制に関する評価	日常生活に必要なインフラが整備されている	%	56.3	54.7	53.1	―	―	―	↗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	―	―	―	―	―	―	―	―

統計指標	内容	単位	基準値(R2)	後期基本計画の実績値 R4	R5	R6	R7	R8	目標値(R8)
上水道管路の耐震化率	上水道管路総延長に占める老朽管更新などにより耐震化された管路延長の割合	%	15.2	16.2	16.4	―	―	―	17.7

【施策番号51　施策7－1－2　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
情報通信施設老朽化対策事業 〔　情報システム課　〕	1億2,600万円 【債務負担行為】 令和８年度 3億1,855万4千円 （2,750万円） 9,850万円	戸隠、鬼無里、信州新町、中条地区の情報通信施設が老朽化し、災害や故障によるサービス停止のリスクが高まっているため、確実な情報伝達を目指して、施設を更新し、耐災害性強化を図る。 ・事業期間　令和元年度～令和８年度 ・総事業費　13億102万1千円 ・令和７年度事業内容 　戸隠・鬼無里地区ケーブル光化工事 　（既設ケーブル撤去・各戸引込工事） 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 道路等照明LED化事業 （再掲）施策番号23 〔　河川課　〕 〔　維持課　〕	4億3,000万円 （0円） 4億3,000万円	脱炭素社会の実現に向け、道路、公園、排水機場の照明灯を省エネかつ長寿命のLED照明に改修することで、電力消費量を抑え、排出する二酸化炭素量の削減を図る。 ・道路照明：2,513灯 ・公園灯　：　487灯 ・排水機場：1,262灯(河川課分:757灯) 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号51　施策7－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
令和元年東日本台風災害関連復興道路整備事業 〔　道路課　〕	1億4,353万円 (2,603万円) 1億1,750万円	令和元年東日本台風により被災した長沼地区において、防災拠点と国道18号を結ぶ幹線道路、小学校周辺の通学路及び長沼地区河川防災ステーションへのアクセス道路の災害に強い道路網を整備する。 ・事業期間　令和３年度～令和８年度 ・実施箇所　（仮称）長沼東西線 長沼135号線 長沼地区河川防災ステーションの周辺道路 ・令和７年度事業内容　工事、用地買収 【分野横断「まち」-ア】
道路新設改良事業 〔　道路課　〕 〔　維持課　〕	11億4,529万5千円 (10億5,283万円) 9,246万5千円	円滑な道路ネットワークの構築と安心して使い続けられる道路の整備を目的に、幹線道路及び生活道路の新設・改良事業等を実施する。 ・幹線道路の整備 市道古牧朝陽線改良　外５事業 ・生活道路の整備 市道秋古青池線改良　外12事業 ・側溝整備事業 ※若穂スマートインター整備事業 長沼地区河川防災ステーションの周辺道路整備を除く 【分野横断「まち」-イ】
市道舗装 〔　維持課　〕	7億8,039万円 【当初・３月補正】 (6億8,210万円) 9,829万円	長寿命化修繕計画に基づき、効率的かつ効果的に舗装の修繕を行い、道路利用者の通行の安全確保を図る。 ・舗装修繕に係る実施設計委託 ・交付金を活用した舗装修繕工事 ・市債を活用した舗装修繕工事 ・その他の舗装修繕工事 【分野横断「まち」-イ】
道路除雪 〔　維持課　〕	6億6,181万円 (7億953万3千円) △4,772万3千円	除雪事業により冬期の道路交通を確保し、市内の産業・経済の活動と民生の安定を図る。 ・車道と歩道の除雪 ・凍結防止剤の購入及び散布 ・除雪機等の購入及び管理 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号51　施策7－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
橋りょう安全点検管理 〔　維持課　〕	3億5,413万5千円 (2億3,600万円) 1億1,813万5千円	長寿命化修繕計画に基づき、橋りょう及び道路付属物の定期点検並びに損傷箇所の補修・補強工事を行い、通行の安全確保を図る。 ・橋りょう長寿命化修繕計画の策定 ・橋りょう及び道路付属物の定期点検 ・橋りょう及び道路付属物の修繕工事 【分野横断「まち」-イ】
大型草刈り機整備事業 〔　維持課　〕	3,479万3千円 (0円) 3,479万3千円	地域共同作業の担い手不足が進む中山間地域において、住民が担っている幹線市道の除草作業の負担軽減を図るため、大型草刈り機の増設により、市が実施している幹線市道の草刈範囲を拡大する。 【分野横断「まち」-イ】
狭あい道路整備事業 〔　建築指導課　〕	1億7,223万7千円 (1億3,712万9千円) 3,510万8千円	安全で良好な住環境の確保のため、建築基準法に基づく狭あい道路の後退用地の取得と拡幅整備を行う。 ・令和７年度事業内容 　道路後退用地の分筆測量　76件 　道路後退用地の取得　87件 　測量設計　８件 　整備工事　120件 【分野横断「まち」-イ】
老朽送配水管解消（耐震化）事業 ［水道事業会計］ 〔　水道整備課　〕 〔　浄水課　〕	23億2,475万3千円 【債務負担行為】 令和８年度 6億2,390万円 (19億6,205万7千円) 3億6,269万6千円	水の安定供給を図るため、老朽化した送配水管の更新を行う。あわせて、管路の耐震化を進め、災害に強い水道を整備する。 ・基幹管路更新　大字大豆島外７か所 ・配水支管等布設替　三輪二丁目外16か所 ・舗装復旧　三輪六丁目外16か所 ・詳細設計　ほか ※予算額には旧簡易水道分を含む 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号51　施策7－1－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
他事業関連配水管布設替等事業 ［水道事業会計］ 〔　水道整備課　〕 〔　水道維持課　〕 〔　浄水課　〕	6億3,997万5千円 （5億5,838万1千円） 8,159万4千円	他事業の実施に伴い支障となる配水管の布設替等を行う。 ・道路事業関連 ・雨水渠事業関連　ほか ※予算額には旧簡易水道分を含む 【分野横断「まち」-イ】
浄水場整備事業 ［水道事業会計］ 〔　浄水課　〕	6億3,135万1千円 【債務負担行為】 令和８年度 7億3,900万円 （9億2,084万5千円） △2億8,949万4千円	浄水場の施設整備及び更新を行い、災害に強い施設づくりや水質管理の徹底を図り、安全でおいしい水の安定供給体制を維持する。 ・犀川浄水場　　無停電電源装置更新工事 ・往生地浄水場　配水池耐震補強工事 ・蚊里田配水池　高区配水池更新工事 ・若槻ポンプ場築造工事　ほか 【分野横断「まち」-イ】
漏水調査事業 ［水道事業会計］ 〔　水道維持課　〕	1,887万6千円 （2,720万9千円） △833万3千円	漏水現地調査 ・事業期間　令和７年度 ・事業内容 衛星画像を用いた解析結果に基づく現地調査 ・S1,S5,S11,K1ブロック漏水調査業務委託 ・北部出張所管内漏水調査業務委託 ・西部出張所管内漏水調査業務委託
公共下水道整備事業 ［下水道事業会計］ 〔　下水道整備課　〕 〔　下水道施設課　〕	34億197万円 【債務負担行為】 令和８年度 25億130万円 （36億6,558万6千円） △2億6,361万6千円	主に中心市街地やその周辺地区の汚水管路及び雨水渠等の整備を行うほか、下水道管路施設の老朽化対策として西部処理分区の管更生工事等を行う。また、東部終末処理場の設備の更新工事を行う。 ・西部処理分区管渠改築工事 ・南部１号雨水幹線工事 ・北八幡雨水調整池改修工事 ・東部終末処理場改築更新工事 機械設備、電気設備更新　ほか 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号51　施策７－１－２ 主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
流域関連公共下水道整備事業 ［下水道事業会計］ 〔　下水道整備課　〕	12億7,529万円 【債務負担行為】 令和８年度 25億1,525万円 (14億2,626万7千円) 1億5,097万7千円	上流処理区では、道路整備等に伴う汚水管路整備及び西田川雨水ポンプ場の整備等を行う。下流処理区では、豊野城山・蟻ケ崎公共下水道統合関連の舗装復旧工事を行うほか、古牧・大豆島・豊野地区等の雨水渠の整備を行う。 ・川中島幹線関連下水道工事 ・西田川雨水ポンプ場建設工事 ・豊野城山・蟻ケ崎排水処理区舗装復旧工事 ・大豆島３号雨水幹線工事　ほか 【分野横断「まち」-イ】
特定環境保全公共下水道整備事業 ［下水道事業会計］ 〔　下水道整備課　〕 〔　下水道施設課　〕	7億1,898万円 【債務負担行為】 令和８年度 565万円 (3億5,815万4千円) 3億6,082万6千円	下流処理区（若穂・松代地区）では、道路整備等に伴う汚水管路整備を行う。また、豊岡浄化センターの設備の更新工事を行う。 ・国道403号関連下水道工事 ・豊岡浄化センター改築更新工事 　機械設備、電気設備更新　ほか 【分野横断「まち」-イ】
戸別浄化槽設置事業 〔　下水道整備課　〕	1,931万2千円 (3,165万2千円) △1,234万円	公共下水道事業及び農業集落排水事業の排水区域外の地域に合併処理浄化槽を設置して、し尿と生活雑排水を併せて処理する。 ・設置予定数　12基 【分野横断「まち」-イ】

施策番号52

施策7－1－3　多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進　（R7年度予算額　1,313,445 千円）

【目指す状態】

だれもが気軽にまちなかを移動でき、地域の魅力を活かした暮らしやすい住環境が整っている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
					○	○					○			○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる	%	31.4	30.4	30.6	－	－	－	⇗
回答者自身の実践状況	（設定なし）	－	－	－	－	－	－	－	－

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
道路施設における歩行空間の整備	①1.5m以上の歩道総延長 ②点字ブロックの総延長 ③歩車道の段差解消箇所数	①km ②km ③箇所	① 296.8 ② 89.8 ③ 391	① 297.7 ② 90.2 ③ 403	① 298.0 ② 90.9 ③ 404	－	－	－	① 303.0 ② 93.0 ③ 420

【施策番号52　施策7－1－3　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 長野市空家等実態調査業務委託 〔　建築指導課　〕	3,600万円 （0円） 3,600万円	令和８年度に予定している次期計画の策定に向け、現行の空家等対策の有効性の検証や新たな施策の検討を行うため、市内全域における空家等の現状や実態を把握する。 ・事業期間　令和７年４月～令和８年３月 　空家等実態調査　一式 【分野横断「まち」-ア】
令和元年東日本台風災害関連復興道路整備事業 （再掲）施策番号51 〔　道路課　〕	1億4,353万円 （2,603万円） 1億1,750万円	令和元年東日本台風により被災した長沼地区において、防災拠点と国道18号を結ぶ幹線道路、小学校周辺の通学路及び長沼地区河川防災ステーションへのアクセス道路の災害に強い道路網を整備する。 ・事業期間　令和３年度～令和８年度 ・実施箇所　（仮称）長沼東西線 　長沼135号線 　長沼地区河川防災ステーションの周辺道路 ・令和７年度事業内容　工事、用地買収 【分野横断「まち」-ア】

【施策番号52　施策7－1－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
歩道整備事業 〔　道路課　〕	1億6,706万円 （2億1,927万円） △5,221万円	通学路の合同点検の結果、児童の安全を確保するために、抜本的対策が必要とされた路線について歩道を整備する。 ・市道大豆島松岡線歩道設置　外５事業 （復興道路整備事業を除く） ・あんしん歩行空間事業 【分野横断「まち」-イ】
危険空家等対策事業 〔　建築指導課　〕	3,485万3千円 （3,536万2千円） △50万9千円	空家等による周辺地域への影響から住環境の保全を図るため、空き家所有者等の相談対応や指導、特定空き家の解体や空き家解体跡地の活用費用への補助金の交付、財産管理制度等活用した所有者不明管理不全空き家の解消などを行う。 ・事業期間　平成28年度～令和８年度 ・老朽危険空き家解体事業補助金 対象者　　特定空き家の所有者 補助率　　２分の１（上限100万円） 低所得者　５分の３（上限120万円） （内負担率：国1/2、市1/2） ・空き家解体跡地利活用事業補助金 対象者　　空き家の所有者 補助率　　２分の１（上限100万円） 【分野横断「まち」-ア】
アスベスト飛散防止対策事業補助金 〔　建築指導課　〕	130万4千円 （213万円） △82万6千円	アスベストによる健康被害を防止するため、吹付け建材のアスベスト含有調査に対し補助金を交付する。 ・事業年度　平成17年度～令和７年度 ・補 助 率 含有調査　10分の10（上限25万円） （内負担率：国10/10） 【分野横断「まち」-ア】
建築確認事務 〔　建築指導課　〕	1,334万2千円 （1,267万6千円） 66万6千円	安全で安心して生活できる良質な住環境の確保を図るため、建築関連法令に基づき、建築確認申請や許認可、認定事務等を行う。 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号52　施策7－1－3 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
開発許可事務 〔　建築指導課　〕	89万7千円 (0円) 89万7千円	良好な宅地水準の確保と無秩序な市街化を抑制するため、都市計画法に基づく開発許可制度の運用を通じて、必要な公共施設の配置や建築物の適正な立地を誘導する。 【分野横断「まち」-イ】

施策番号53

施策7－1－4　地域の特色を活かした景観の形成	(R7年度予算額　82,832 千円)

【目指す状態】

豊かな自然環境と調和した景観や、地域固有の歴史・文化が感じられる景観が形成されている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○					○			○		○

アンケート指標		単位	基準値(R3)	後期基本計画の実績値					目標値(R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	景観やまちなみが美しい地域である	%	59.6	62.4	57.3	－	－	－	⇨
回答者自身の実践状況	家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	%	71.9	71.7	71.0	－	－	－	⇨

統計指標	内容	単位	基準値(R2)	後期基本計画の実績値					目標値(R8)
				R4	R5	R6	R7	R8	
道路美装化延長	歴史的風致の維持向上のため、周囲の良好な景観に調和した道路美装化延長	㎞	8.62	9.00	9.15	－	－	－	9.00

【施策番号53　施策7－1－4　主要事業】

事　業　名	予　算　額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事　業　内　容
善光寺周辺・戸隠地区 街なみ環境整備事業 〔　まちづくり課　〕	7,286万9千円 (8,789万8千円) △1,502万9千円	善光寺・戸隠神社とその門前に発展した宿坊群などの歴史的・文化的建造物や街なみを活かした景観を整備・保全するため、道路美装化等を行う。 ・事業期間　平成24年度～令和７年度 ・面積　約311ha ・令和７年度事業内容 戸隠北30号線道路美装化工事 戸隠西原線道路美装化工事 戸隠北31号線電柱電線類移設事業 【分野横断「ひと」-エ】

分野7　快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」

政策2　拠点をつなぐネットワークの充実

施策番号54

施策7－2－1　地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築　（R7年度予算額　641,112 千円）

【目指す状態】

だれもが利用しやすい公共交通が構築され、多くの人々が利用している。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
1	2	3	4	5	10	16	6	7	13	14	15	8	9	11	12	17
						○		○	○				○	○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	%	34.1	30.9	23.4	－	－	－	⇨
回答者自身の実践状況	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	%	20.4	20.6	20.7	－	－	－	⇨
	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	%	48.7	48.5	49.7	－	－	－	⇨

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
公共交通利用回数	市民一人当たりのバス・鉄道などの公共交通機関を利用した回数	回/人	100.7	115.5	120.9	－	－	－	137.0

【施策番号54　施策7－2－1　主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 長野市版公共交通リ・デザイン事業 〔　交通政策課　〕	1,400万円 （0円） 1,400万円	令和４年に策定した地域公共交通計画の見直しに向け、運転手不足など様々な課題に対応した新たな公共交通のあり方について調査研究を行う。 また、将来も持続可能な公共交通とするため自動運転バスの導入に向けた調査を進める。 ・調査内容 市全体の公共交通のあり方 自動運転導入に向けた課題　ほか 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号54　施策7－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 地域バス路線再編モデル事業 〔　交通政策課　〕	1,318万円 （0円） 1,318万円	効率的な運行を目指して地域バス路線を再編し、利便性の向上と運転手の確保を図る。 ・実施内容 路線バスの運行区間短縮と経路直線化 利用の少ない区間の乗合タクシー路線化 接続する市街地乗合タクシー路線の新規運行による需要の掘り起こし 各路線の交通結節点の設定 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 中山間地域オンデマンド基地及び拠点整備事業 〔　交通政策課　〕	985万円 （0円） 985万円	令和８年度からAIオンデマンドバスの運行を七二会、小田切、信更、信里地区に拡大するため、新たにバスの運行拠点を篠ノ井信里地区に整備する。 ・整備内容 車両管理を行う車庫の整備（６台分の車庫、舗装、洗車時の排水機能） 予約対応拠点及び運転手の待機所の整備 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 バスロケーションシステム更新支援事業 〔　交通政策課　〕	1,300万円 （0円） 1,300万円	現在、県と連携して運用しているバスロケーションシステムをGoogleマップ等でも確認できるように更新し、利便性を高める。 ・更新による効果 Google等の媒体で情報が確認できる リアルタイムな情報の入手が可能 【分野横断「まち」-イ】
【新規】 長野駅デジタルサイネージ構築事業 〔　交通政策課　〕	6,200万円 （0円） 6,200万円	JR長野駅の東口及び善光寺口にバス乗り場案内や出発時刻、行政情報等を表示するデジタルサイネージを設置する。 バスロケーションシステムとの連携により運行ダイヤや遅れ等の情報を多言語で表示し、利便性を高める。 **【観光振興課連携事業】** 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号54　施策7－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
【新規】 Suica対応システム導入支援事業 〔　交通政策課　〕	873万8千円 【当初・３月補正】 (6,015万9千円) △5,142万1千円	利便性の向上を図るため、鉄道事業者が行う交通系ICカード導入事業に対し、国、県及び沿線自治体と協調して補助金を交付する。 ・対象事業 　しなの鉄道Suicaシステム導入 　長野電鉄地域連携ICカード導入 【分野横断「まち」-イ】
中山間地域AIオンデマンド交通システム導入事業 〔　交通政策課　〕	967万9千円 (988万1千円) △20万2千円	中山間地域で運行する乗合タクシーを再編し、オンデマンド交通システムを導入する。 ・導入区域 　信更・篠ノ井信里、七二会・小田切 ・運行開始予定日 　令和８年４月１日 【分野横断「まち」-イ】
路線バス維持活性化補助金 〔　交通政策課　〕	8,632万1千円 (1億410万3千円) △1,778万2千円	廃止路線代替バス等の運行事業者に対して補助金を交付する。 ・廃止路線代替バス（９路線） 　篠ノ井新町線、西裾花台団地線 　金井山線、松代篠ノ井線、赤柴線 　大豆島保科温泉線、犀北団地線 　小市線、北屋島線 【分野横断「まち」-イ】
コミュニティバス運行事業補助金 〔　交通政策課　〕	5,885万7千円 (6,723万7千円) △838万円	地域循環バス及び乗合タクシーの運行事業者に対して補助金を交付する。 ・地域循環バス（ぐるりん号） 　中心市街地、東北、篠ノ井 ・乗合タクシー 　長沼線、大室線、松代西条線、横田塩崎線、綿内線、川中島線、篠ノ井共和線、安茂里線、西長野上松線、若里更北線、豊野川谷線、豊野上神代線、豊野二ツ石線、松代観光地線 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号54　施策7－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
市バス等運行事業 〔　交通政策課　〕	1億728万9千円 (1億1,219万2千円) △490万3千円	戸隠ほか４地区において、地域住民等の移動手段を確保するため、市バスを運行する。 ・市バスの運行 戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条 ・老朽車両の更新 信州新町・大岡地区　２台 【分野横断「まち」-イ】
中山間地域輸送システム運行費補助金 〔　交通政策課　〕	2,603万7千円 (2,380万9千円) 222万8千円	中山間地域において、地域住民の移動手段を確保するため、各住民組織が運行する乗合タクシーに対して補助金を交付する。 ・対象地域（６地区） 芋井、七二会、浅川、小田切 信更、篠ノ井信里 【分野横断「まち」-イ】
屋代線代替交通補助金 〔　交通政策課　〕	4,110万4千円 (4,409万円) △298万6千円	長野電鉄旧屋代線の沿線住民等の移動手段を確保するため、運行する代替バスの運行事業者に対して、須坂市、千曲市と協調して補助金を交付する。 ・屋代線代替路線 須坂駅～屋代駅 所要額のうち長野市負担66.8% ・長野市単独路線 長野駅～旧綿内駅 【分野横断「まち」-イ】
長野市公共交通活性化・再生協議会負担金 〔　交通政策課　〕	2,674万6千円 (2億7,756万3千円) △2億5,081万7千円	バス共通ICカードKURURU（くるる）の運営及びバスの乗り方教室開催等による公共交通利用の促進に取り組む。 ・令和７年度事業内容 バス共通ICカードシステムの管理・運営 公共交通利用促進事業（バスの乗り方教室、ながのスマート通勤応援事業） 長野市地域公共交通計画進捗管理　ほか 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号54　施策7－2－1 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金 〔　交通政策課　〕	1億558万5千円 【当初・３月補正】 （1億2,382万9千円） △1,824万4千円	鉄道の安全で安定した運行を確保するため、鉄道事業者が行う安全輸送設備等の整備事業に対し、国、県及び沿線自治体と協調して補助金を交付する。 ・長野電鉄長野線 　マクラギ更新、変電所更新 　車両検査　ほか ・しなの鉄道 　車両更新、マクラギ更新 　レール更新、電柱更新　ほか 【分野横断「まち」-イ】
千曲川新道活性化事業 〔　交通政策課　〕	2,862万9千円 （9,925万） △7,062万1千円	長野電鉄旧屋代線の沿線地域の活性化を図るため、旧線路敷を自転車道・遊歩道として整備を行う。 ・事業期間　平成25年度～令和11年度 ・総事業費　37億9,500万円 ・令和７年度事業内容 　自転車道・遊歩道の整備 【分野横断「まち」-イ】

施策番号55

施策7－2－2　拠点をつなぐ交通ネットワークの整備　（R7年度予算額　2,177,852 千円）

【目指す状態】
　自家用乗用車に過度に頼らず、中心市街地、観光地などの拠点や生活機能の拠点を移動できる交通ネットワークが形成されている。

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と消費	実施手段
						○		○	○				○	○		○

アンケート指標		単位	基準値（R3）	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
環境・体制に関する評価	公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている（再掲：７－２－１）	%	34.1	30.9	23.4	—	—	—	⇨
回答者自身の実践状況	通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している（再掲：７－２－１）	%	20.4	20.6	20.7	—	—	—	⇨
	公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている（再掲：７－２－１）	%	48.7	48.5	49.7	—	—	—	⇨

統計指標	内容	単位	基準値（R2）	前期基本計画の実績値					目標値（R8）
				R4	R5	R6	R7	R8	
公共交通利用回数（再掲：７－２－１）	市民一人当たりのバス・鉄道などの公共交通機関を利用した回数	回/人	100.7	115.5	120.9	—	—	—	137.0
自転車通行空間の総延長	自転車道などの総延長	km	11.40	17.70	24.70	—	—	—	32.80

【施策番号55　施策7－2－2　主要事業】

事　業　名	予 算 額（前年度予算額）対前年度増減額	事 業 内 容
自転車駐車場長寿命化事業 〔　交通政策課　〕	2億2,638万8千円 (7,207万4千円) 1億5,431万4千円	自転車駐車場の施設機能の維持を図るため、長寿命化改修による整備を実施する。 ・令和７年度事業内容 　長野駅自転車駐車場大規模改修工事 【分野横断「まち」-イ】　【長寿命化】

【施策番号55　施策7－2－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
道路新設改良事業 （再掲）施策番号51 〔　道路課　〕 〔　維持課　〕	11億4,529万5千円 （10億5,283万円） 9,246万5千円	円滑な道路ネットワークの構築と安心して使い続けられる道路の整備を目的に、幹線道路及び生活道路の新設・改良事業等を実施する。 ・幹線道路の整備 　市道古牧朝陽線改良　外５事業 ・生活道路の整備 　市道秋古青池線改良　外12事業 ・側溝整備事業 ※若穂スマートインター整備事業 　長沼地区河川防災ステーションの周辺道路整備を除く 【分野横断「まち」-イ】
自転車通行環境整備事業 〔　道路課　〕	1,375万円 （180万円） 1,195万円	「第２次長野市自転車活用推進計画」に基づき、自転車通行空間環境を整備することで、自転車と歩行者の双方にとって安全な通行空間を確保する。 ・市道運動公園通り線自転車道整備 【分野横断「まち」-イ】
若穂スマートインター整備事業 （機能補償道路築造等） 〔　道路課　〕	6億3,614万円 （5億1,690万円） 1億1,924万円	高速道路の利便性向上や産業の活性化、観光振興、周辺の渋滞緩和など多くの効果が見込まれるスマートインターチェンジを若穂地区に整備する。 ・令和７年度事業内容 　埋蔵文化財調査 　機能補償道路築造、雨水調整池築造工事 【分野横断「ひと」-オ】
街路川中島幹線改良事業 〔　都市計画課　〕	3億9,350万円 【債務負担行為】 令和８年度 3,600万円 （5億9,780万円） △2億430万円	篠ノ井駅周辺地域と中心市街地を結ぶ補助幹線道路として、川中島幹線を整備する。 ・事業期間　平成26年度～令和９年度 ・事業内容　Ｌ＝640ｍ　Ｗ＝16ｍ ・令和７年度事業内容 　道路築造工事 　用地取得 　移転補償　ほか 【分野横断「まち」-イ】

【施策番号55　施策7－2－2 主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
街路山王小柴見線改良事業 〔　都市計画課　〕	2億1,790万円 （1億3,825万7千円） 7,964万3千円	通勤・通学者の安全性と防災性の向上を図るため、老朽化した相生橋の架け替えを含む山王小柴見線を整備する。 ・事業期間　平成27年度～令和12年度 ・事業内容　Ｌ＝340ｍ　Ｗ＝16ｍ ・令和７年度事業内容 　道路改良工事 　設計業務 　用地取得　移転補償　ほか 【分野横断「まち」-イ】
街路北部幹線（Ⅳ）改良事業 〔　都市計画課　〕	4,500万円 【債務負担行為】 令和８年度 2,000万円 （150万円） 4,350万円	市北部を東西に結ぶ環状道路として、交通環境の改善及び歩行者の安全な通行空間を確保するため、北部幹線を整備する。 ・事業期間　令和７年度～令和13年度 ・事業内容　Ｌ＝520ｍ　Ｗ＝22ｍ ・令和７年度事業内容 　測量・設計業務　ほか 【分野横断「まち」-イ】
街路七瀬居町線改良事業 〔　市街地整備課　〕	1億620万円 （2,905万円） 7,715万円	長野駅東口と東通りを結ぶ補助幹線道路として、円滑な車両の通行のほか、歩道の新設により歩行者の安全を確保するため、七瀬居町線を整備する。 ・事業期間　令和４年度～令和10年度 ・事業内容　Ｌ＝390ｍ　Ｗ＝16ｍ ・令和７年度事業内容 　用地測量、用地取得　ほか 【分野横断「まち」-イ】

特定の施策に属さない事業

【特定の施策に属さない主要事業】

事　業　名	予　算　額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事　業　内　容
【新規】 中山間地域草刈り等支援モデル事業 〔　企画課　〕	976万5千円 （0円） 976万5千円	地域共同作業の担い手不足が進む中山間地域において、住民が行う除草作業の負担軽減を図るため、ラジコン式草刈機の導入等により、地区の草刈範囲や手法、役割分担など持続可能な仕組みを検討する。 ・ラジコン式草刈機購入、維持管理 ・草刈り手法等の効果検証 【分野横断「まち」-エ】
移住支援金 〔　移住推進課　〕	1億1,460万円 【当初・12月補正】 （1億1,460万円） 0円	東京圏等から移住かつ就業した者又は長野県の創業支援金の交付決定を受け移住した者に対し、補助金を交付する。 ・補助金額 　単身:60万円、世帯:100万円 　（18歳未満の子どもを含む場合は 　　１人当たり100万円を加算） 【分野横断「ひと」-イ】
若者・子育て世帯等移住促進家賃支援事業 〔　移住推進課　〕	6,009万4千円 （6,254万円） △244万6千円	県外から移住する若者・子育て世帯の家賃に対し、補助金を交付する。 ・対象者 　40歳未満の若者世帯 　中学生以下の子を持つ世帯 ・補助対象経費 　民間賃貸借住宅の家賃 ・補助率 　２分の１（上限額　月２万円）、２年間 【分野横断「ひと」-イ】
移住者起業支援金 〔　移住推進課　〕	500万円 （1,000万円） △500万円	50歳未満の者が、県外から本市への移住後、地域活力の創出に資する事業を起業する場合、３年以上定住すること等を条件として施設整備など起業にかかる経費に対し補助金を交付する。 ・補助率　10分の10以内（上限額　100万円） 【分野横断「ひと」-イ】

【特定の施策に属さない主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
連携中枢都市圏移住促進事業 〔　移住推進課　〕	216万6千円 (216万6千円) 0円	大都市圏での移住に関する合同相談会等の参加や圏域での移住者交流会を各市町村が連携して行うことで、効率・効果を高めるとともに、移住希望者へのサービス向上を図り、移住先として連携中枢都市圏の魅力をPRする。 【分野横断「ひと」－イ】
空き家バンク事業 〔　移住推進課　〕	2,130万7千円 (2,184万1千円) △53万4千円	長野市空き家バンクの運営。県外からの移住者等が行う登録物件の改修及び家財道具等の処分にかかる経費に対し補助金を交付する。 ・空き家改修補助 　補助率　３分の２ 　　　　　４分の３（東京圏・子育て世帯） 　上限額　160万円 ・家財道具等処分の補助 　補助率　10分の10 　　　　　（10万円を超える部分４分の３） 　上限額　30万円 【分野横断「ひと」－イ】
移住・定住促進事業 〔　移住推進課　〕	1,905万4千円 (1,526万1千円) 379万3千円	「長野市移住・定住相談デスク」に専門相談員を配置し、総合的に移住相談に応じる。 本市の魅力をPRするため、大都市圏で開催する移住セミナーや相談会へ参加する。 移住者や移住希望者の悩みの解消等を図るため、移住者交流会を開催する。 【分野横断「ひと」－イ】
短期移住体験事業 〔　移住推進課　〕	440万8千円 (543万2千円) △102万4千円	移住希望者に対し、住居探しや就職活動のための短期滞在施設を提供する。 また、お試し移住施設を整備・運営し、地域住民との交流を図るなど、長野市での暮らしが体験できる機会を提供する。 【分野横断「ひと」－ウ】

【特定の施策に属さない主要事業】(つづき)

事　業　名	予 算 額 (前年度予算額) 対前年度増減額	事 業 内 容
若者等移住・定住情報発信事業 〔　移住推進課　〕	660万円 (549万8千円) 110万2千円	大都市圏等の子育て世帯や若者等に向けて長野市での暮らしの魅力を発信する。 【分野横断「ひと」−ウ】
都市ブランディング推進 〔　広報広聴課　〕	893万7千円 (1,963万4千円) △1,069万7千円	都市ブランドを活用したプロモーション活動や長野暮らしの発信とともに、市民や企業・団体と連携してデザインの浸透を図る。 ・都市ブランドの認知拡大に向け、教育機関、クリエーター等と連携した取組 ・都市ブランドを活用した企業・団体との協業事業の構築 ・地域資源（ヒト・モノ・コト）の魅力発見発信　ほか 【分野横断「まち」−オ】
やまざとビジネス支援補助金 〔　地域活動支援課　〕	1,010万5千円 (1,010万5千円) 0円	中山間地域の地域資源を活用したビジネス(事業)を公募し、地域における雇用の創出や地域内への経済波及効果、地域の課題解決など地域の活性化につながることを目的として、個人や団体が実施する事業に対し、補助金を交付する。 ・補助率　２分の１以内(上限額500万円) 【分野横断「まち」−オ】
地域おこし協力隊 〔　地域活動支援課　〕	8,861万4千円 (7,498万6千円) 1,362万8千円	都市部住民が地域に移り住み、産業振興の支援や地域課題解決に向けた取組など地域からの要望に基づいた「地域協力活動」に従事しながら、地域への定住・定着を図る。 ・９地区で13名の隊員が活動 (令和７年１月現在) 【分野横断「ひと」−イ】

【特定の施策に属さない主要事業】（つづき）

事　業　名	予 算 額 （前年度予算額） 対前年度増減額	事 業 内 容
スマートシティ推進事業 〔　イノベーション推進課　〕	5,427万4千円 （5,599万2千円） △171万8千円	先端技術の活用による地域課題の解決と市民生活の質の向上を目指し、産学官金の連携組織NAGANOスマートシティコミッション（NASC）の活動等を通じ、スマートシティの推進に取り組む。 ・NASC負担金 スマートシティの実現に向けた実証事業の実施支援　ほか 【分野横断「しごと」-エ】
スマートシティトライアル事業 〔　イノベーション推進課　〕	500万円 （1,120万円） △620万円	スマートシティ推進への市民の理解を深めるとともにニーズを把握するため、市民・関係者等へ先端的な技術やサービスの体験機会を提供するほか、先端的サービスの行政への導入に向けた試行・実証などに取り組む。 ・先端技術及びサービスの体験イベントの開催 ・先端的サービスの行政への導入に向けた試行・実証 【分野横断「しごと」-エ】

分野横断テーマ①

誰もが活き生きと安心して暮らし続けられる「まち」の実現
＜住みやすい地域づくり＞

（Ｒ７年度予算額）　137,286,684 千円

指　標　名	内　　容	単位	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
			R4	R5	R6	R7	R8	
分野横断テーマ①に関する指標	関連する施策のアンケート指標（全85 指標）の内、目標を達成した指標数	指標	―	―	―	―	―	85
	関連する施策の統計指標（全67 指標）の内、目標を達成した指標数	指標	―	―	―	―	―	67

テーマ実現のための視点

ア『防災・減災対策の推進』　（令和７年度予算額）　9,400,171 千円

建物の耐震化や浸水対策等の防災・減災対策を推進し、災害による被害を最小限に抑えます。

イ『暮らしを支える機能の確保』　（令和７年度予算額）　118,360,299 千円

人口が減少していく中においても、それぞれの地域に住み続けるために、福祉サービスや公共交通などの暮らしを支える機能を確保します。

ウ『健康と心の豊かさの増進』　（令和７年度予算額）　7,532,271 千円

心身ともに健康で充実した生活を送り続けることができるまちを目指します。

エ『地域の課題解決や活性化の推進』　（令和７年度予算額）　1,146,012 千円

地域の課題解決や活性化に繋がる、地域住民や各種団体、企業など、さまざまな主体による取組を支援します。

オ『地域資源の活用・発信』　（令和７年度予算額）　750,825 千円

地域の資源を見いだし活用・発信することで、資源・経済の地域内循環を促進し、地域の活力を高めます。

カ『先端技術の活用』　（令和７年度予算額）　97,106 千円

デジタル技術などの先端技術を活用することで、誰もが住みやすいと実感できるまちの実現を目指します。

分野横断テーマ②

「ひと」が集い、つながり、育つ、ふるさと“ながの”の実現
＜移住・定住・交流の促進＞＜少子化対策・子育て支援＞

（Ｒ７年度予算額）　55,315,483 千円

指標名	内容	単位	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
			R4	R5	R6	R7	R8	
分野横断テーマ②に関する指標	関連する施策のアンケート指標（全51 指標）の内、目標を達成した指標数	指標	－	－	－	－	－	51
	関連する施策の統計指標（全43 指標）の内、目標を達成した指標数	指標	－	－	－	－	－	43

テーマ実現のための視点

ア『地元定着の促進』　（令和７年度予算額）　68,389 千円

若い世代のふるさと志向や長野市への愛着を高め、本市への定着を促進します。

イ『移住・定住の推進』　（令和７年度予算額）　339,253 千円

地方回帰の高まりを捉え、移住に関する情報を積極的に発信し、移住希望者の受入れを推進し定住に繋げます。

ウ『関係人口の創出』　（令和７年度予算額）　892,341 千円

長野市への関心・興味を高め、継続的に関わる人口の創出・拡大を推進し、新しい人の流れをつくります。

エ『地域資源を活かした観光の推進』　（令和７年度予算額）　1,455,149 千円

長野市の様々な地域資源を観光に結びつけ、新たな価値を創造することで、訪れたくなるまちづくりを推進します。

オ『広域観光・インバウンドの推進』　（令和７年度予算額）　1,041,026 千円

北陸新幹線大阪延伸も見据え、首都圏へのアクセスの良さと、北信の玄関口としてのハブ機能を活かした広域観光・インバウンドを推進します。

カ『文化芸術・スポーツの推進』　（令和７年度予算額）　16,220,815 千円

文化芸術・スポーツがもつ感動や喜びで、にぎわいや活力を創出します。

キ『少子化対策・子育て支援の推進』　（令和７年度予算額）　26,761,472 千円

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援と働きながら子育てしやすい環境づくりを進めるとともに、子どもを持ちたいという若い世代が安心して子どもを産み育てることができるよう、個々人の希望をかなえる社会の実現を目指します。

ク『学びの機会の充実』　（令和７年度予算額）　8,537,038 千円

豊かな教育環境づくりを進め、子どもの「生きる力」を育むとともに、全世代の学びの機会を充実させ、地域力の向上を目指します。

分野横断テーマ③

魅力ある「しごと」による担い手の確保と潤う地域の実現
＜しごとの創出と確保＞

（Ｒ７年度予算額）　4,422,992 千円

指　標　名	内　　容	単位	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
			R4	R5	R6	R7	R8	
分野横断テーマ③に関する指標	関連する施策のアンケート指標（全30指標）の内、目標を達成した指標数	指標	―	―	―	―	―	30
	関連する施策の統計指標（全25 指標）の内、目標を達成した指標数	指標	―	―	―	―	―	25

テーマ実現のための視点

ア『産学官金の連携による成長支援』　（令和７年度予算額）　140,702 千円

創業や新製品・新技術の開発、地域特性を活かした新たな特産品づくりや販路開拓など産業の成長支援に産学官金の連携により取り組みます。

イ『産業集積の推進』　（令和７年度予算額）　545,353 千円

地域への経済波及効果の高い産業や将来の発展が見込まれるICT関連産業などの都市型産業の誘致をはじめとする企業の立地促進に取り組み、地域経済を支える産業の集積を進めます。

ウ『産業の担い手の育成』　（令和７年度予算額）　1,121,612 千円

地域の産業を支える担い手の育成を進め、就労支援など「ひと」と「しごと」を結びつける事業に取り組みます。

エ『生産性と付加価値の向上』　（令和７年度予算額）　2,604,132 千円

先端技術を活用することで産業の生産性や製品の付加価値の向上を図るほか、スマートシティを推進し、新しいサービスを生み出すことで地域課題の解決と新たな雇用を創出します。

オ『多様な働き方の推進』　（令和７年度予算額）　11,193 千円

テレワークやワーケーションなどの多様な働き方により、地域の職の魅力の向上や働きやすさが増すことで、地域への新しい人の流れを創出します。

総合戦略の指標

指　標　名	内　　容	単位	現状値	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
			R2	R4	R5	R6	R7	R8	
合計特殊出生率	一人の女性が生涯に産む子どもの数		1.41	1.41	1.30	－	－	－	1.65
指　標　名	内　　容	単位	現状値	後期基本計画の実績値					目標値（R8）
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	
社会増減	住民の転入数と転出数の差	人	-416	-453	-457	－	－	－	移動均衡

幸せ実感都市『ながの』
～"オールながの"で未来を創造しよう～

令和７年度版
第五次長野市総合計画　実施計画

令和７年４月発行
発　　行　長　野　市
編　　集　長野市企画政策部企画課
　　　　　長野市大字鶴賀緑町1613番地
　　　　　電話 026(224)5010